

秦湯乃里寸法圖坤

ヲ多 9  
788  
2





多  
788  
卷



及基子寸法

一 天井之長

或天井寸二分 二 同幅

天井寸二分半

一 地板之長

或天井寸九分 一 同幅



天井寸八分半

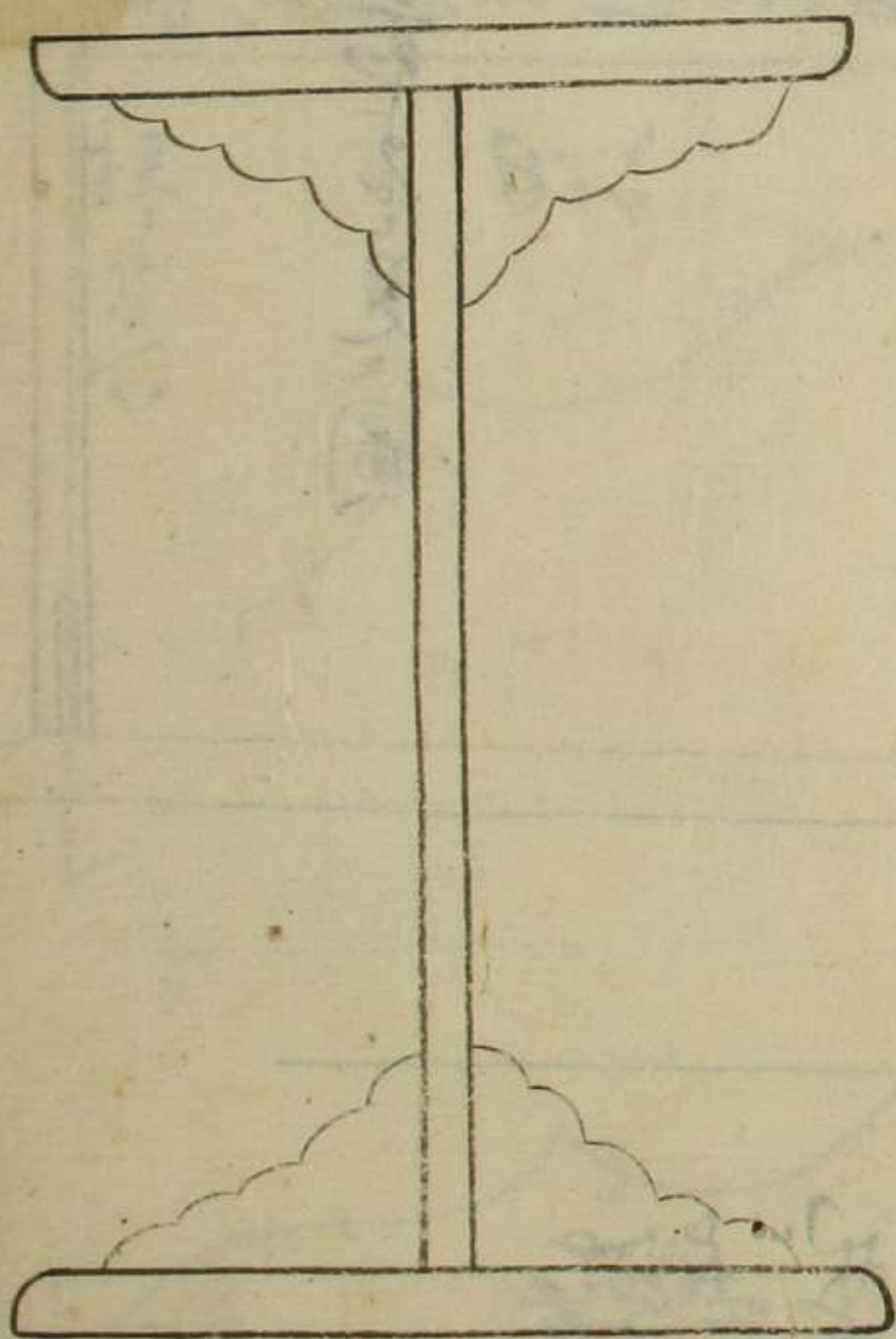
一 柱之内法 或天井寸五分半

一 同幅 但四方九糸めん七分四方 但柱之ちり七分

一 天井の厚 但一寸 六分 一 地板の厚 但一寸 五分

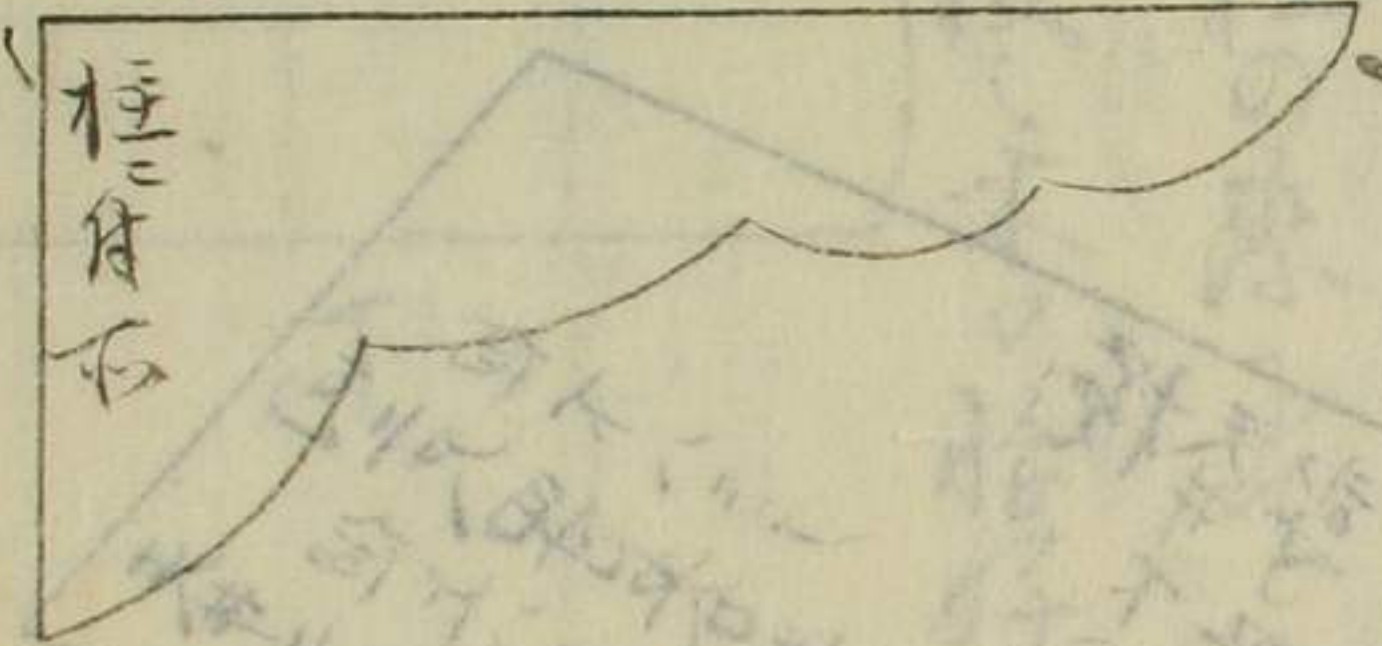
一 雲形十枚有り

基子脇より見

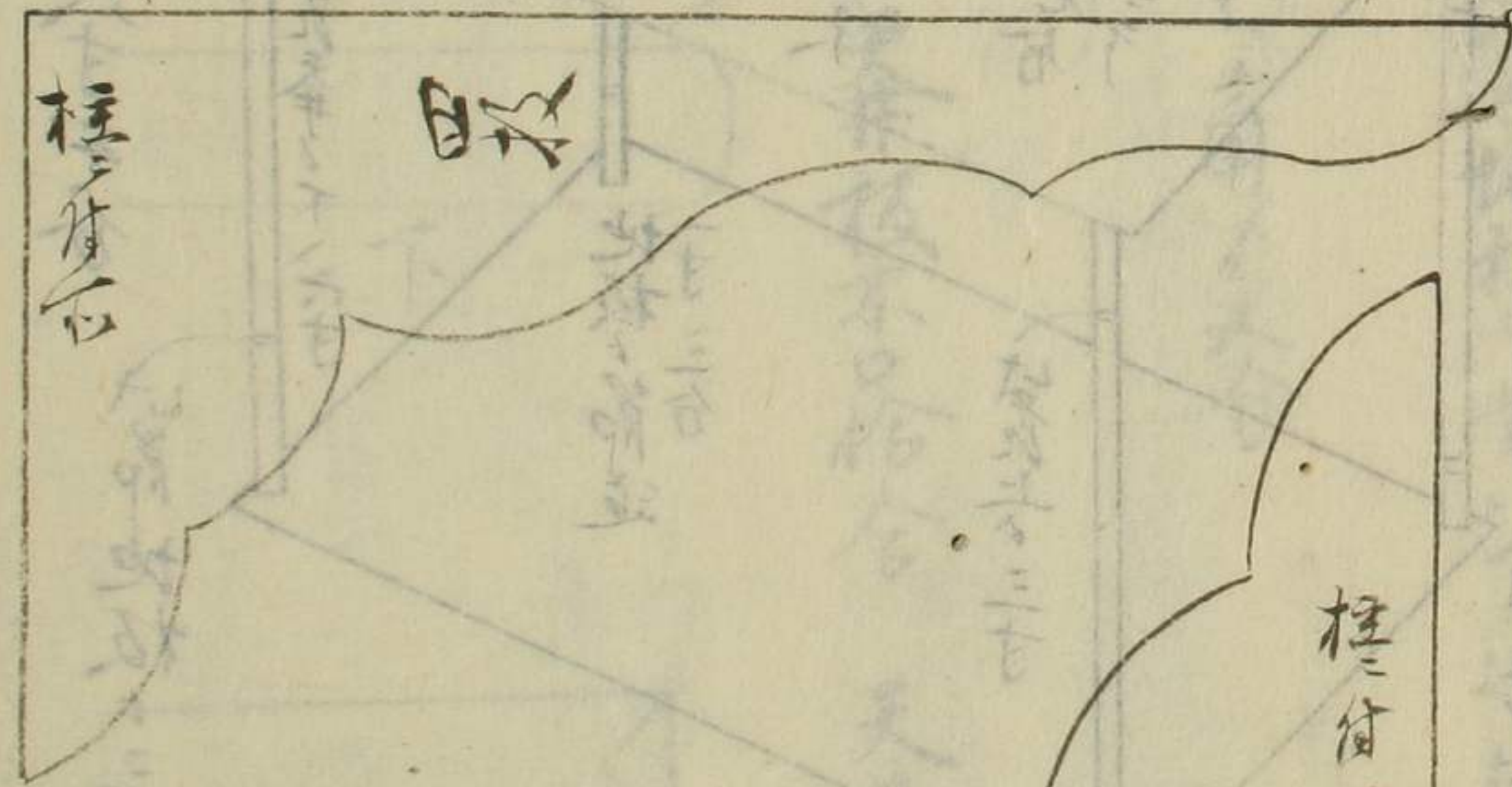




是、天井の中、出雲形



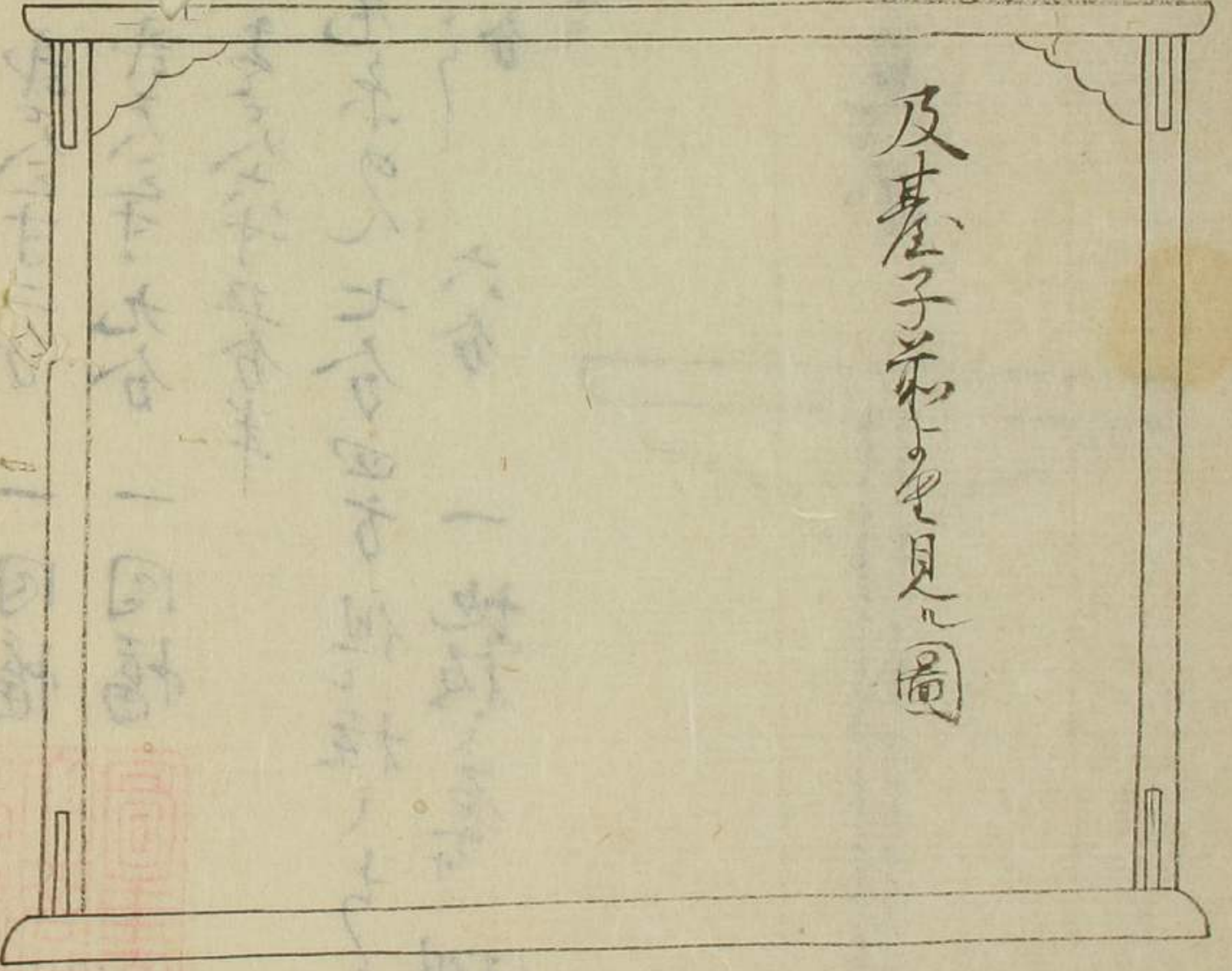
是、天井の方柱、出雲形



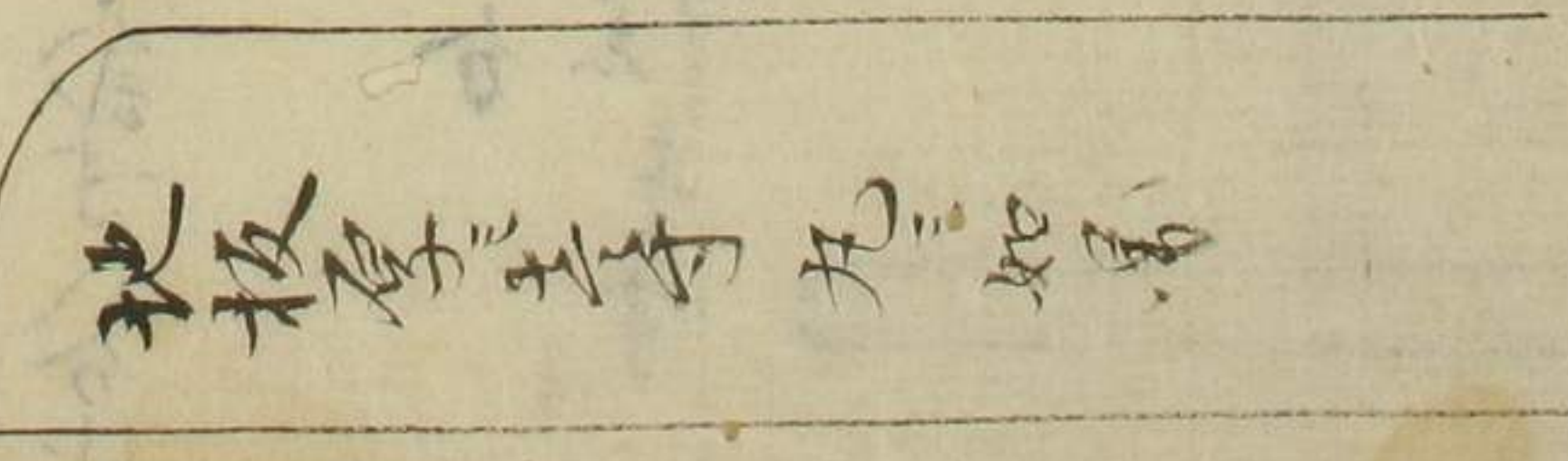
是、地板の方柱、出雲形



是、板厚、分九、如圖



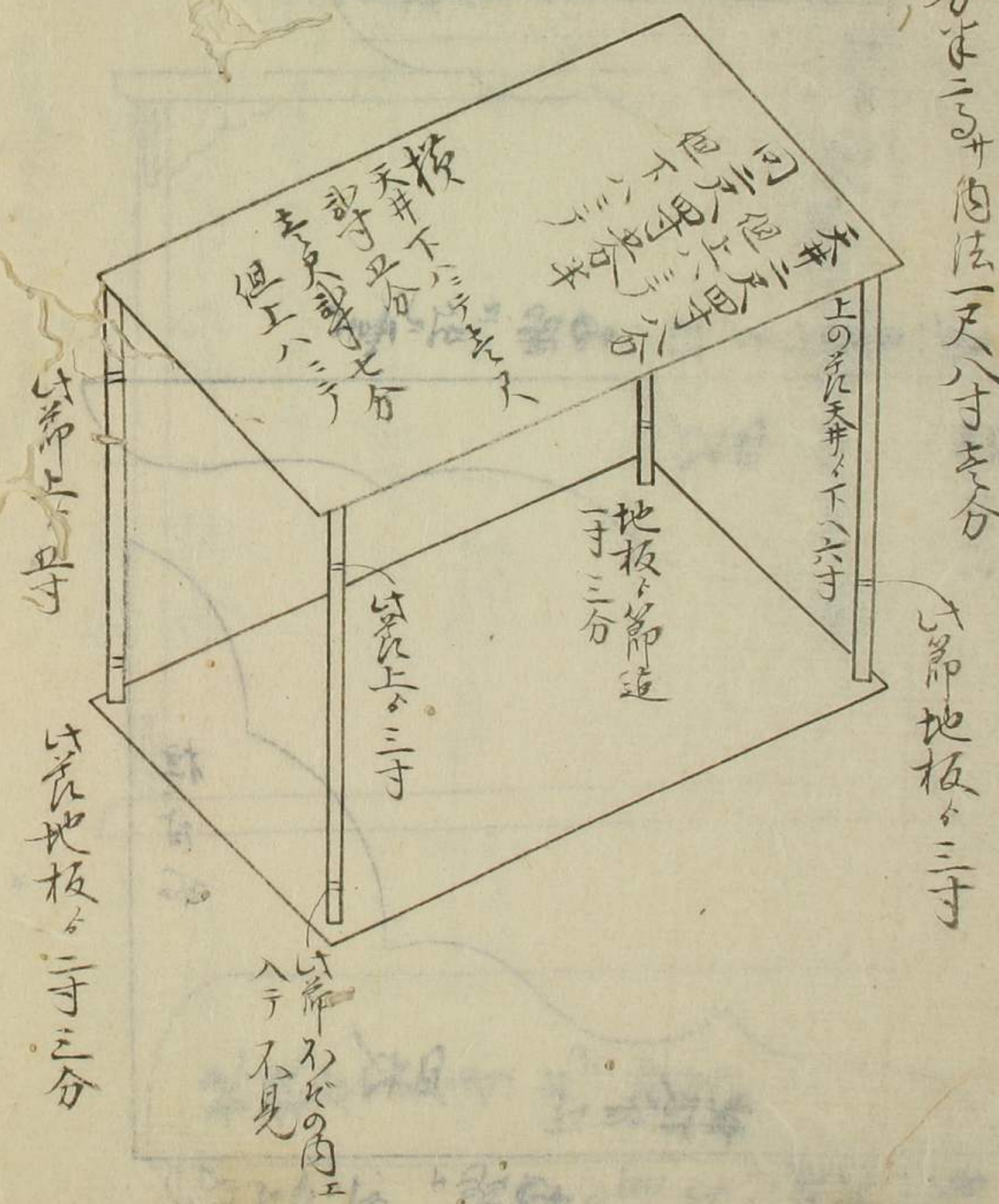
地板厚、分九、如圖



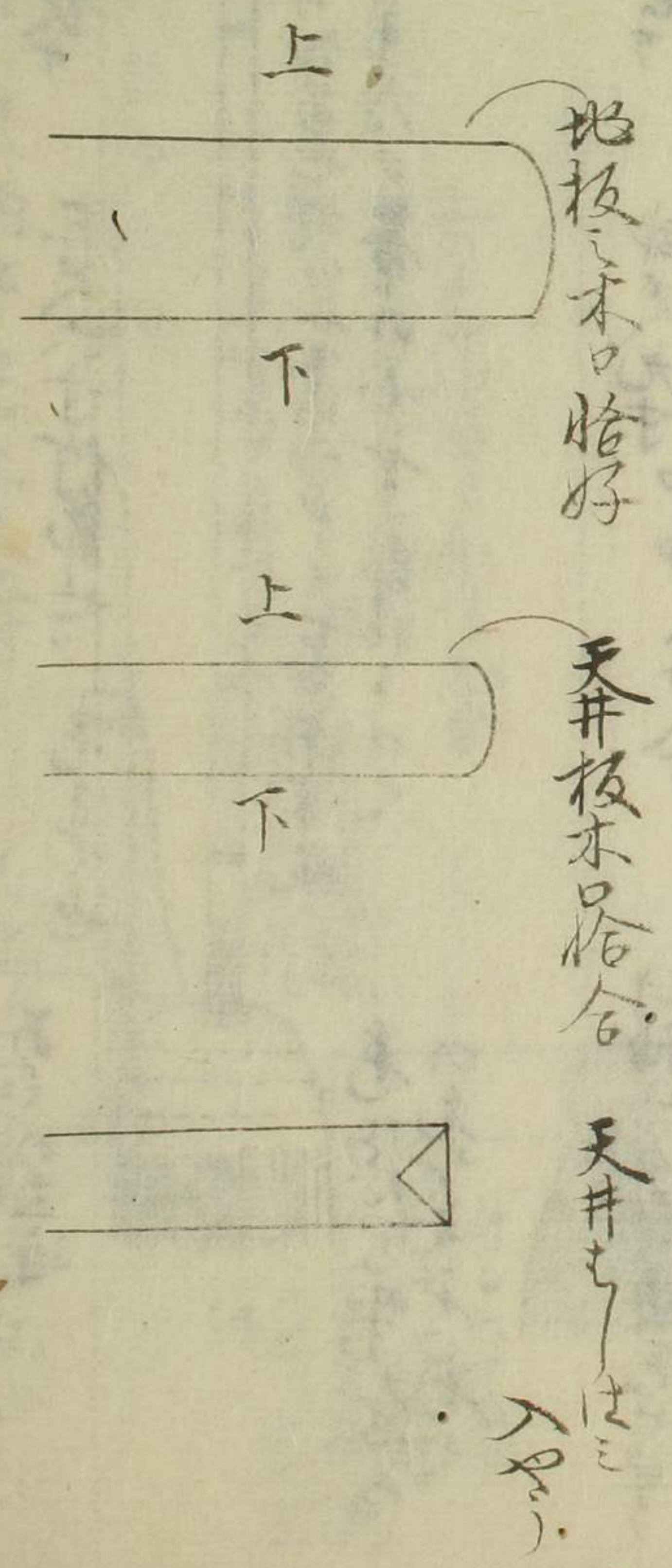


竹葺子に掛す法

一天井板厚寸二分半寸内法一天八寸き分



- 一 竹葺天井の方ハ三分あり込也地板寸方ハ寸追はり込申也
- 一 竹葺太竹小口寸七分
- 一 天井竹葺の寸寸三分あり込角寸二分
- 一 地板竹葺の隙寸あり

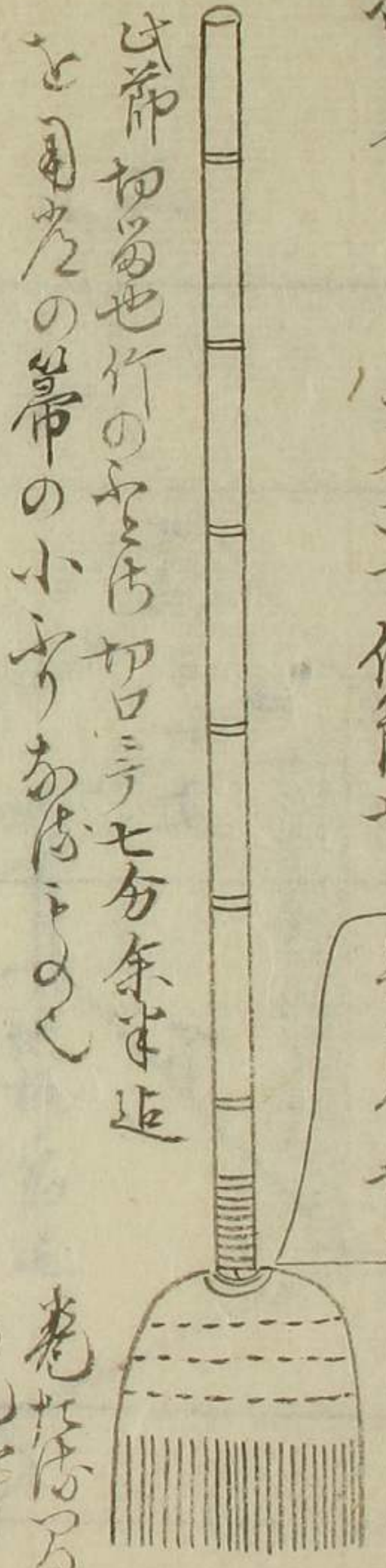




一柄長サ

唐地帯寸法

三尺六寸竹節セツ 毛末也



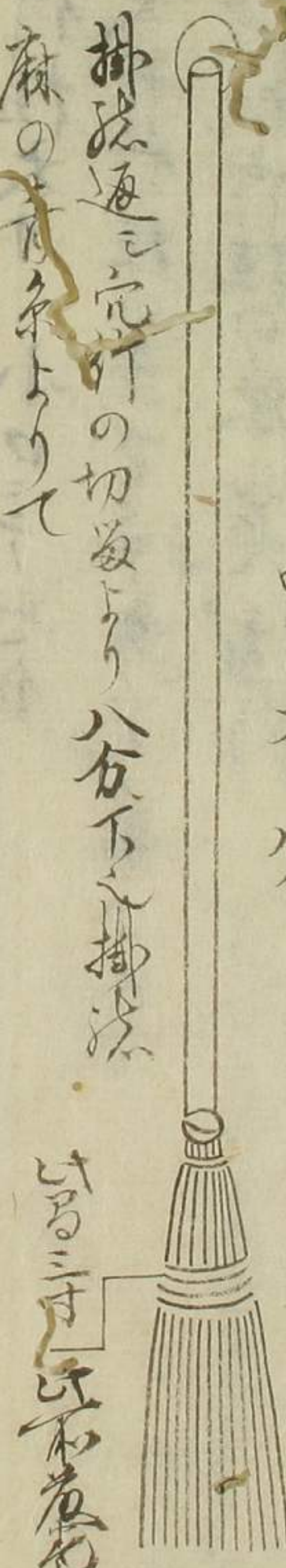
毛末は三尺六寸五分  
あとの三通  
毛は尾の寸を  
の毛をよそを

一柄の長サ

三尺九寸

四節太サ八分

け袖の寸三寸五分七廻り

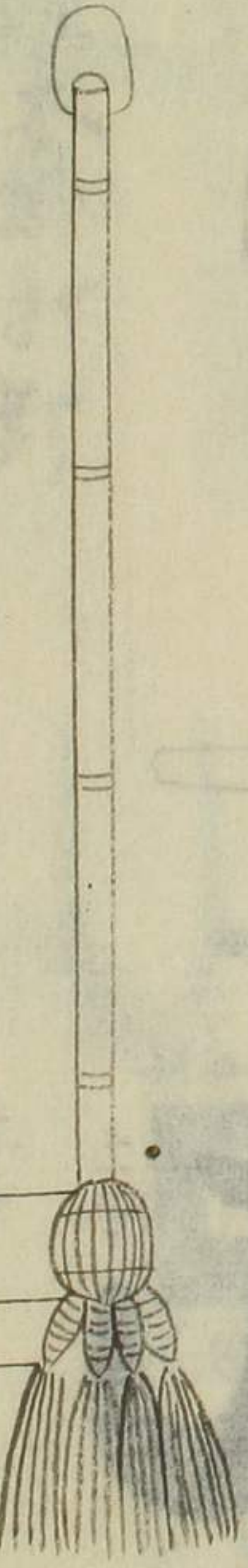


掛法通に穴の切取より八分下は掛法  
麻の青糸より  
右七椽極の寸より一椽が敷廿六本七葉の寸一尺寸

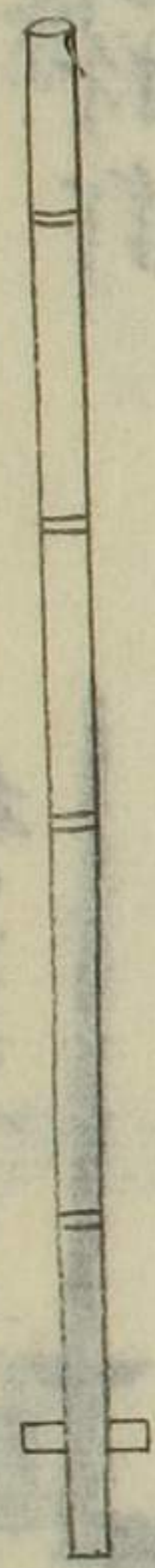
うて結の上の節ハ上々三寸下は節不より寸容也

蕨葉寸法

柄の長サ三尺八寸五分節四ツ  
ワラビの寸三寸五分容



上の節即如苗寸九分  
下の節下々同  
掛法穴上より九分はけは麻  
より寸五分容  
けの寸三寸五分  
けの寸三寸五分  
けの寸三寸五分  
けの寸三寸五分



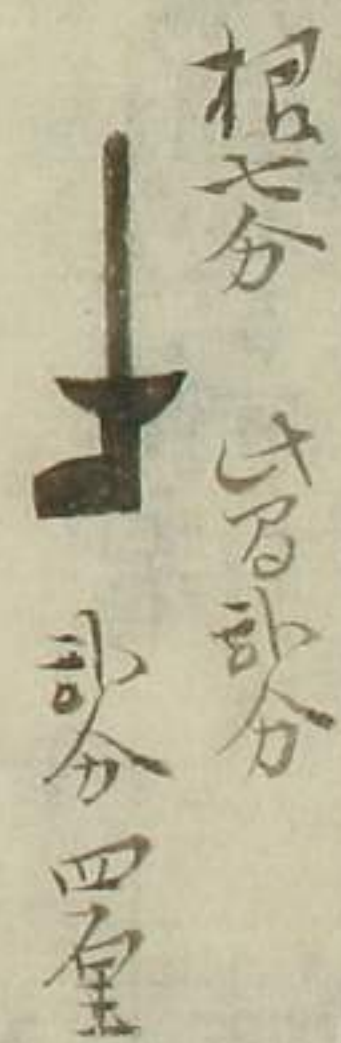
り寸柄長サ三尺五寸  
横の寸あり 長サ寸八分 幅三分半厚五分作也



一 花生掛折釘



一 舟釣片掛折釘

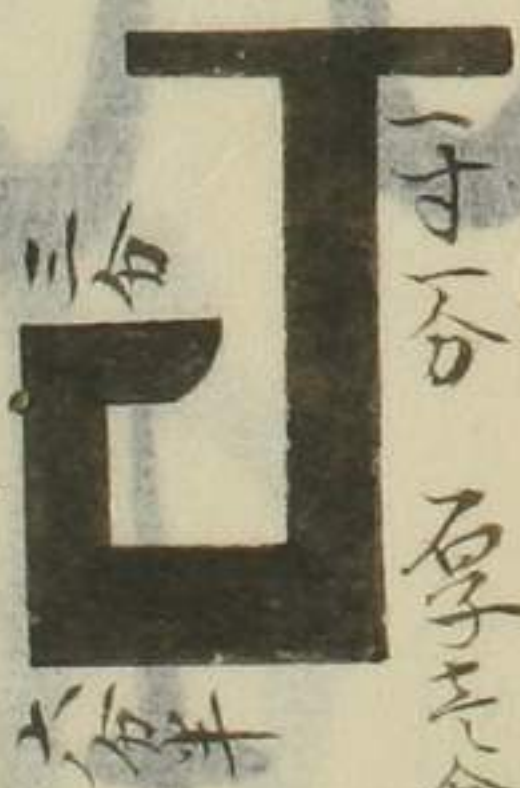


一 蟻渡之圖



七人長サ一寸九分

一 喚鐘掛二重折釘



庵指渡七分半厚二リ

巾二分

一 同鐘木掛打釘



厚子六リ市九リ

一 拂子掛

一 羽帚掛

一 盆石記掛片三色共掛釘を用



幅六リ 厚四リ



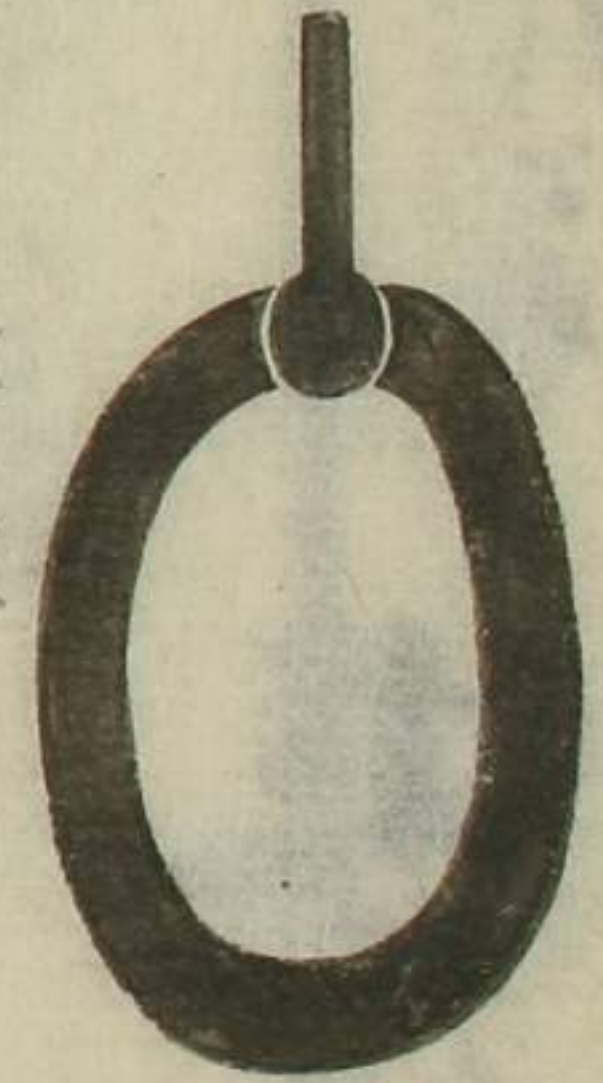
一 露次口之鉋か稱

一 潜乃かあう子

柱よりくわんをとりて  
大小又合ら有之恰好又合す一也

一 掛障子のりけり

一 突懸鉋のりけり



一 寸六合



寸六

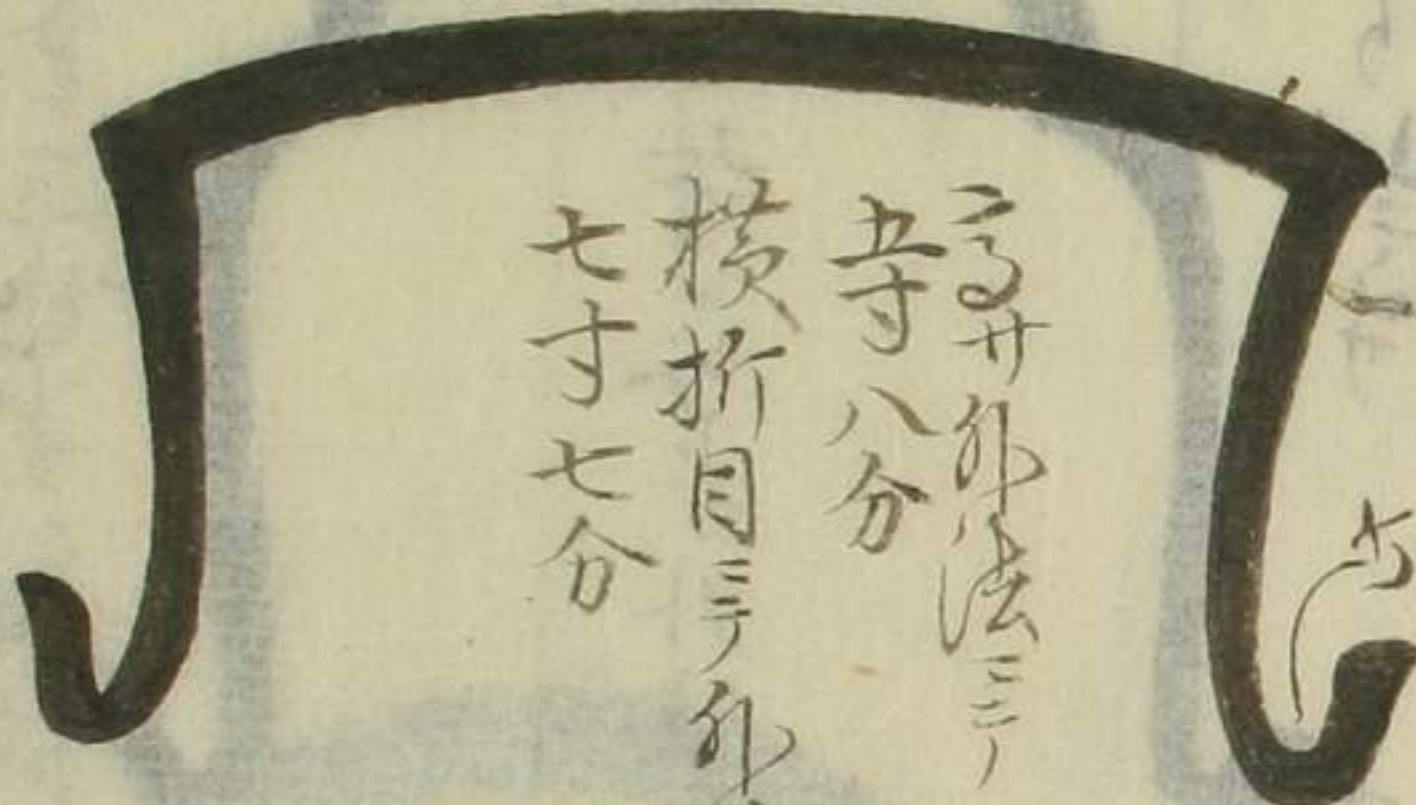


尺五寸

二寸ありけり  
六分

釜之鉋寸法

鎌之鉋



三寸サ外法  
寸八分  
横折目サ外法  
七寸七分

寸四寸

この幅は合抄屋ノ一  
一合半 寸六合

くわん 山のさす寸八分

かへきす

巾金鉋



立寸六寸八分外法

寸五寸六分

寸三寸五分

寸五寸四分



大雲龍之形

外法五分三厘

幅五分三厘

立テ寸六分半外法



外法寸

寸五分半

大志んちうこり記物

小雲龍之形

肩々山迄三寸九分

三分内法

三分内法

寸五分外法



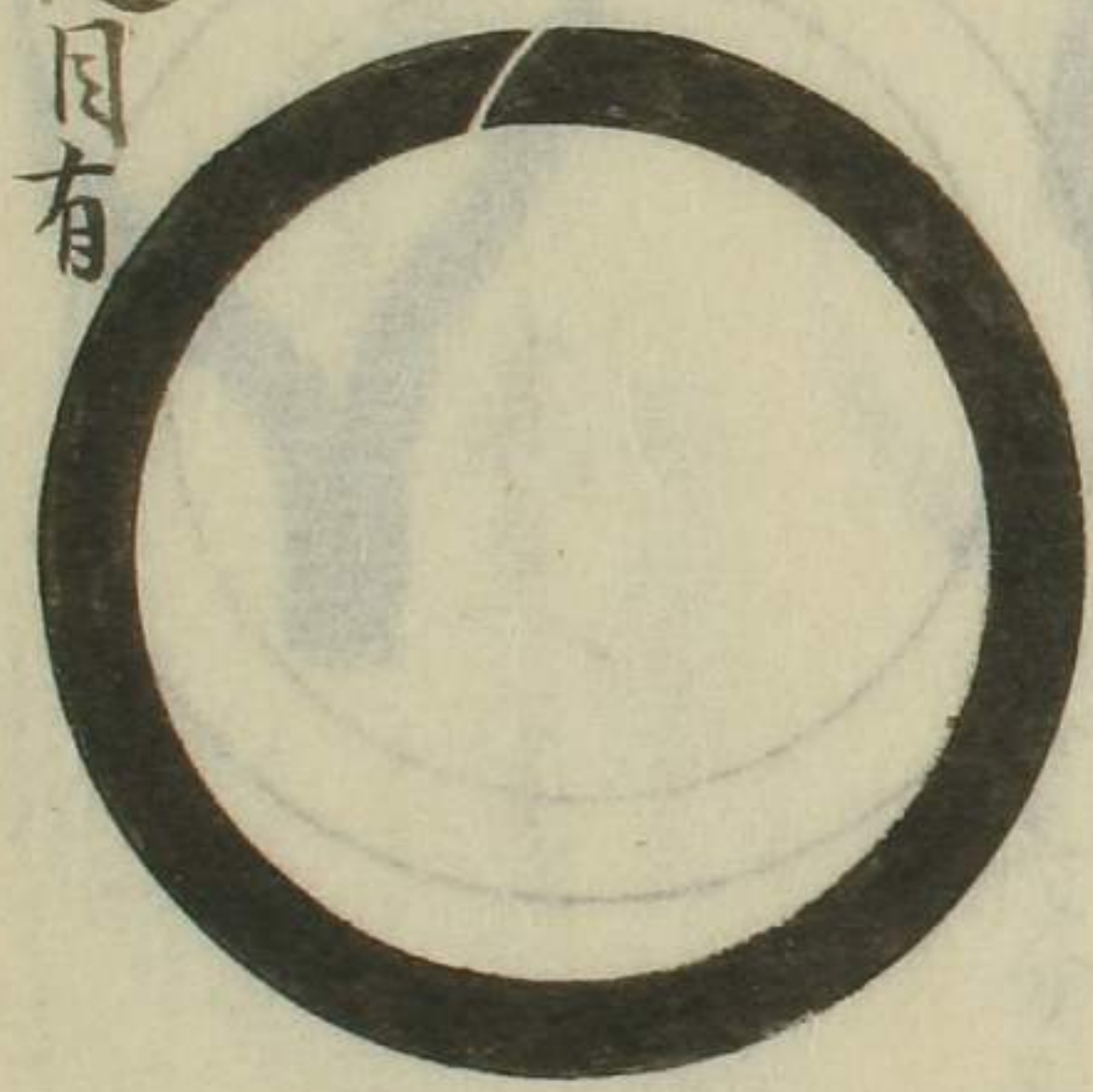
幅五分三厘

寸五分半

大志んちうこり記物

罐之寸法果

鉄之寸右師



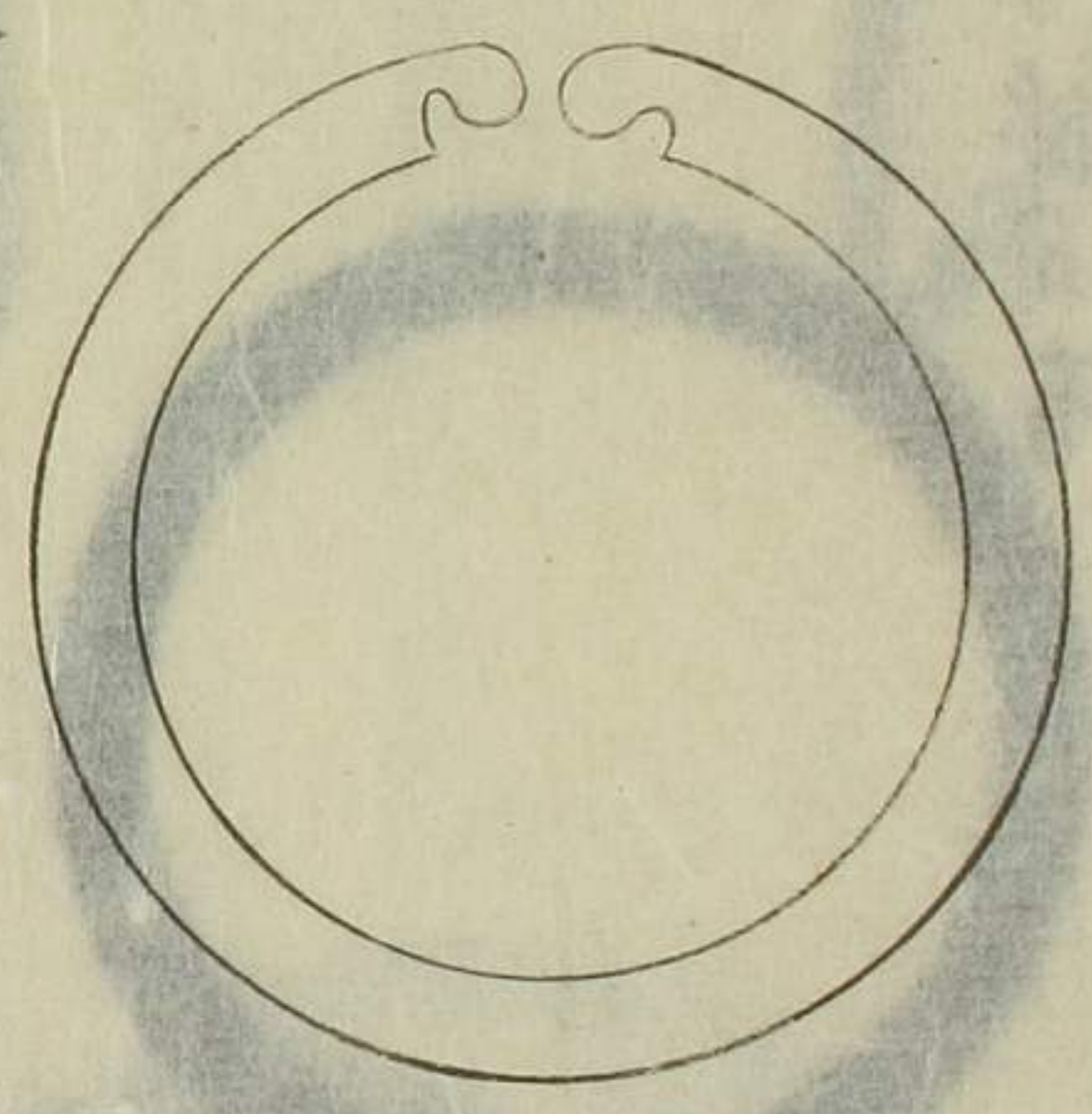
一外法二寸三分半掘目有

一右寸二分一分半

平目二見由志是少隈色有



かゝる人たゞし



- 一 卯法寸二分半
- 一 鳩さき二系丸
- 一 志んちう白洞かゝると作る

鞆の古法

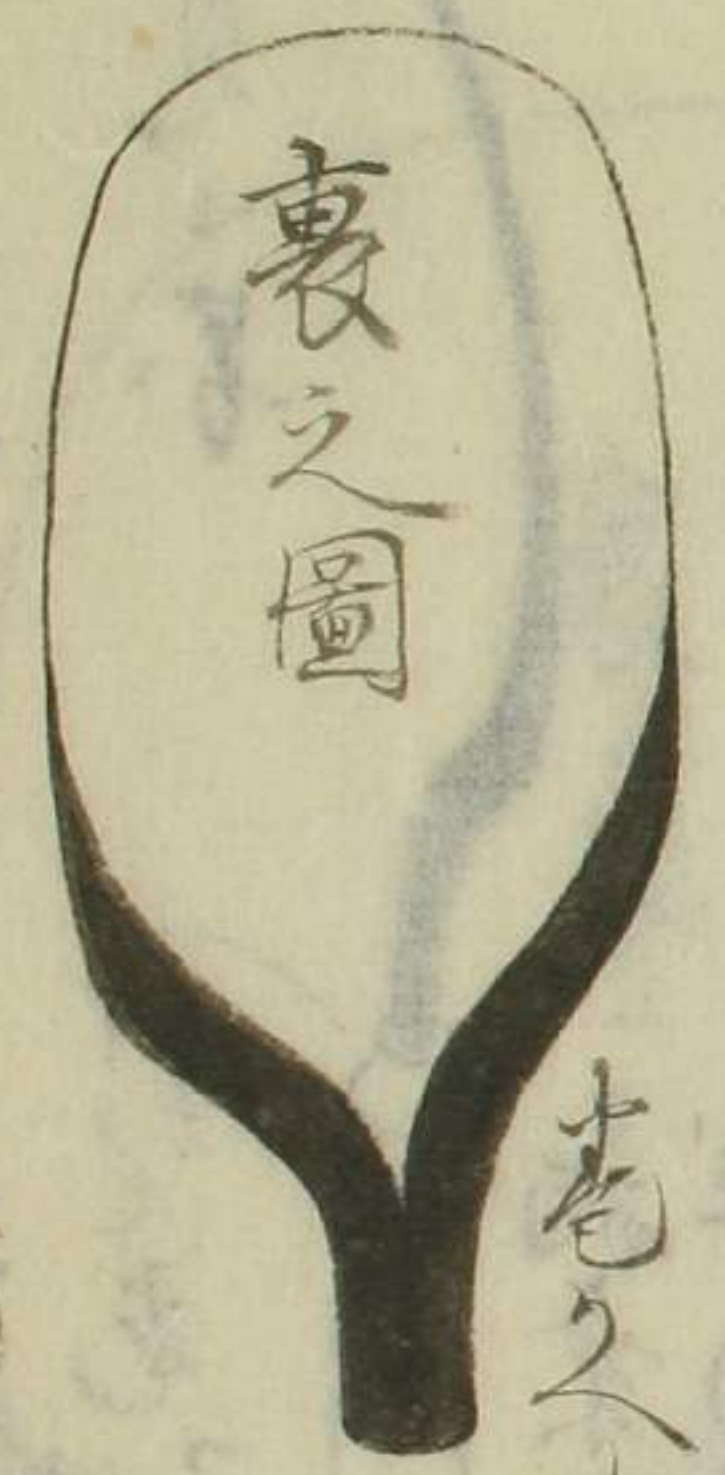
風爐之灰扱子

横上るる果

竹之皮に以て巻かば花也三本結

は和老サキ分三ツ

打



裏之圖

花久

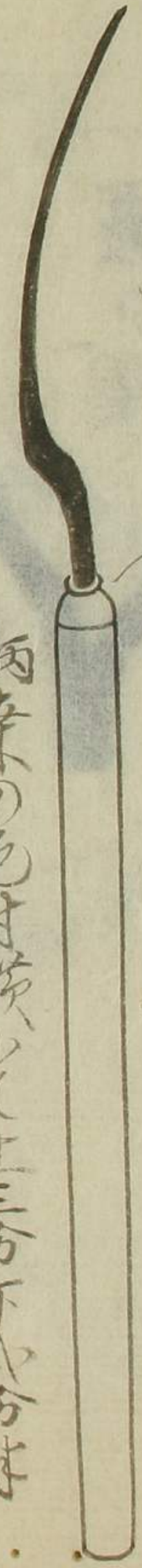
右より左の柄向く打也



心呂子 灰抄子  
横小貝の果

汁の老 けつりやう小刀目有申ゆくら  
兄の好り

柄杓の色付横みして上三分下二分  
平の方テ上三分下三分



裏之圖

右裏のりめや柄の中へ五分七分迄片一込  
申す也

風炉之底取抄子寸法畧



裏を見たる畧

一抄子其長サ八寸七分 但柄杓之



横見の番

- 一 右赤の糸を裏の柄の内ハよりせめて柄を打延ぐ
- 一 柄元を四寸斗竹の皮をせめて上を青麻乃糸細をせめて
- 一 竹の皮を老たる上をこぼしよりせめて踏く形を有と也



鴉好灰扱子

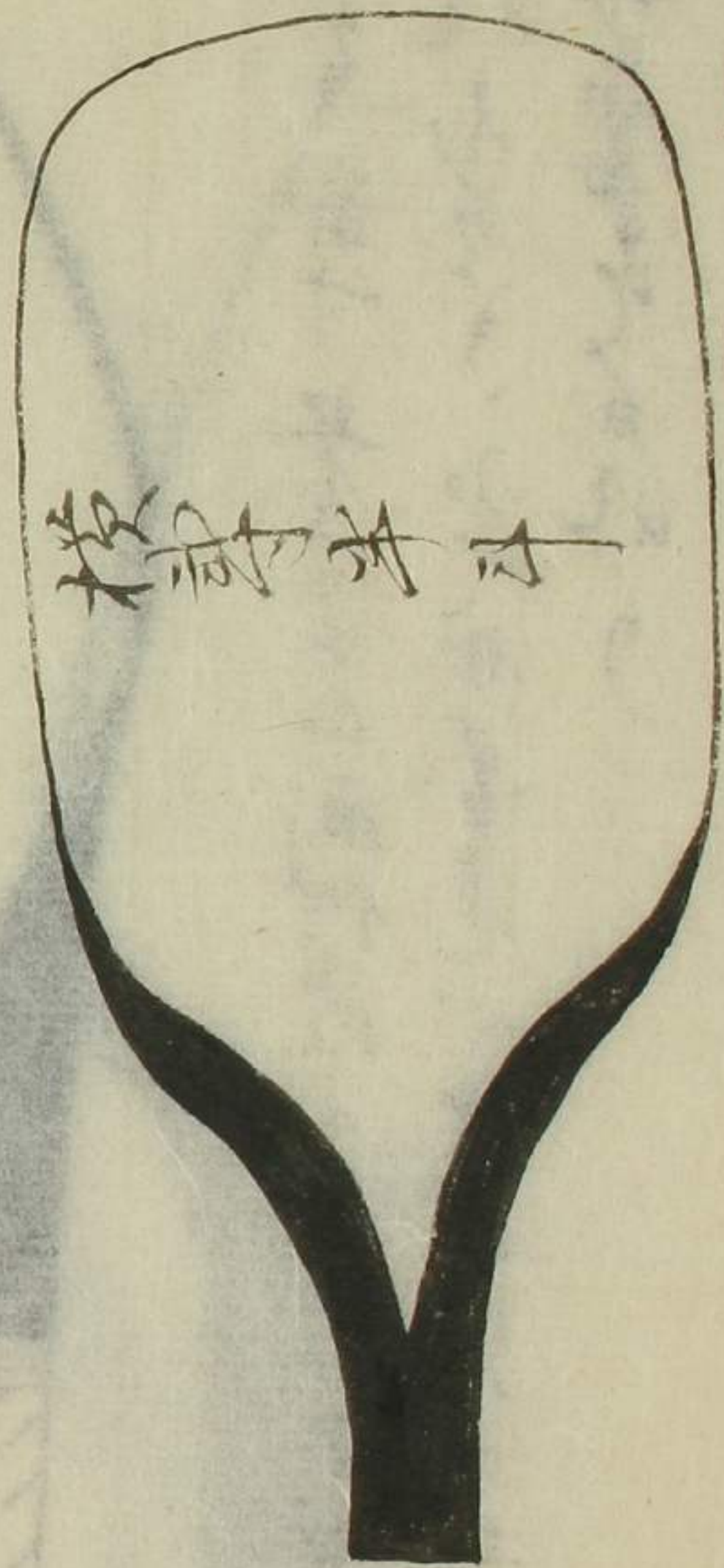
- 一 燕長サ一尺八寸五分六分六厘赤かき竹のめり
- 一 延柄の内をけりぬきや
- 一 横よりぬき果



- 一 柄元より或寸五分半の間に皮を三老上を青糸の小
- 一 よりせめてき、おそ如墨老や皮の元乃打延ぐ
- 一 其糸はもせむぬり

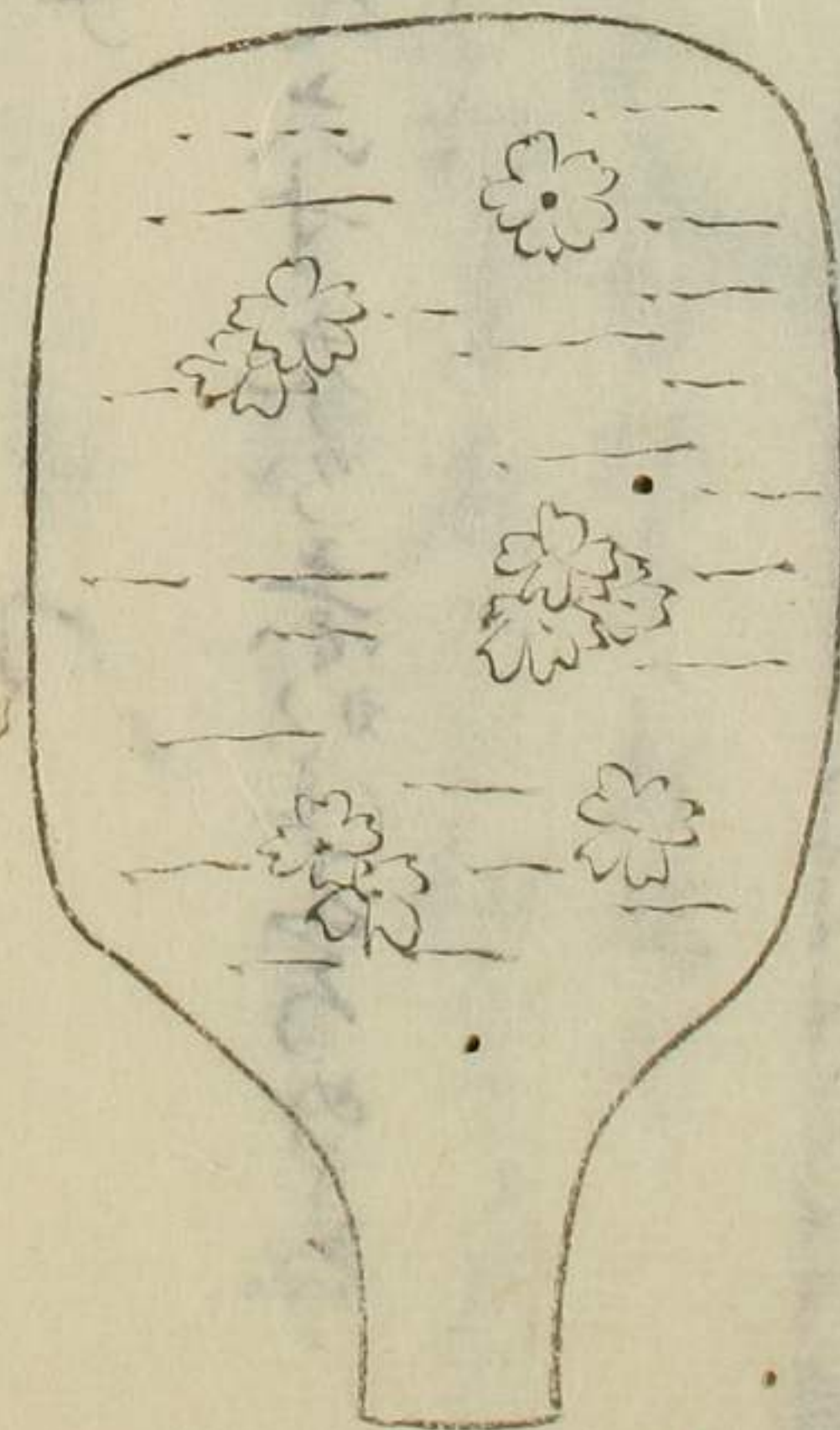


裏ヨリ見る圖



表柄の寸

一表斗に墨をまゝくたう紙目  
有様の花のまゝ市の花を  
ると墨をまゝく小口付  
有



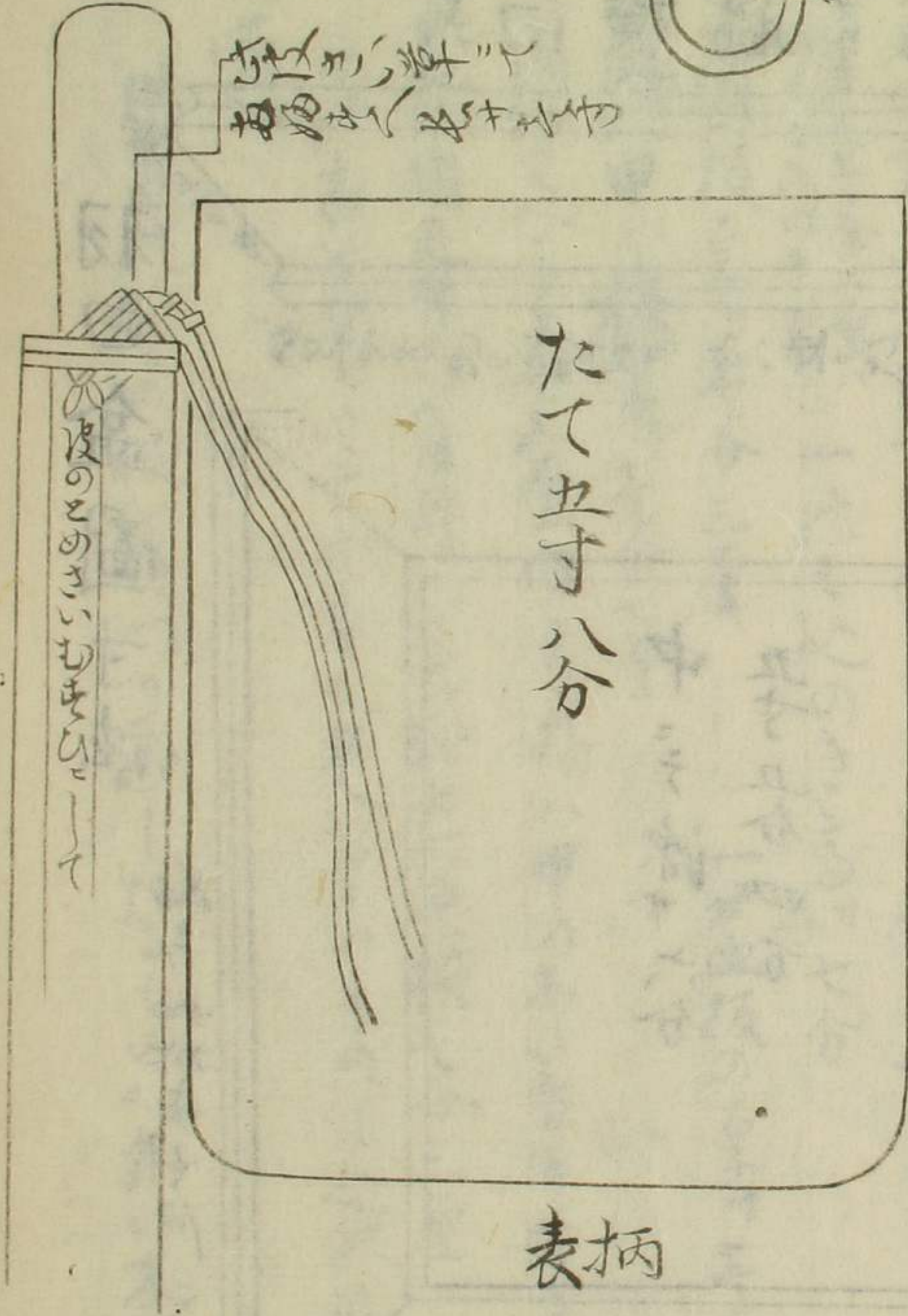
一節口の方をきり  
こどぬき也  
一底エ節を  
一枚の小口木を  
して

竹の小口

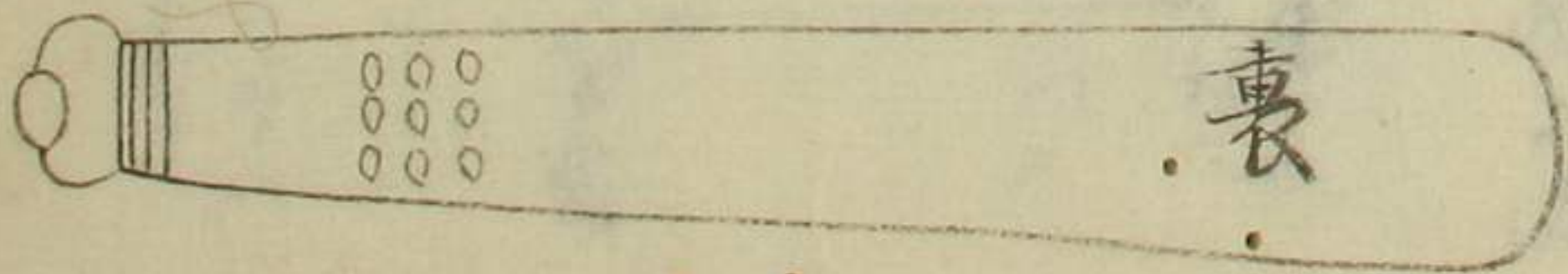
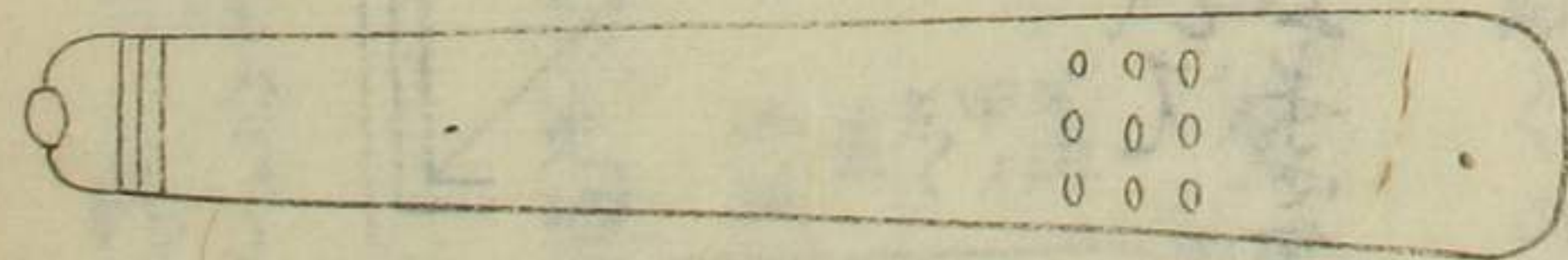


表柄の寸  
表柄の寸

たて五寸八分



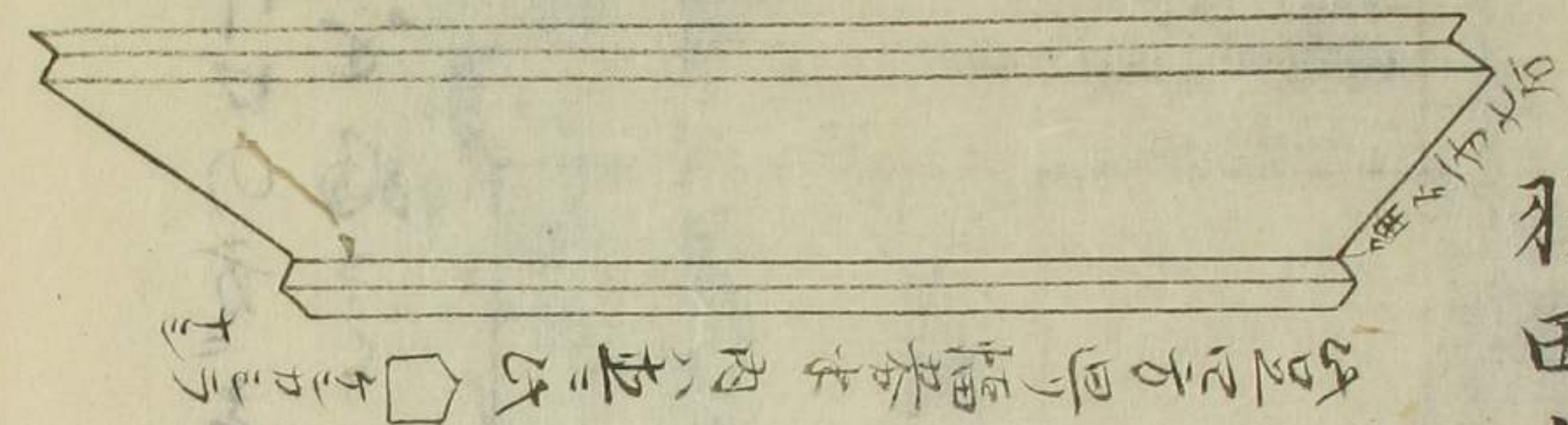
表柄



裏

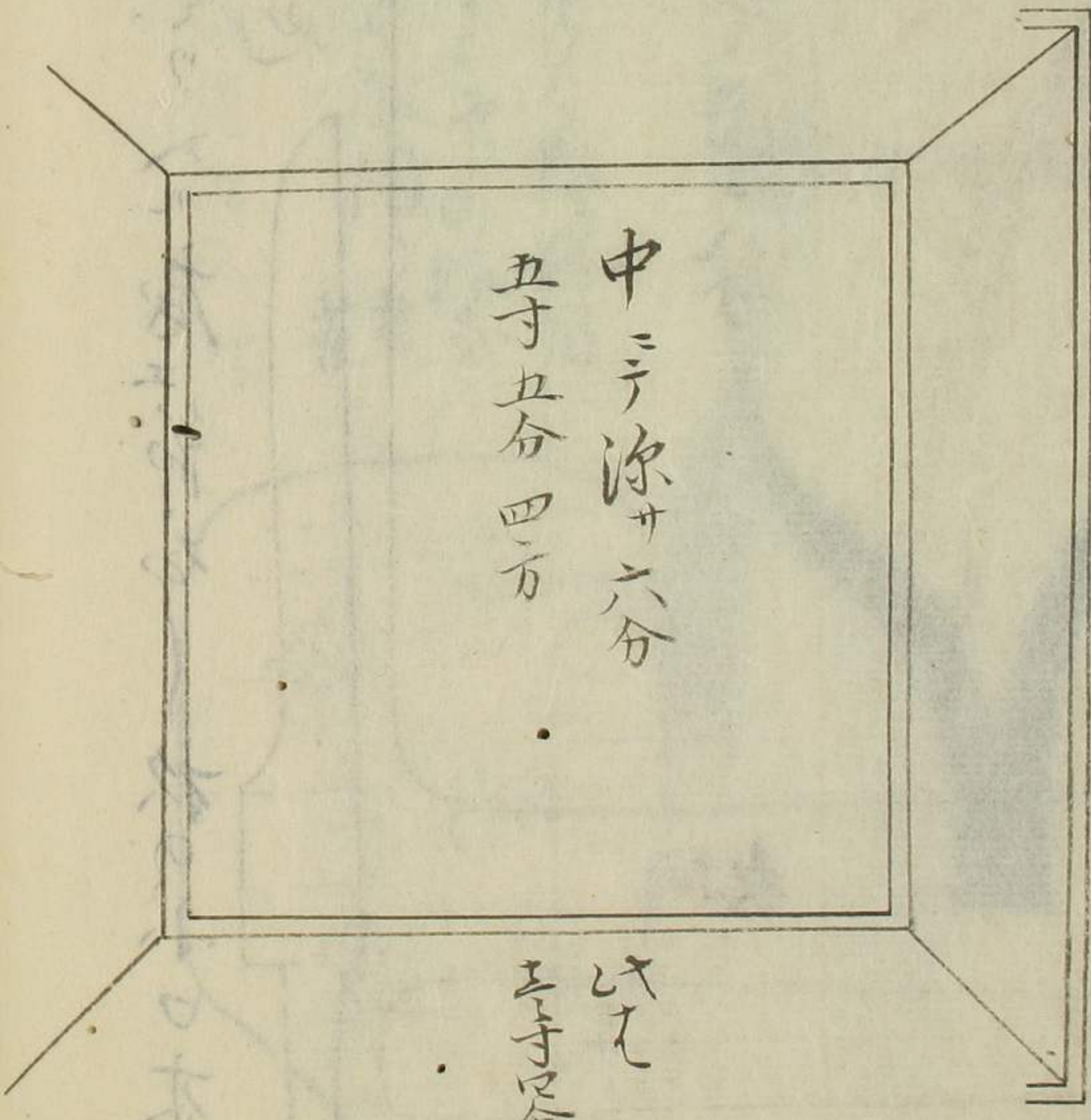


木向横脇見



羽田盆圖寸法

ゆち如此矢を月へ



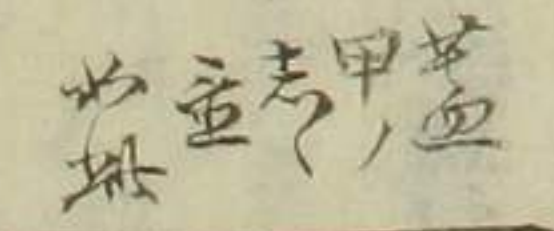
中ニテ深サ六分  
五寸五分四方

けし  
五寸五分半

三ッ入葉桶寸法

- 一 惣長サ 八寸五分
- 一 惣幅サ 三寸四分
- 一 蓋の厚サ 一分
- 一 底の厚サ 一分
- 一 蓋の内足付乃角廻りニテサ七分七厘
- 一 斗代木を付ルは方丈有く是ハ蓋のきのミニ此外ハ甲のきをミニ此外ハ

但斗代木を付ルは方丈有く是ハ蓋のきのミニ此外ハ甲のきをミニ此外ハ





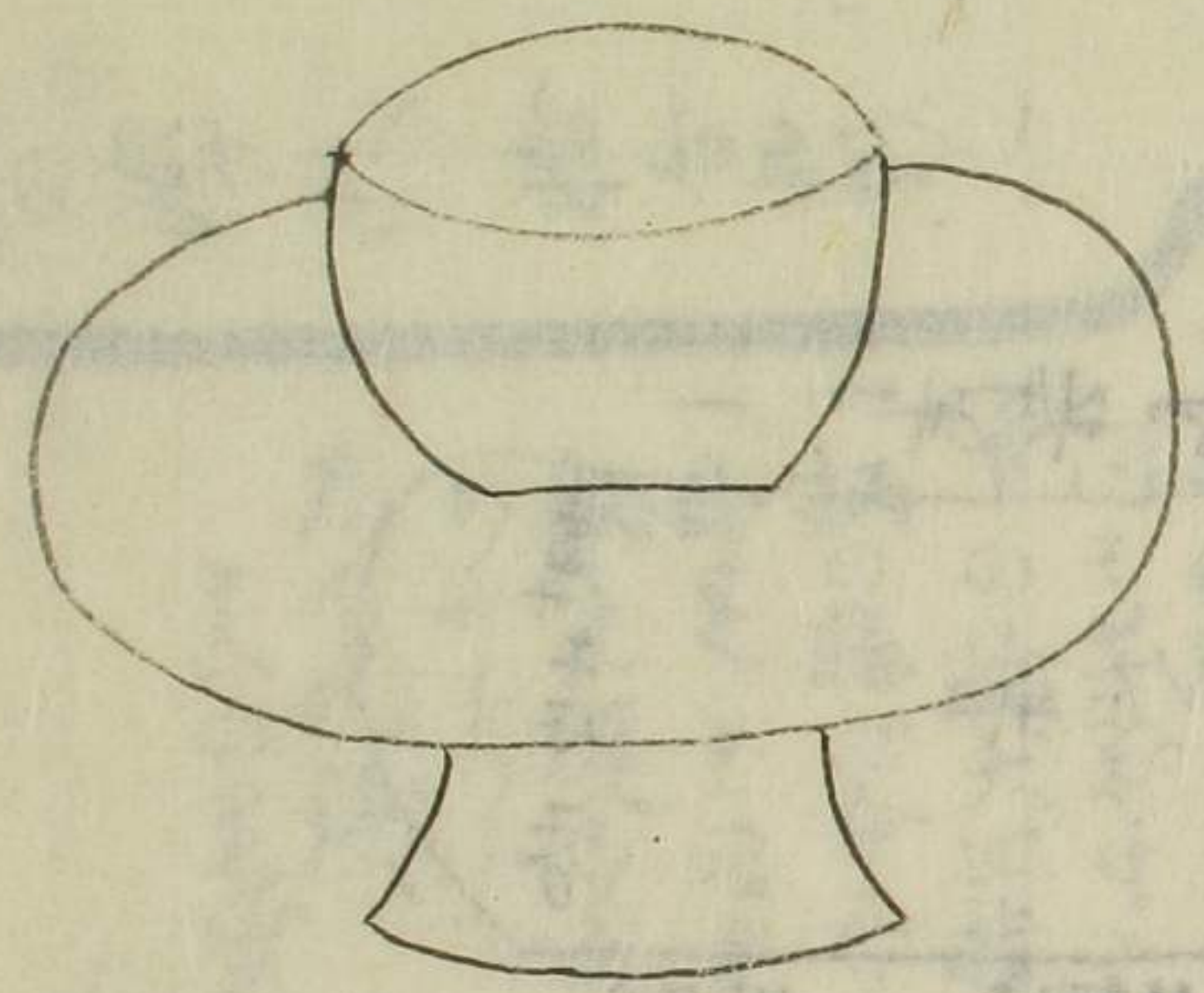
一 右相の木上へ切あはせさしきまのれに込地板を切何し  
 さしきまのれに切あはせさしきまのれに込地板を切何し  
 斗き本つゆめこと切合はしきまの甲に長六本つ横  
 小二本並の如き切合の板二本つ底板の長六本横三  
 本つ箱の外角丸くさす

水衣の拭き雑巾

一 白木綿長曲天守あぢと細縫ひの板  
 汗かけ中とあせ一寸巾にして付く有ハ汗け中  
 一 雑巾拭き白きさしきまのれに込地板を切何し  
 一 雑巾拭き白きさしきまのれに込地板を切何し  
 一 雑巾拭き白きさしきまのれに込地板を切何し  
 一 雑巾拭き白きさしきまのれに込地板を切何し

天目基之掛す法

一 木地盤にてまの溜ぬり種休好し取也

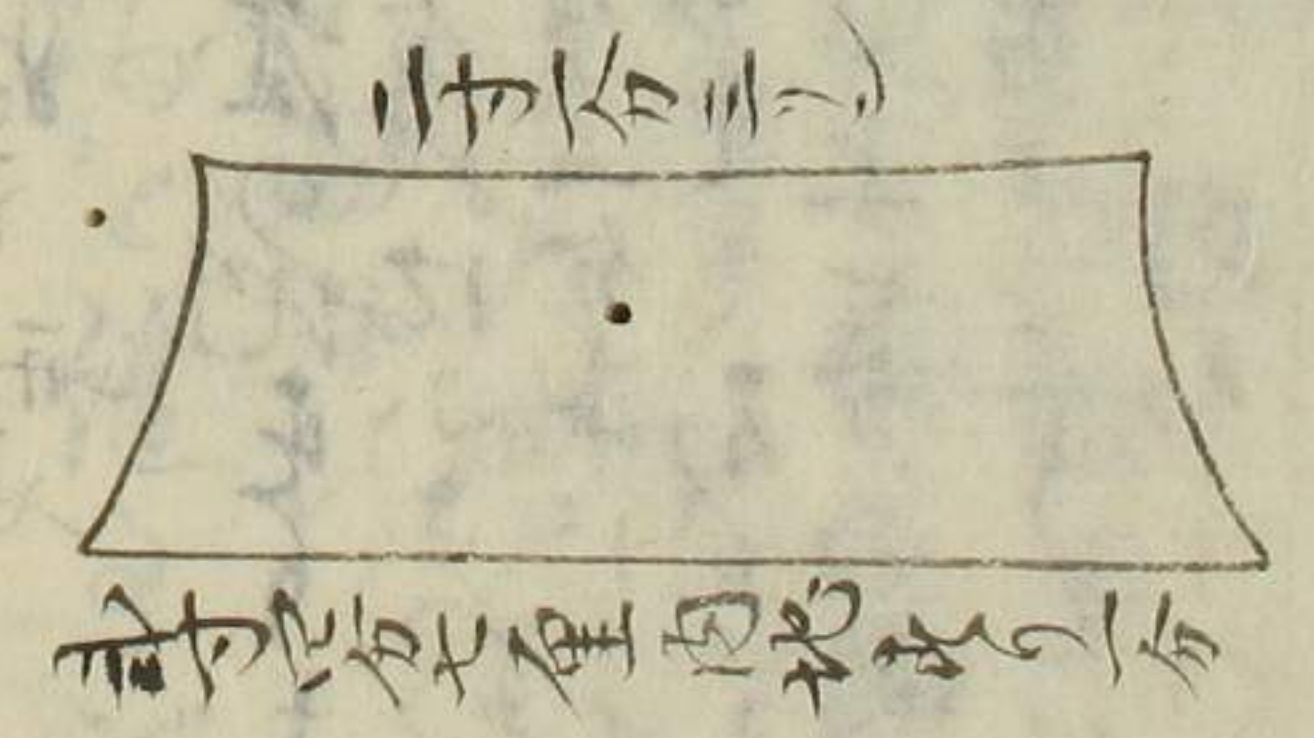
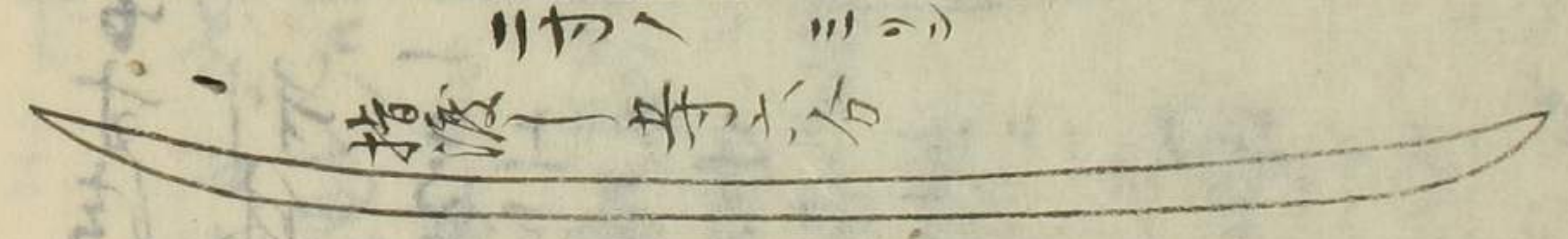
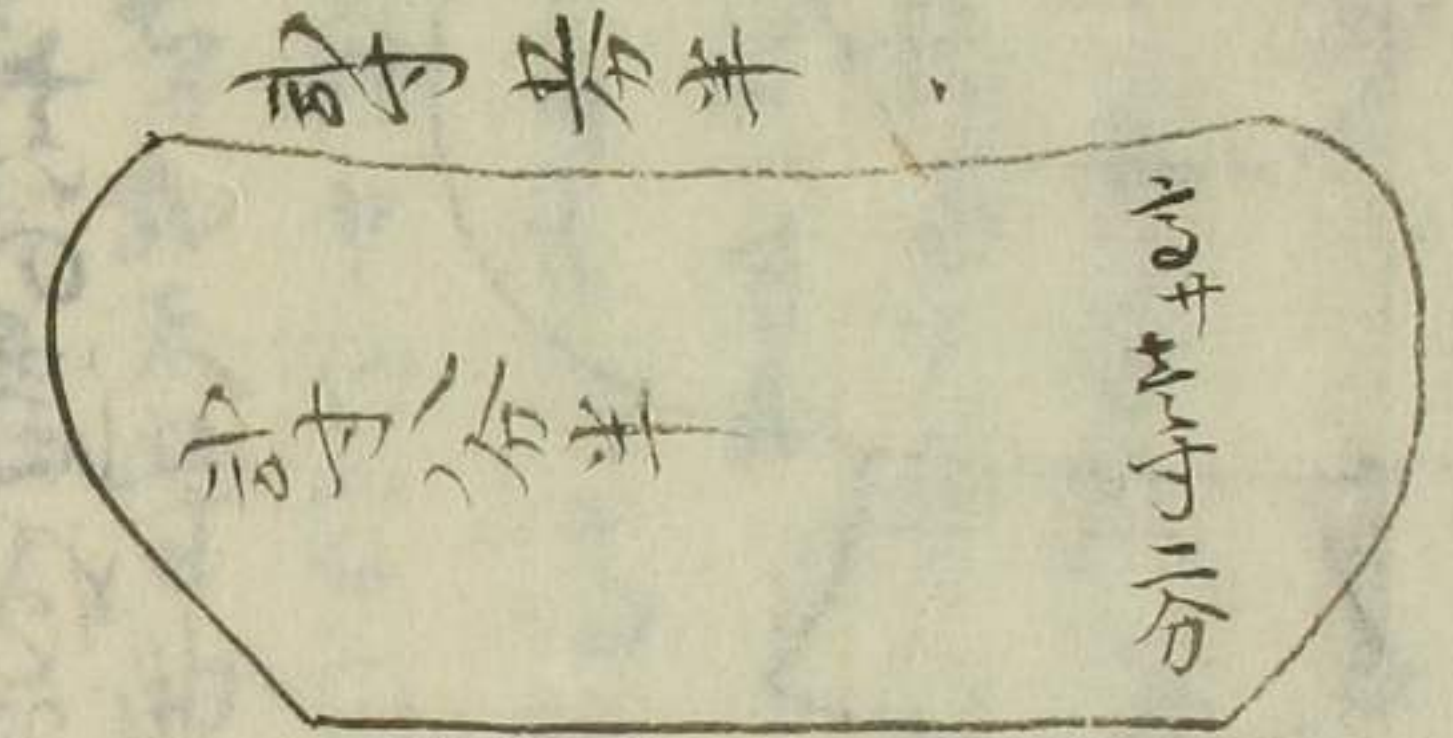


一 二寸基の地をりま分れまより  
 上四分地はふきつらあ有きろかけ  
 又角ケ一分斗にして地を分の板  
 二角重とあせきこを有きろ  
 うけの上七分の間角中をかき  
 並有きまよりまよなるり  
 此地乃因あつつき地ぬり  
 有りまよた角の板を渡す  
 寸五分

あせ五分寸二分



天目臺及びて丸圖



子燭之寸法

火目海井 各名如左

- 一 燭之寸法
- 一 燭之井字四寸五分上の梅の上で
- 一 蠟燭を長サを寸四分
- 一 上れ梅を渡二寸七分
- 一 寸五分サキ寸五分
- 一 下の輪大四指渡四寸
- 一 柄の輪に分三寸五分
- 一 寸五分と同じ寸法
- 一 柄と足と丸
- 一 丸の裏
- 一 丸の裏

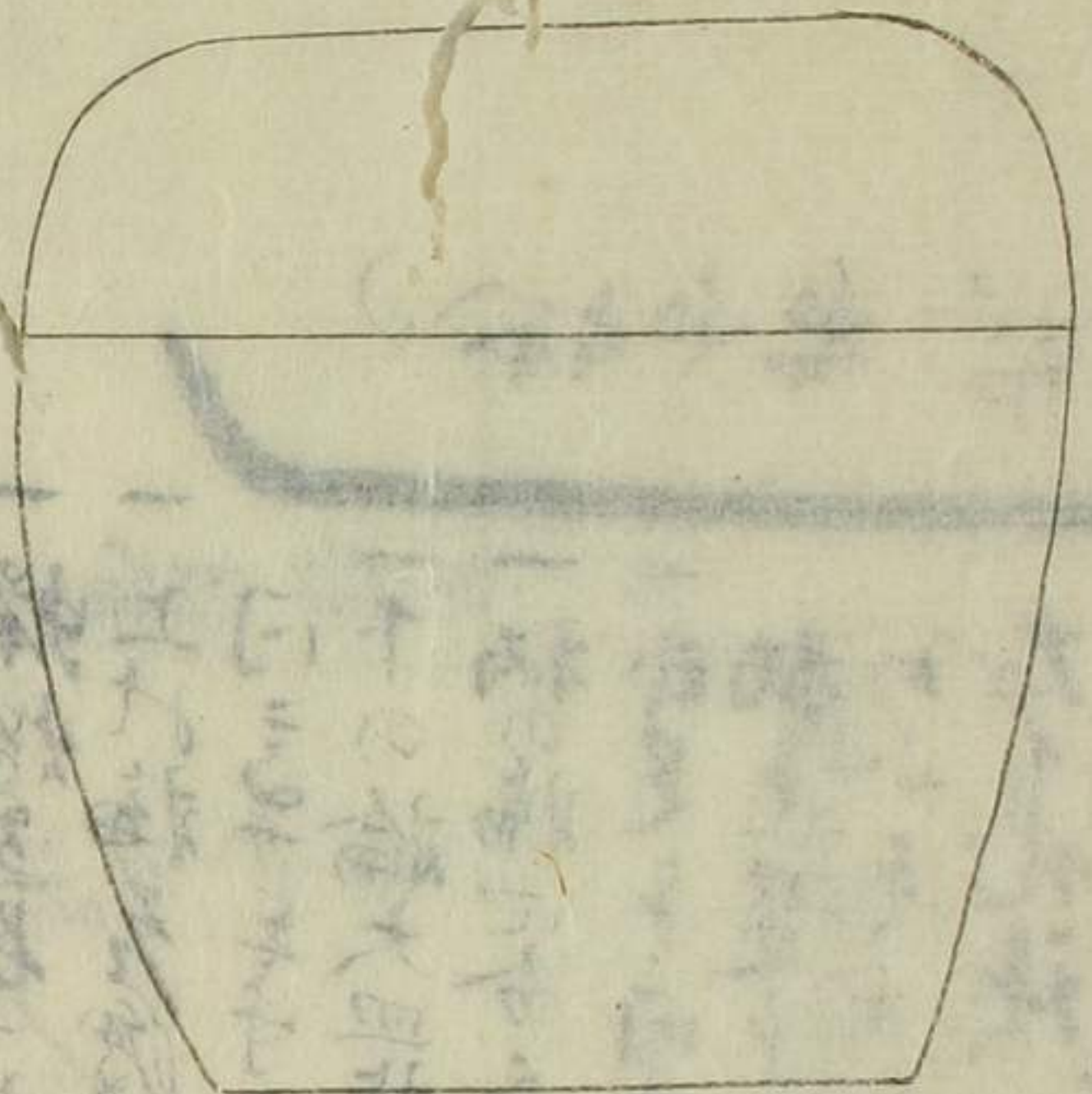


あまの洞糸法  
四寸八分  
但足の先より  
足のききま



一大專

茶桶之款形寸法  
 高さサ四寸六分



横四寸底の板寸六分深サ九厘  
 きのさ四寸ハリ二寸厚サ四厘  
 蓋のかさ厚サ木口少く六厘  
 蓋のさサ外ハリ八分六厘  
 蓋乃ここの厚サを各二三リ  
 身の深サ二寸五分底丸く  
 付切九寸二寸五分ハリ  
 ち儘口共

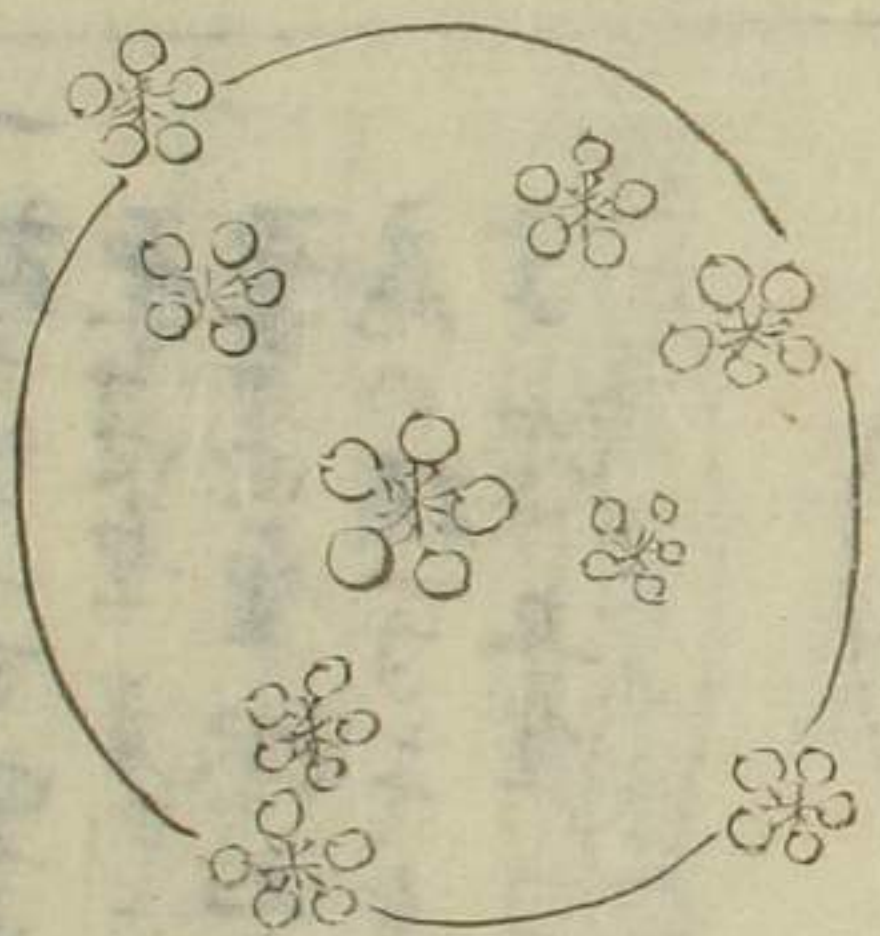
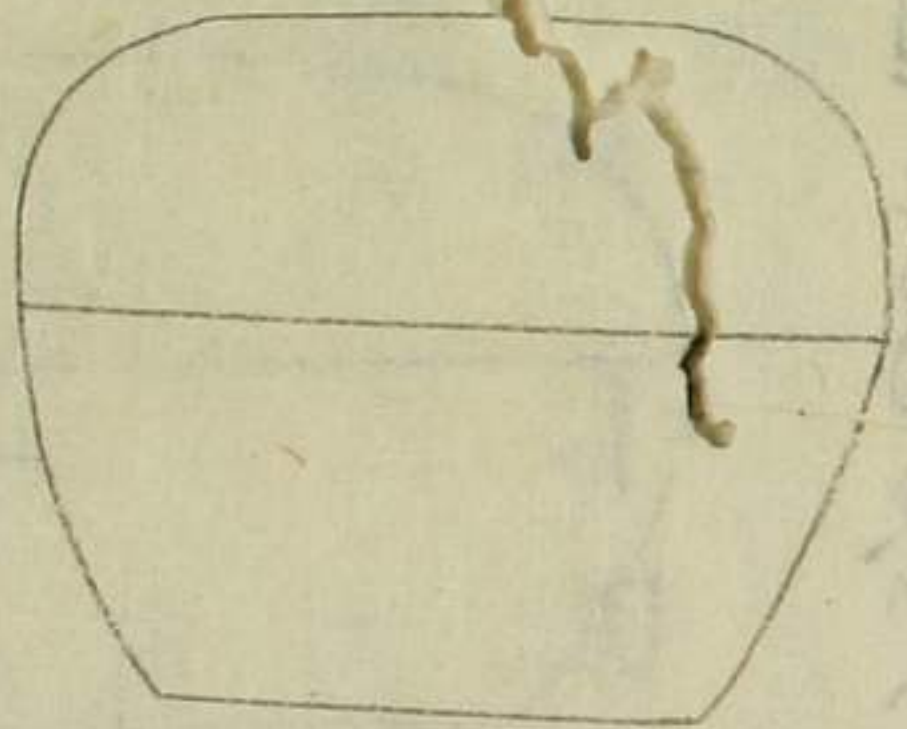
内外まの花塗ぬる煮内かしの形を請て他く

こわき梅の香合寸法果

- 一 高さサ 三寸四分
- 一 底の板 三寸五分
- 一 蓋の寸サ 六分半

一きのさサ四寸五分厚サ二寸深サ九分

- 一 横 三寸八分三厘
- 一 深サ 三厘
- 内ニテ厚サ五厘



内外黒塗古漆  
 縁こほき梅大サ  
 敷也者之何い  
 ち小塗也



招鶴好香合

一 熱さサキ寸三分二厘  
 横一寸五分三厘 底の板九分六厘  
 深サ五厘



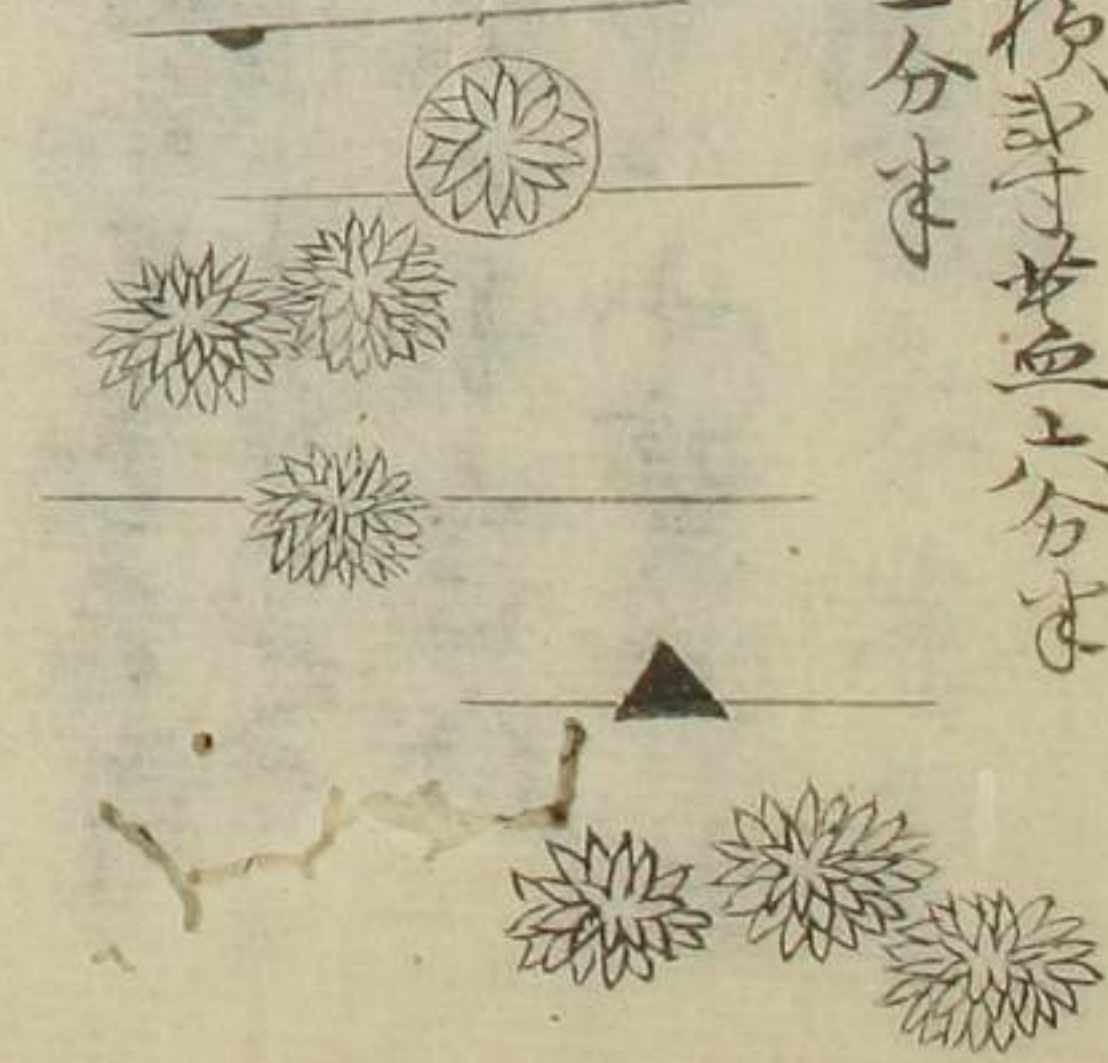
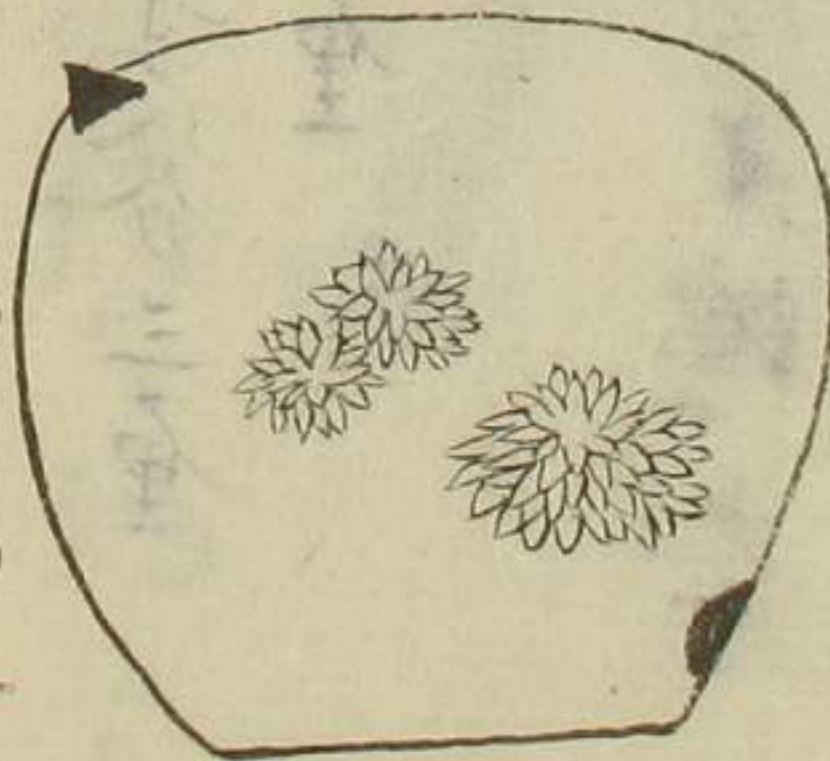
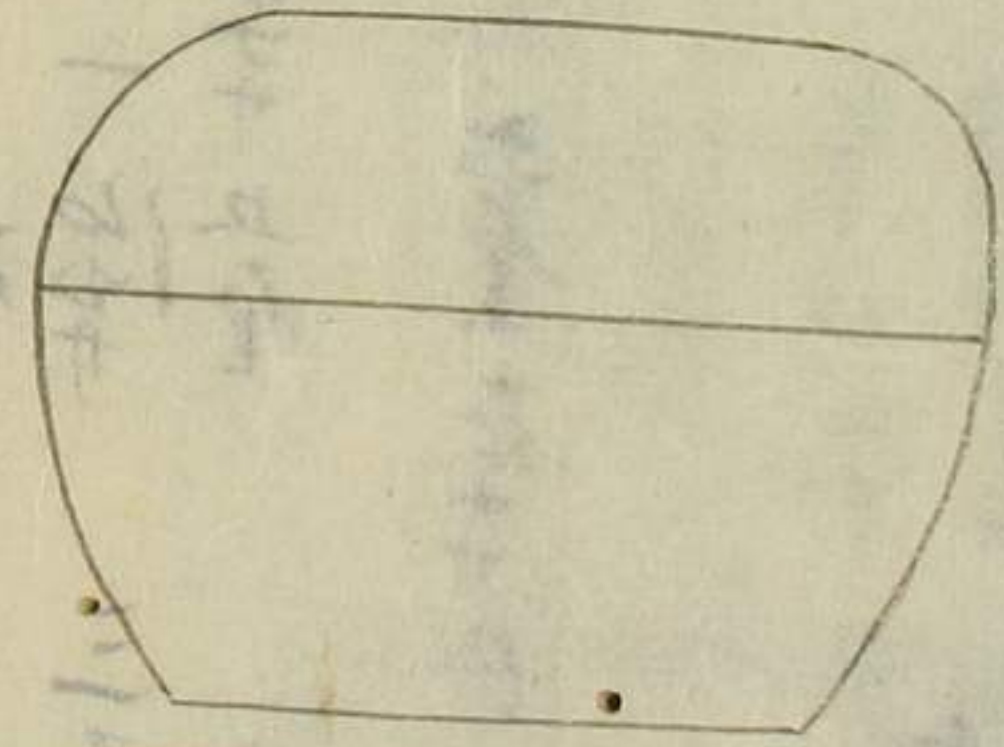
蓋の分六  
 分深サ五分  
 厚ササキ寸  
 の三分二厘  
 寸厚サ五厘  
 深サ九分

右の内寸の肉形ハ亦の形

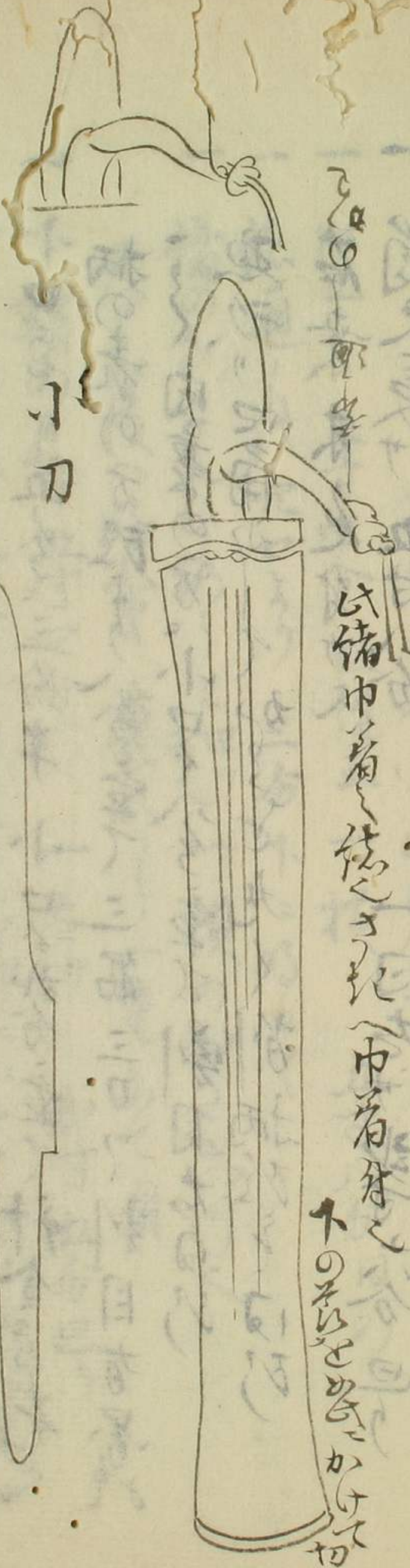
右の内寸の里蓋ありの色也  
 記ミ与ミ寸法同ク

小庵形菊之香合

一 熱さサ一寸四分半横寸蓋五分半  
 厚サ四厘 底の板一寸五分  
 深サ五厘



右の内寸の肉形ハ亦の形  
 記ミ与ミ寸法同ク



は備巾着は徳之口に巾着付

下の口をぬかかけ



竹之小口



裏の方



表の方

さばり火打袋之寸法



- 一 火打袋 堅五寸八分 横五寸四寸 継立に地おんた本綿 裏はこのこみ
- 一 猪足 さんちりふと 口打長サ 五尺五寸 小打 畧の ちりふと
- 一 猪通 口口をき寸 三分の ちりふと

小刀

- 一 小刀長 三寸五寸先を丸くとき付丸
- 一 柄長サ 三寸八分 一柄幅 七寸厚サ 四寸
- 一 小刀 五寸 三分半 小口を五分立て 汁令らるる
- 一 柄の表の方より八分立て 三筋 三かゝ 割目有畧地
- 一 ちりふと 同裏の方より小口を八分立て 割目右の日
- 一 熱形 口角の ちりふと ちりふと 丸く 割柄 既を日
- 一 右 桑木 色付サ
- 一 角之長サ 五寸八分 一 日 ちりふと 六分 日

さけりやの中着寸法

- 一 堅 五寸四寸 但継立 一横 五寸八分 日
- 一 法通 口口より 三分 下 ちりふと
- 一 猪の色 さんちりふと 口口 一横の ちりふと ちりふと
- 一 ちりふと 好 ちりふと 裏 ちりふと ちりふと 用
- 一 下 鞆の 長サ 五寸四寸 一 ちりふと 五寸五分 日
- 一 竹の節 跡 先 ちりふと 有り 下 ちりふと かけて 切や 竹の 虎口
- 一 草の 付や 畧の ちりふと
- 一 小刀長サ 三寸 但小刀の先 丸く 一 日 柄の 長サ 三寸八分
- 一 柄幅 五寸 一 厚サ 中 ちりふと 三分 但丸め ちりふと
- 一 柄既の方より 八分 立て 汁令 ちりふと 小口を 五分 立て
- 一 日 巻の中 ちりふと ちりふと ちりふと 中 ちりふと ちりふと ちりふと 具 ちりふと
- 一 ちりふと ちりふと ちりふと

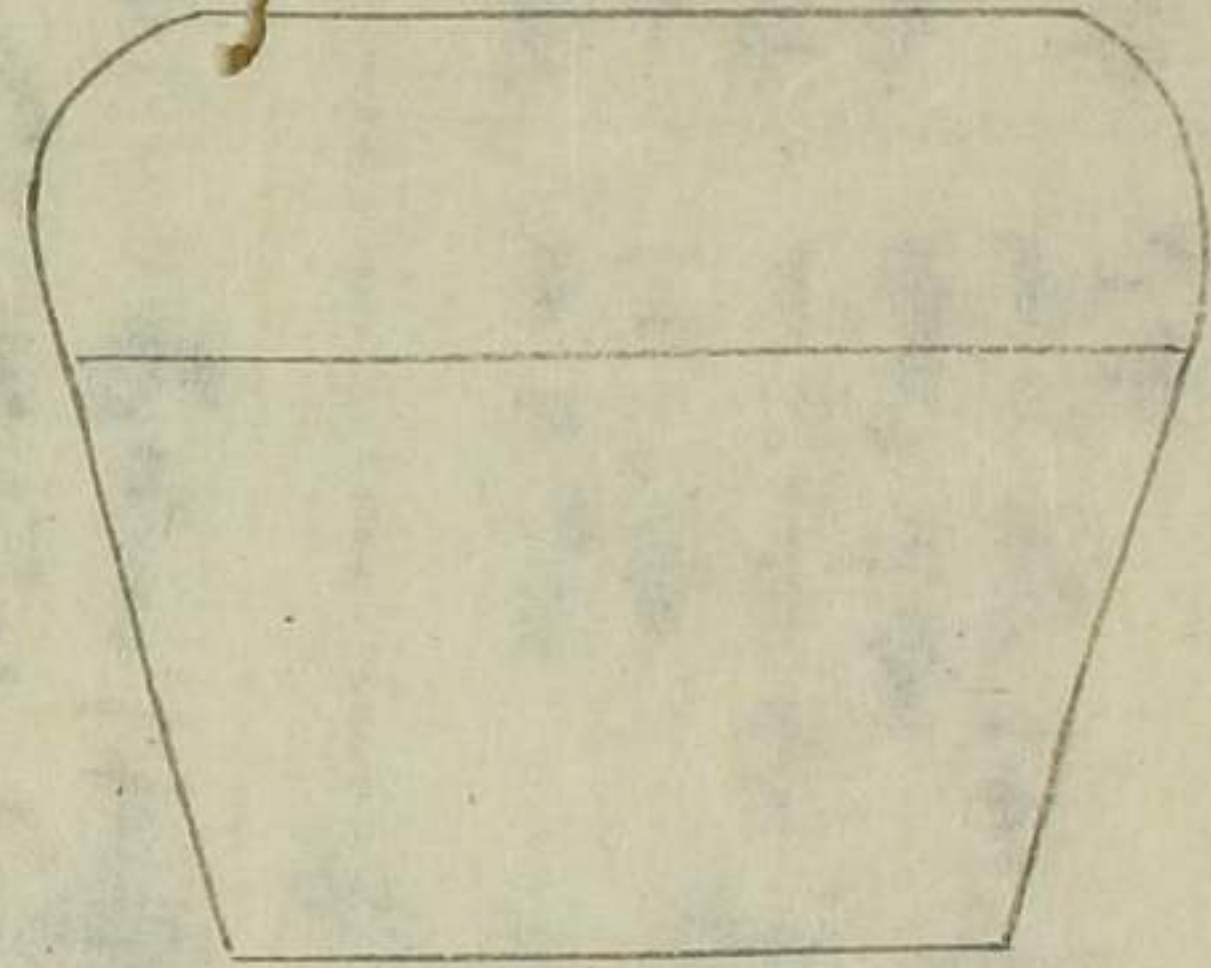






茶筥 いては茶筥と云 利体好

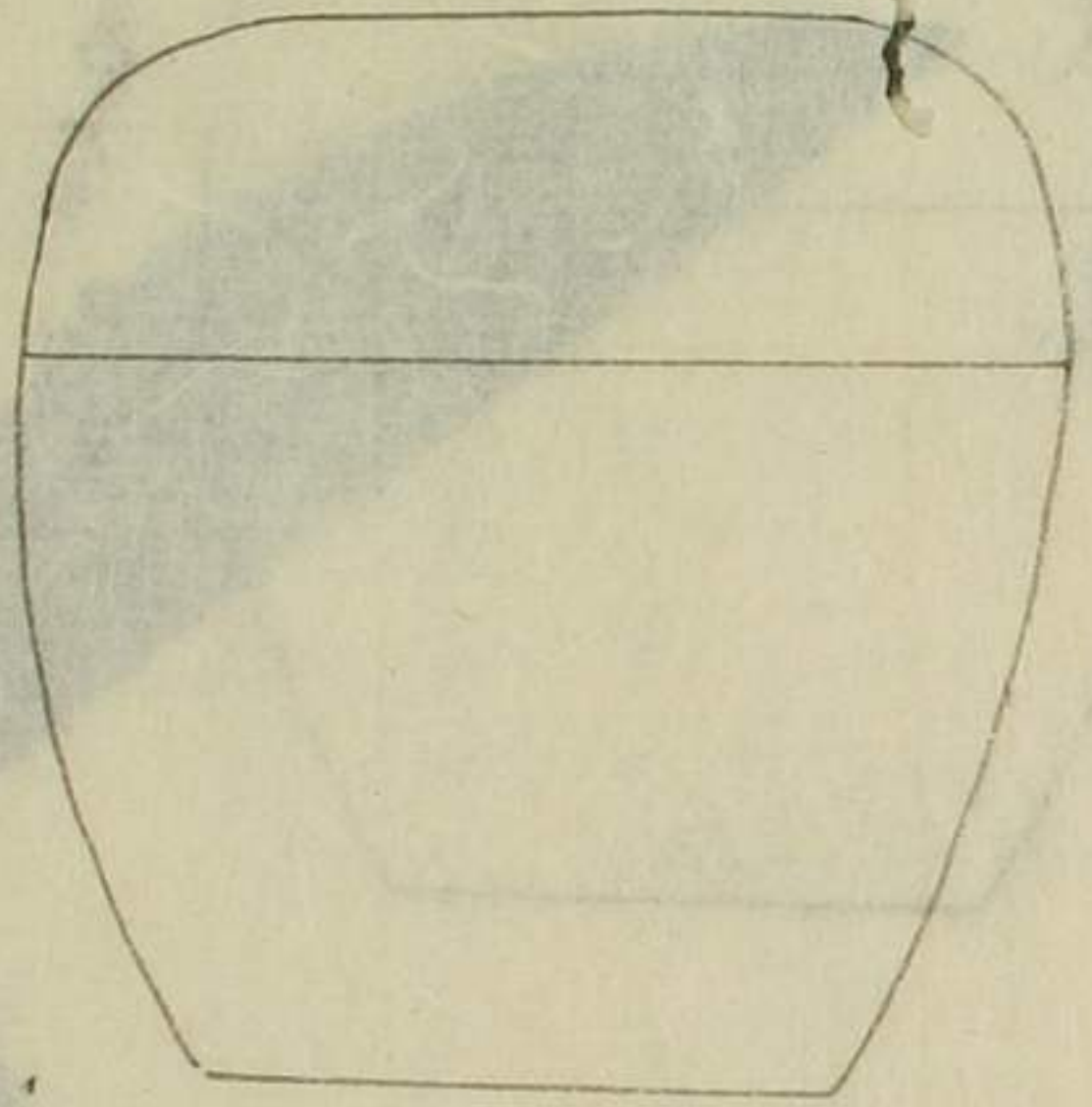
一内外花塗七厘



一底の板一文字一  
一寸七分半目

- 一 熱さサキ寸九分半
- 一 横寸 二寸五分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋上の一文字 一寸七分半
- 一 蓋の内寸 一寸七分半
- 一 蓋の外寸 一寸七分半
- 一 蓋の内厚 四分
- 一 蓋の外厚 四分
- 一 蓋の内底 一寸七分半
- 一 蓋の外底 一寸七分半

一中東



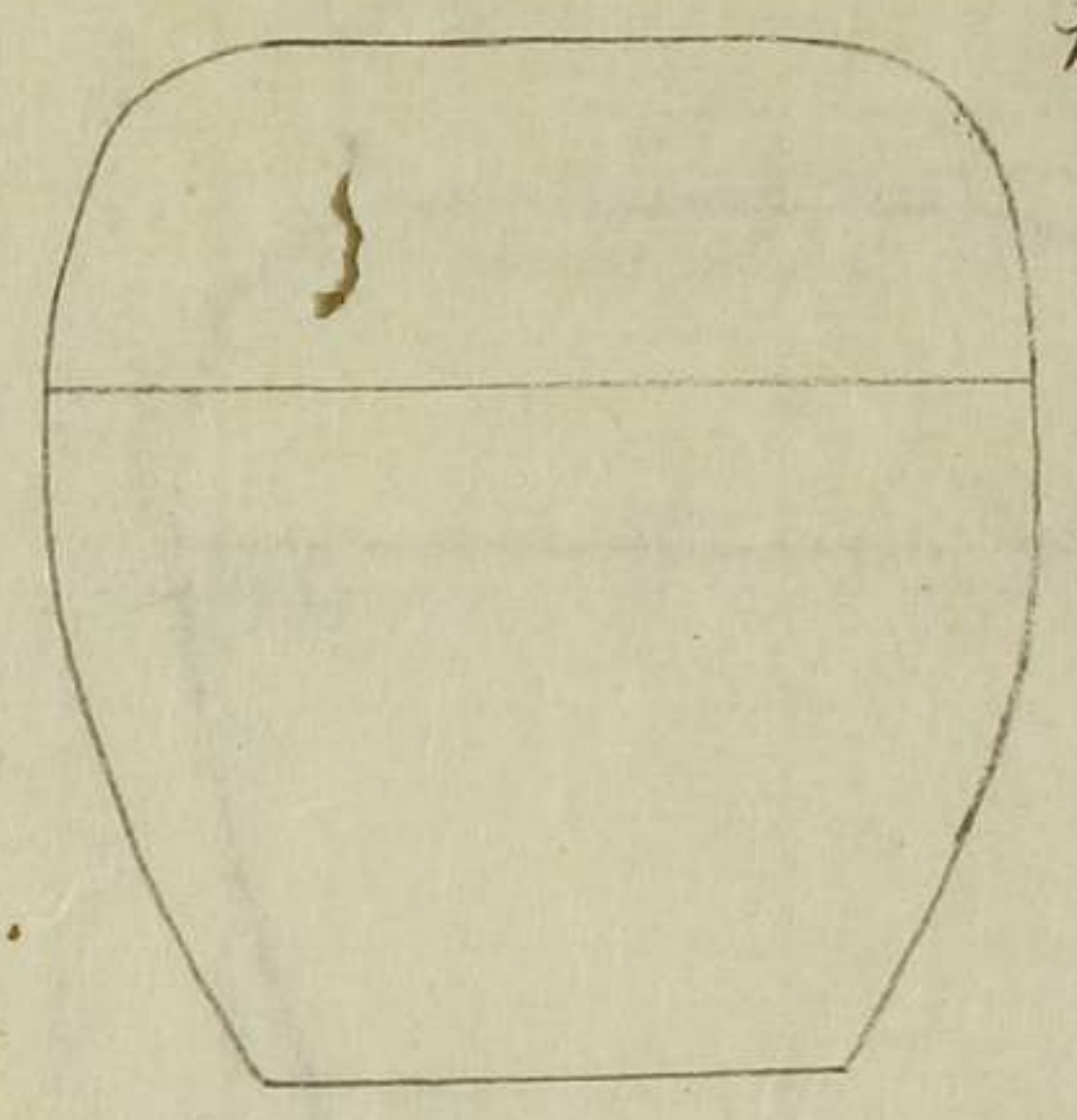
一 熱さサキ寸二分三厘 横寸底の板一寸

- 一 熱さサキ寸四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分
- 一 蓋の厚サ 四分

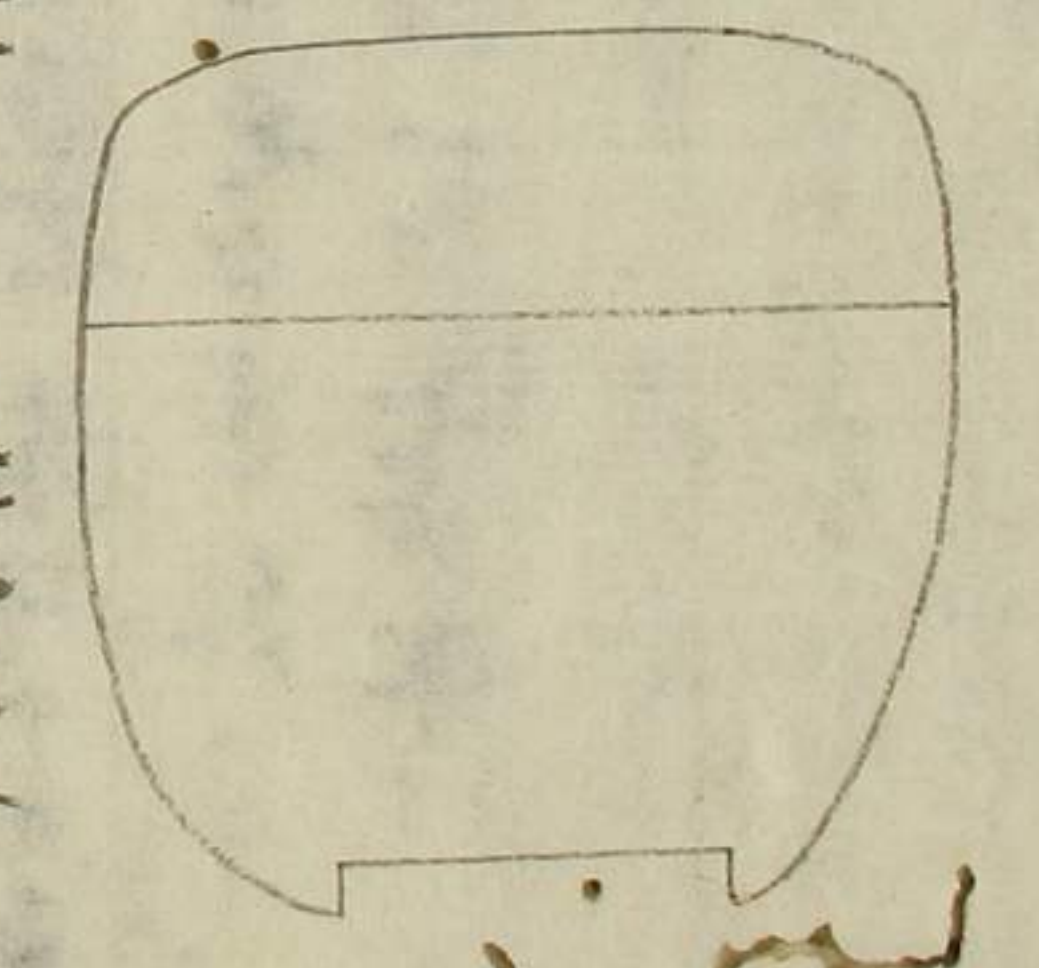
右茶の花塗内外部共諸の未細く寸法大東に准る。



一 小束、熱さるサ斗一分三リシ  
 横同寸板寸三厘 漆、量  
 きのこるサ三分セリシ  
 一 蓋のかる子サ五厘



一 一版入束、熱さるサ斗七分  
 同横寸七分半 底板九分  
 深サハリシ



一 蓋のこるサ外ニテ七分  
 一 月の漆サ一寸五分半  
 右一版入ニ大小有り大の方熱さるサ斗八分半 横寸九分其  
 外恰合右ニ日右塗板大中 小の者、日、

一 蓋のこるサ斗五分四厘  
 きのこるサ三分  
 日厚サ四厘 二厘半

いろりろこぶりけす法

一 洞、製、ろりの打、延、柄、漆、中、か、も、費、さ、る、漆、サ、六、分、半  
 一 柄、元、か、五、寸、五、分、の、間、行、の、皮  
 め、く、毛、上、と、青、麻、糸、を、は、く  
 毛、や、う、糸、の、こ、ろ、元、の、方、を  
 少、皮、と、あ、り、か、へ、也

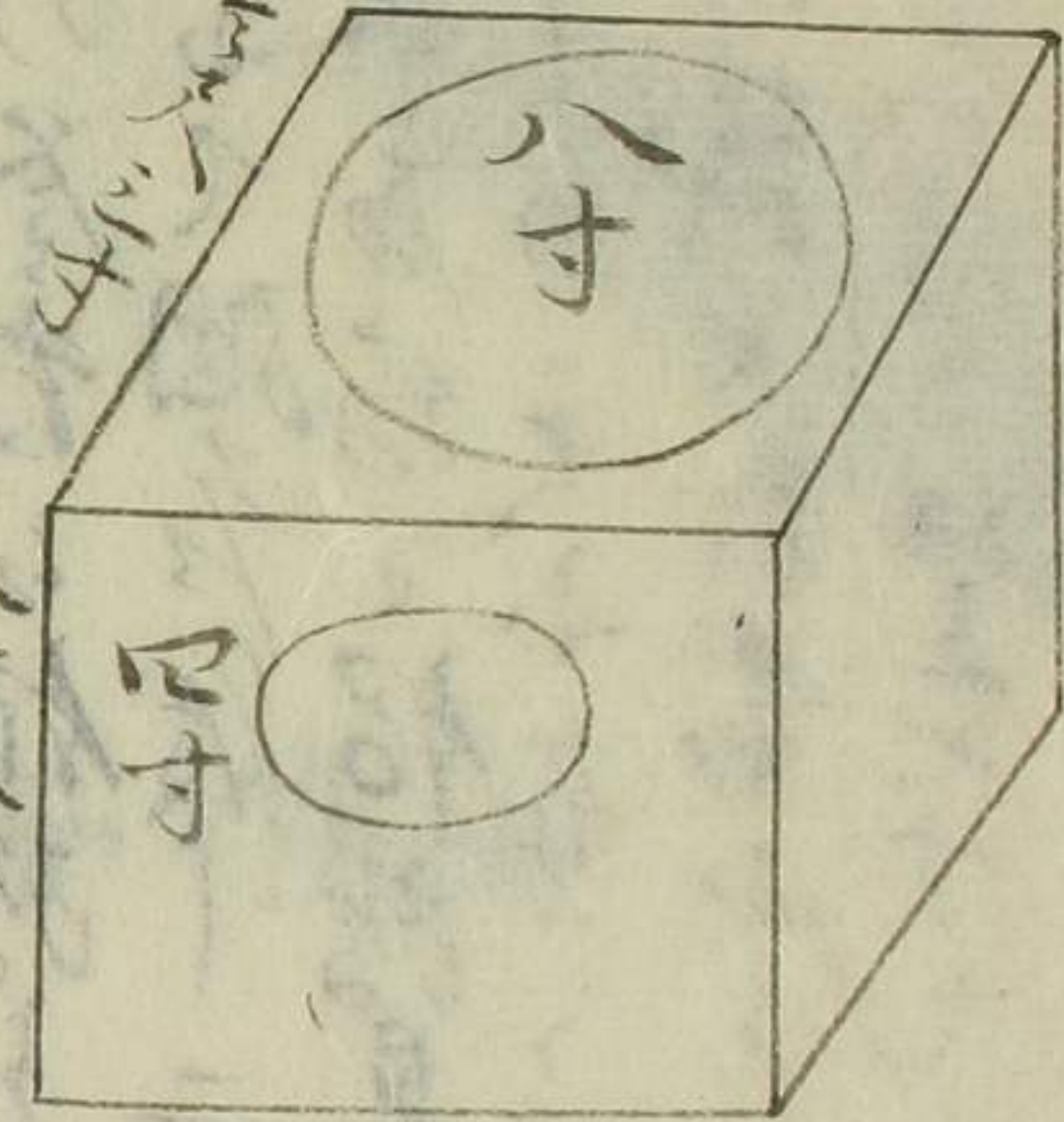
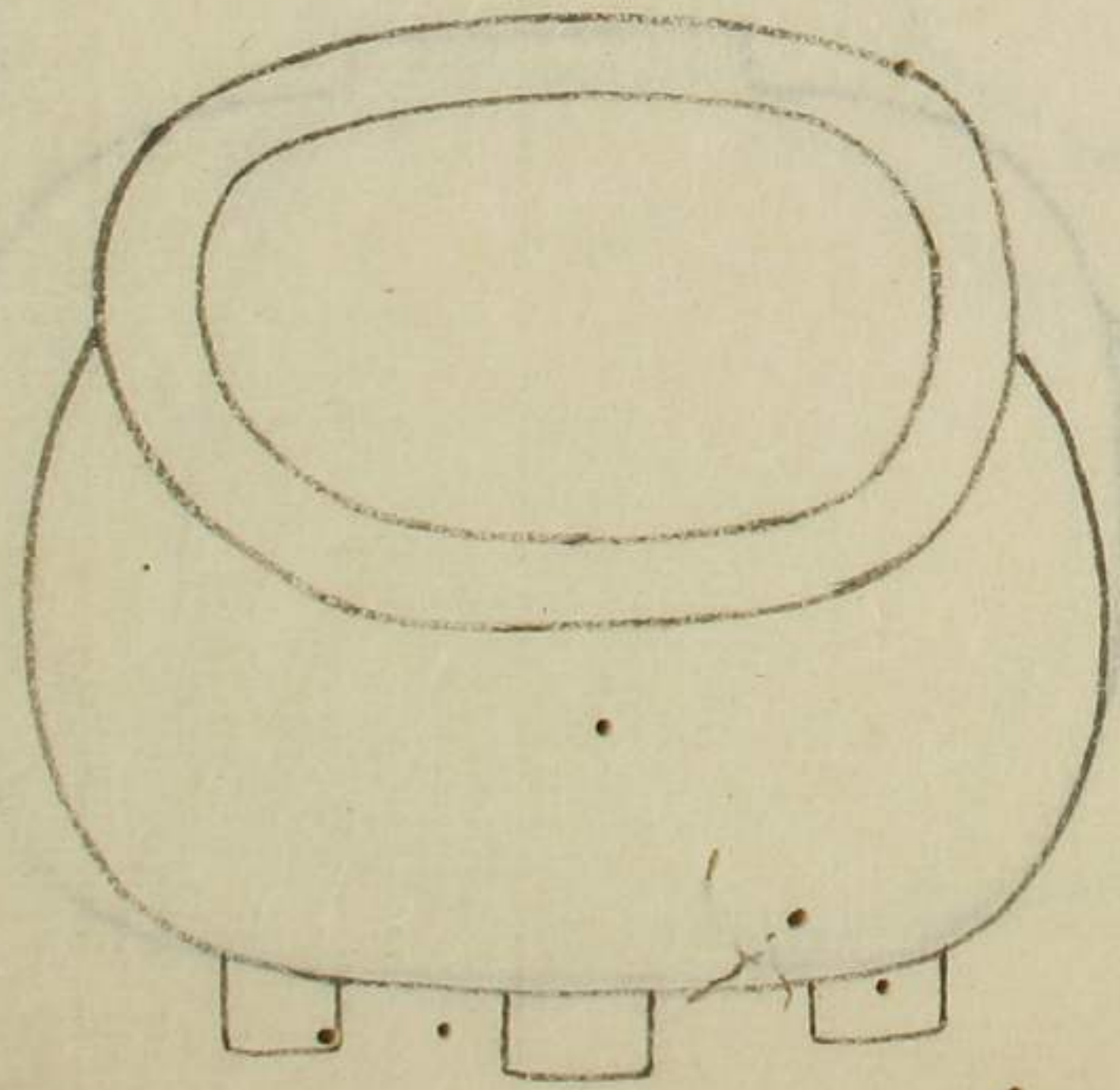
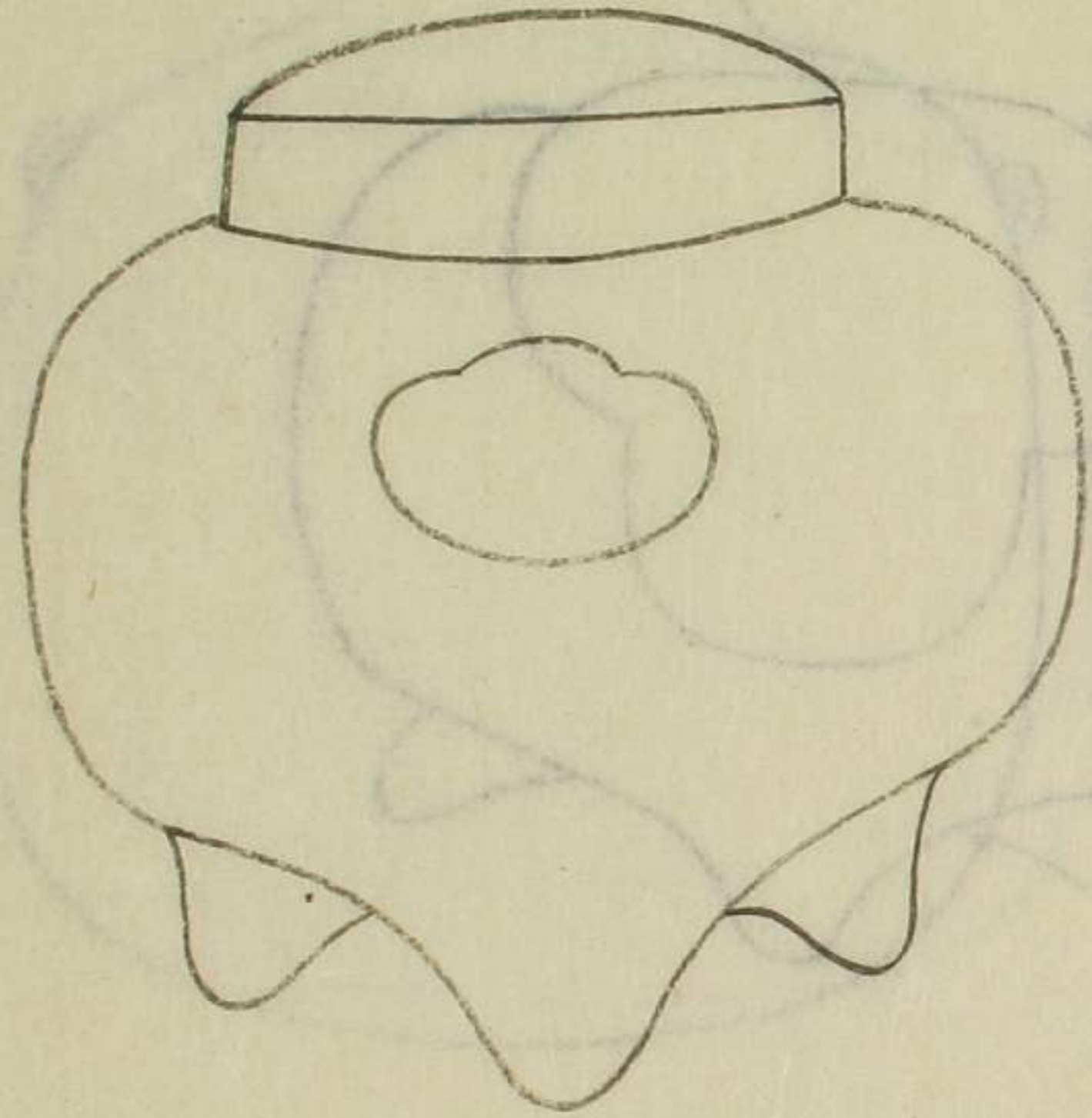


一 熱、長、サ、柄、先、方、片、ト、さ、り、通、て、毛、尺、二、分









板のみ分板を指上と板  
肉々去る等く丸倉細也

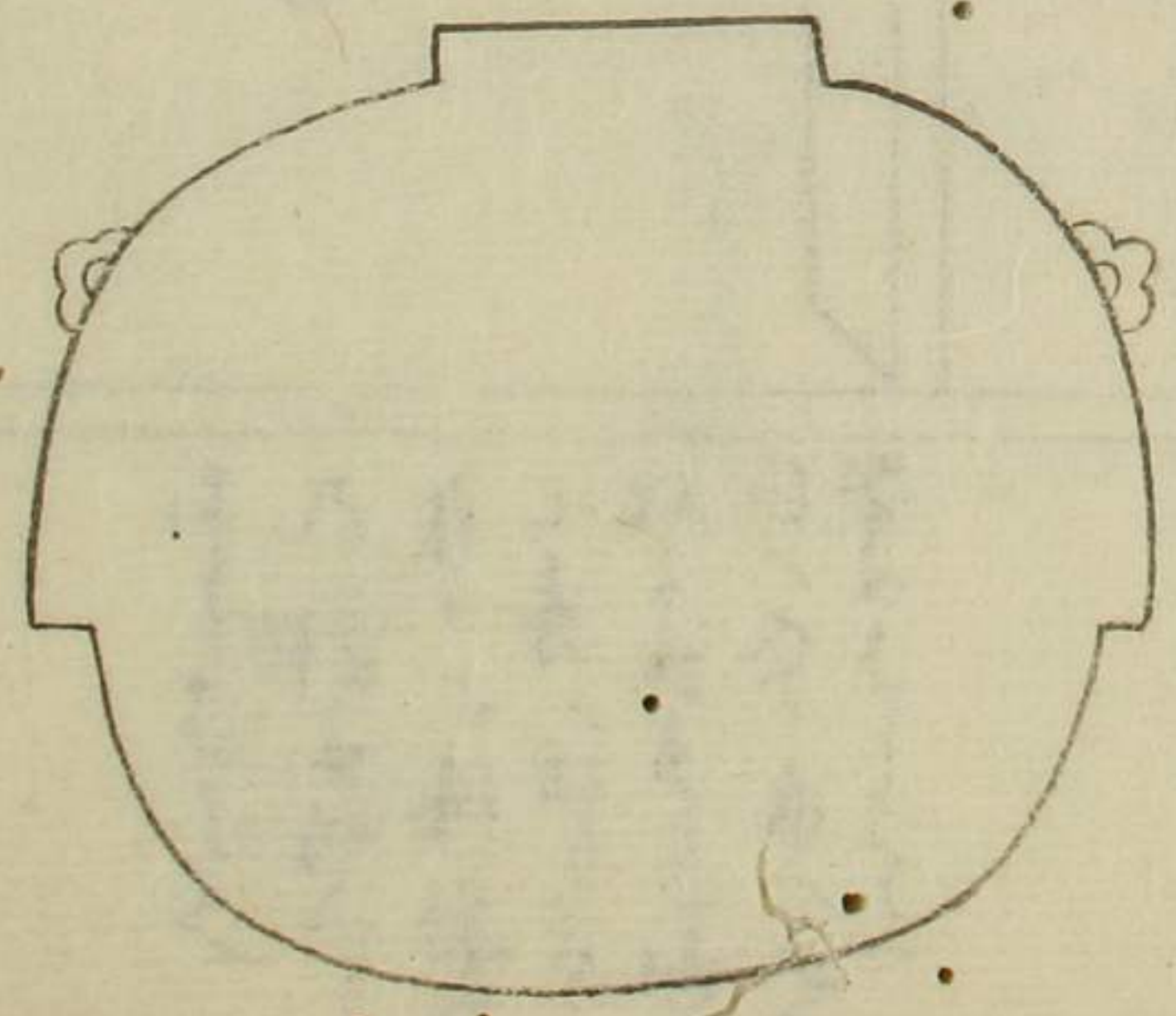
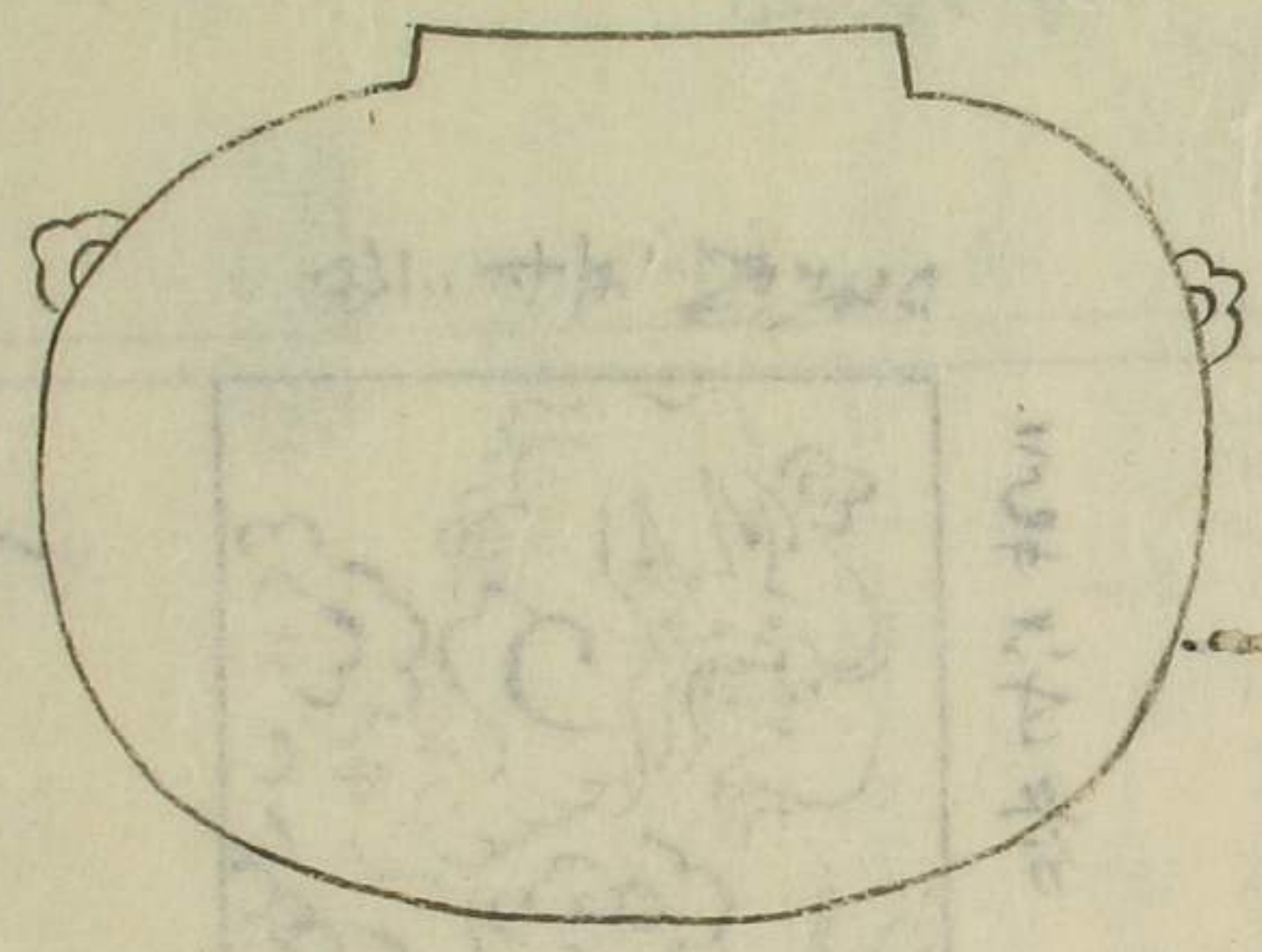
九全



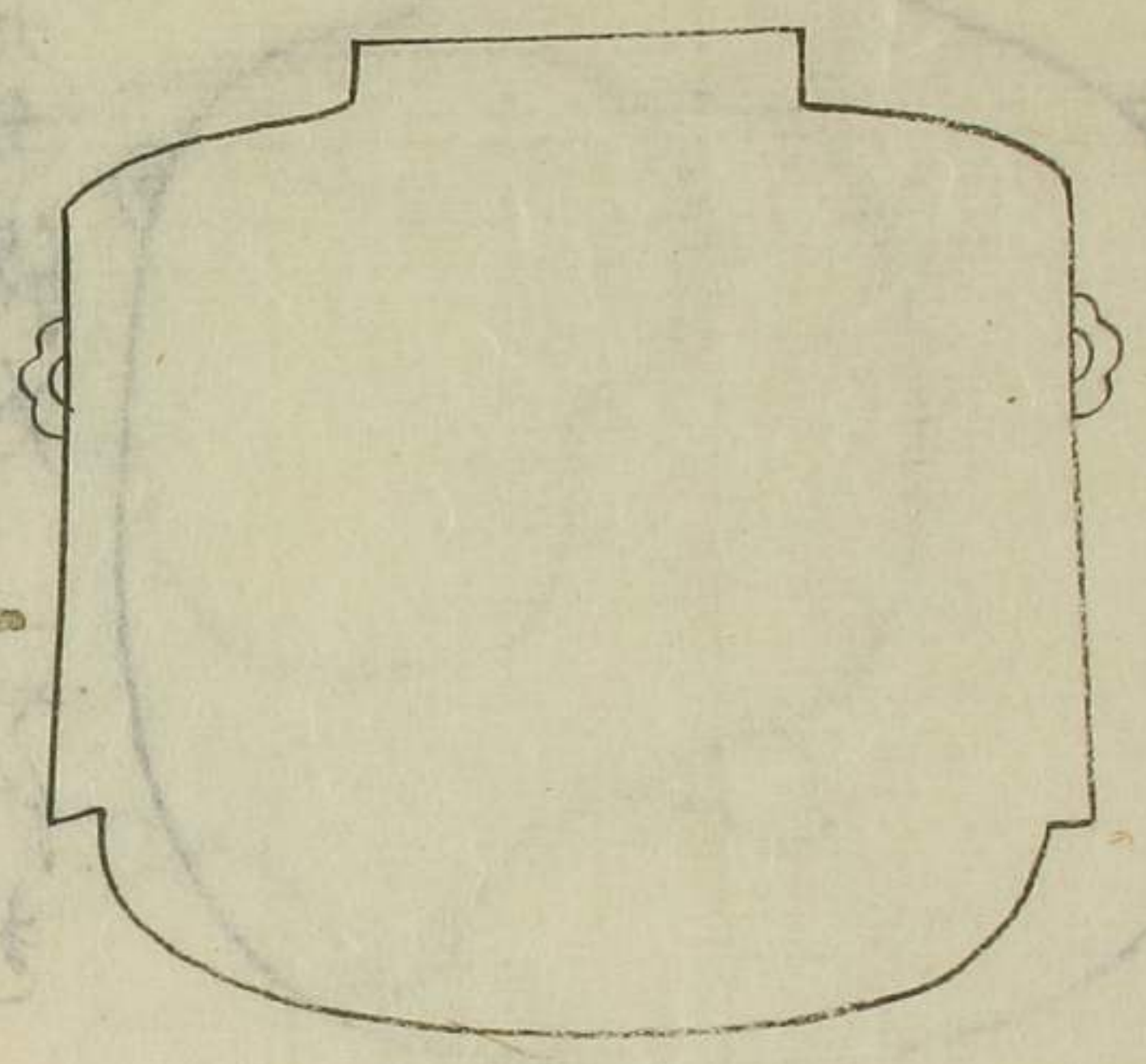




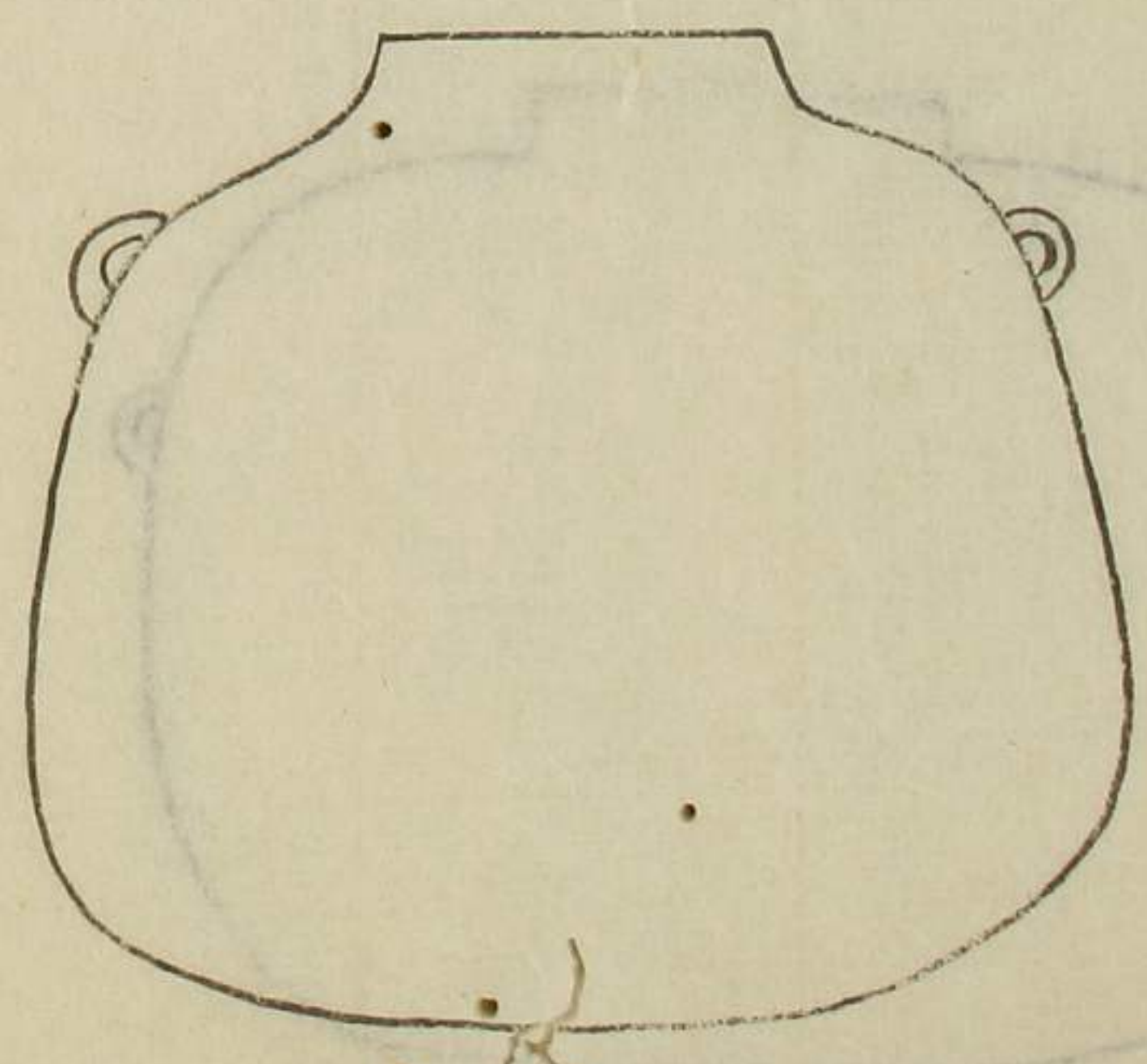
大瓶



四方釜



尾張



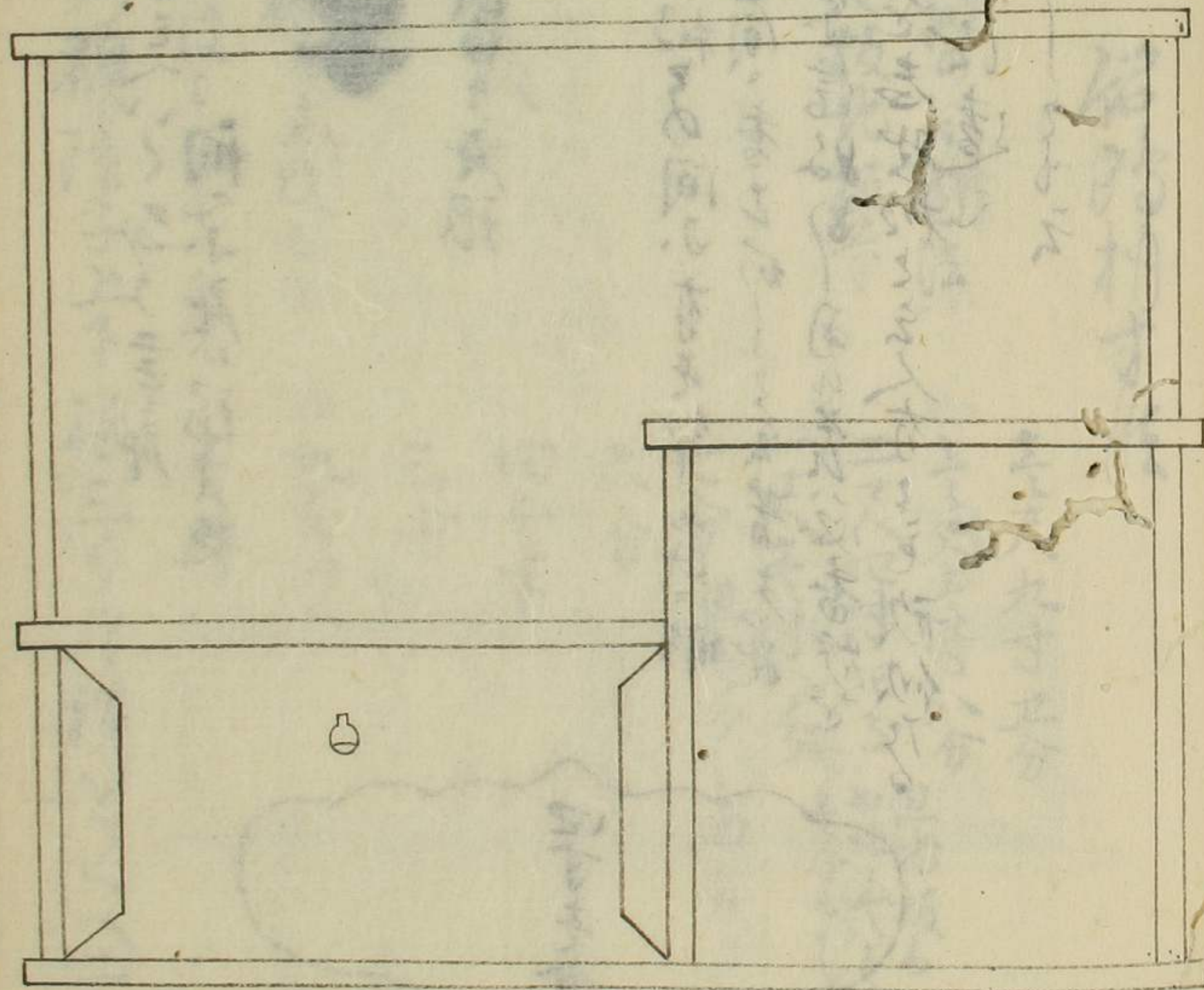
尾張

尾張

大釜



袋杣  
 前より  
 見ると  
 相の木  
 地  
 造

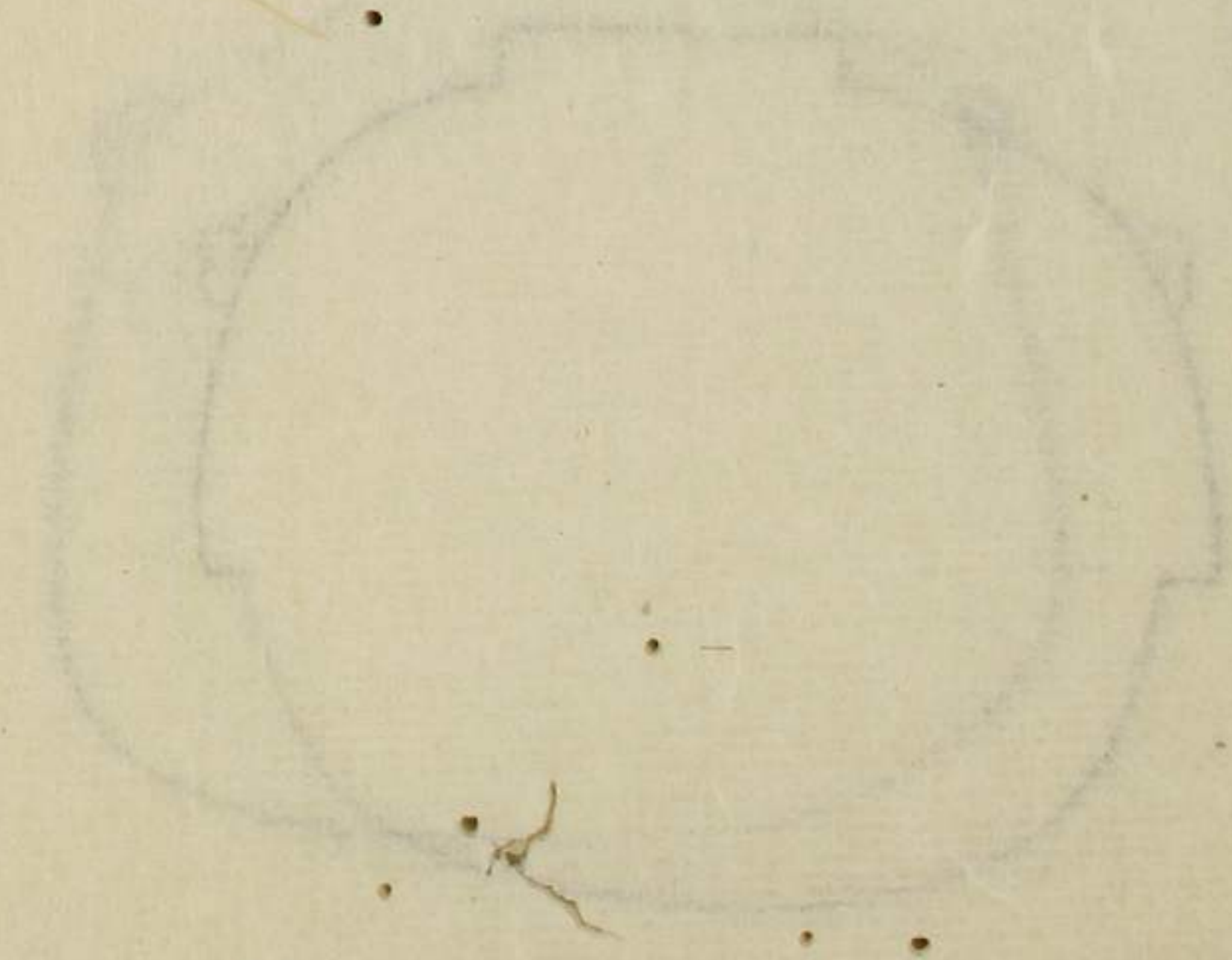


袋杣のちり...  
 内へ入て...  
 ね...  
 小表へ出...  
 有とも利休好  
 乃杣をから  
 はし...

大雲龍

大雲龍の杣

三寸五分





●戸乃つまこへいくあり二重座

相之小座八咫手造



け白き座浪

一袋と相と中柱との間小有是かゆは彫  
貫て是を世間香止かゆは昔者志種  
云たつた宗信好の用は是必香好を  
飾りて是を志種相と云人有とて歌似た  
このふすは遠し  
下座長かゆも云

昭徳相寸法

- 一 地盤寸法 九寸五分
- 一 天井と中柱の間内法 九寸五分
- 一 長天井の板地板共 二尺四寸四分
- 一 横同 一尺七寸八分
- 一 柱間寸法 七寸 但五分の面有り
- 一 地板 六寸
- 一 相板と井板 四寸半
- 一 柱乃ちり 三分
- 一 天井板板と志は 九分
- 一 地板と志は 五分
- 一 代名二枚乃禰障子上下縁三分横七分二分



守寸分

け板波形  
外者



一 立付洗鉢

或方丈三厚サ三方丈二方丈  
立付洗鉢方ハ三ツ

一 鴨舟のこしと洗サ

或方ツ

一 襖から紙白洗大庵り口方丈三六分ツ小庵り或方ツ上下

の庵り一文字三洗横ハ上下の中一丈ハ洗小庵りと同景の

庵り借候子令入何少とこれ各洗と

一 子令物赤洞靴子五分三釐庵二寸庵之上二寸ハ

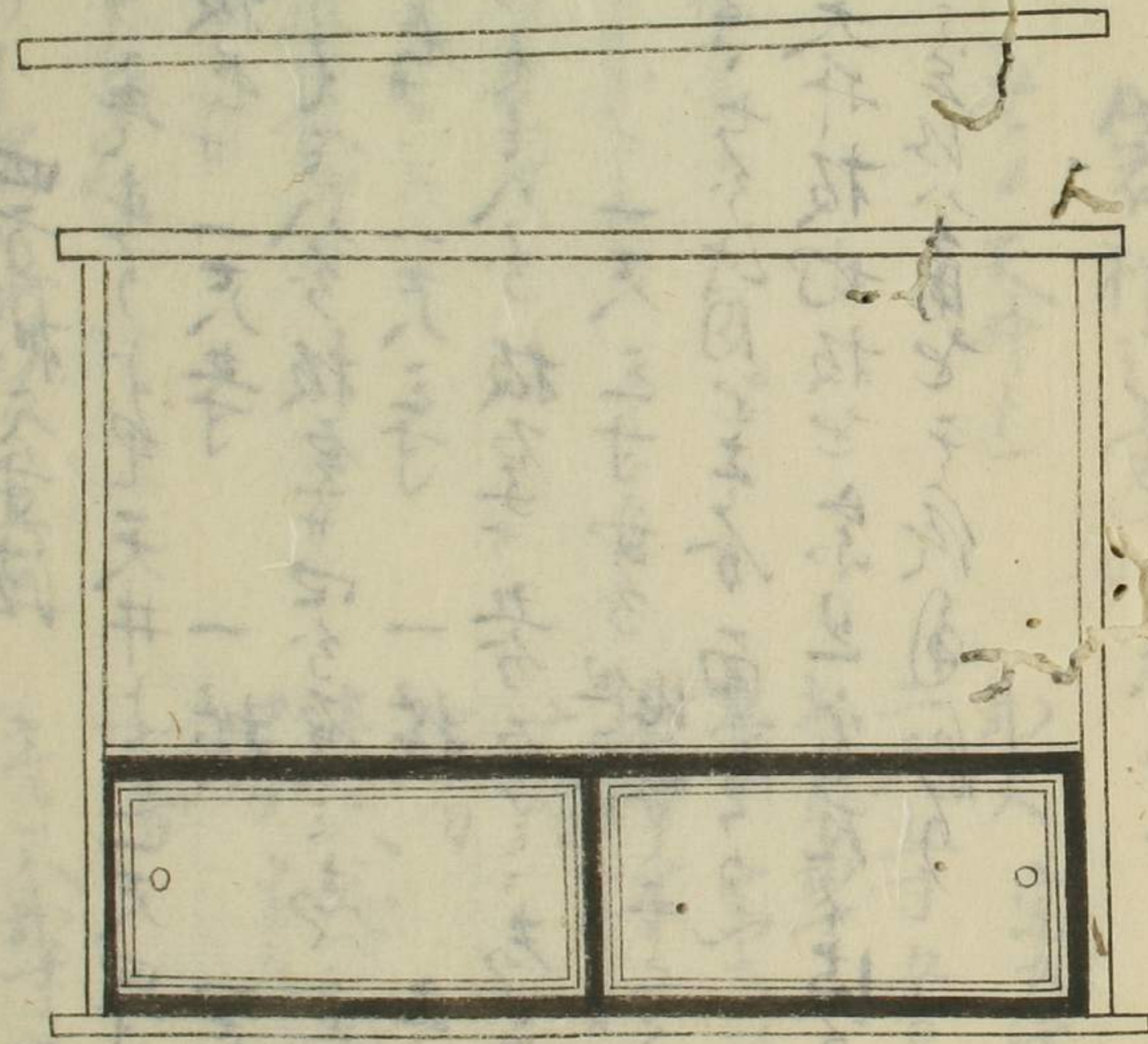
口方一の小刻庵と

一 川手お初立付の洗と方々令物の立申込于五分

一 但ふちともの可洗と上下と立申込打候り

一 右何と樹木との塗り候

立付洗鉢



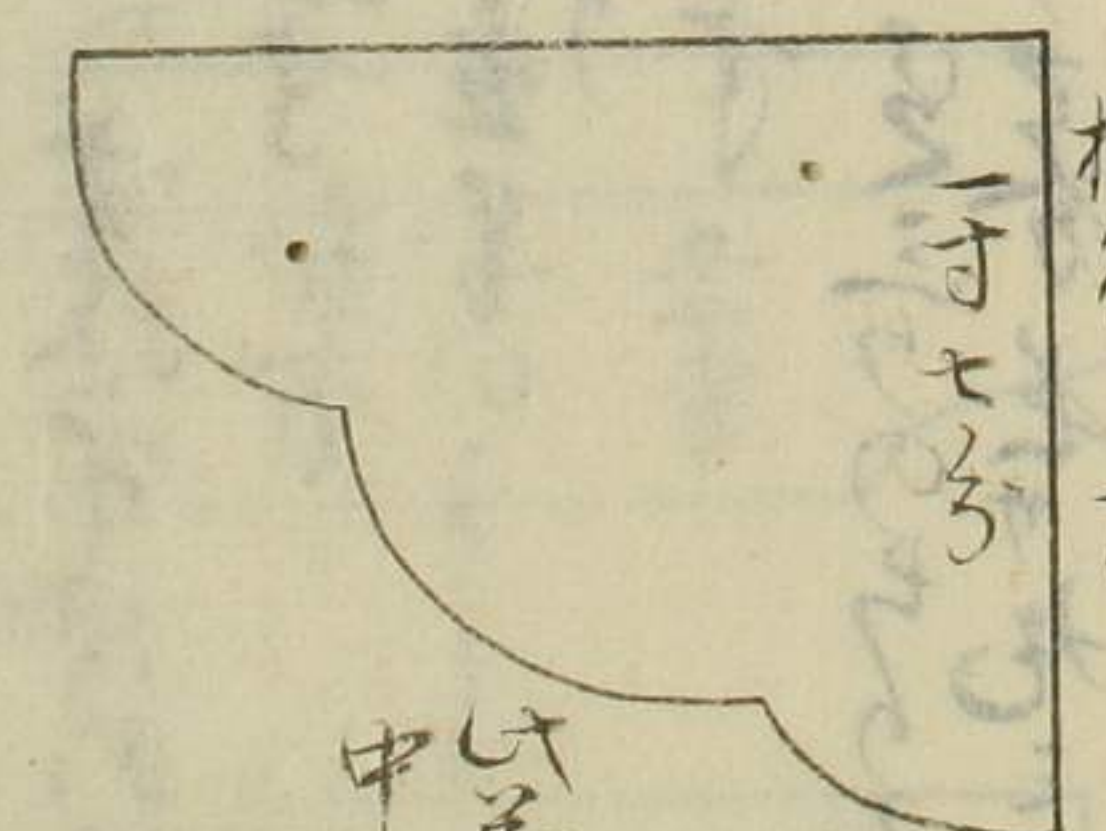
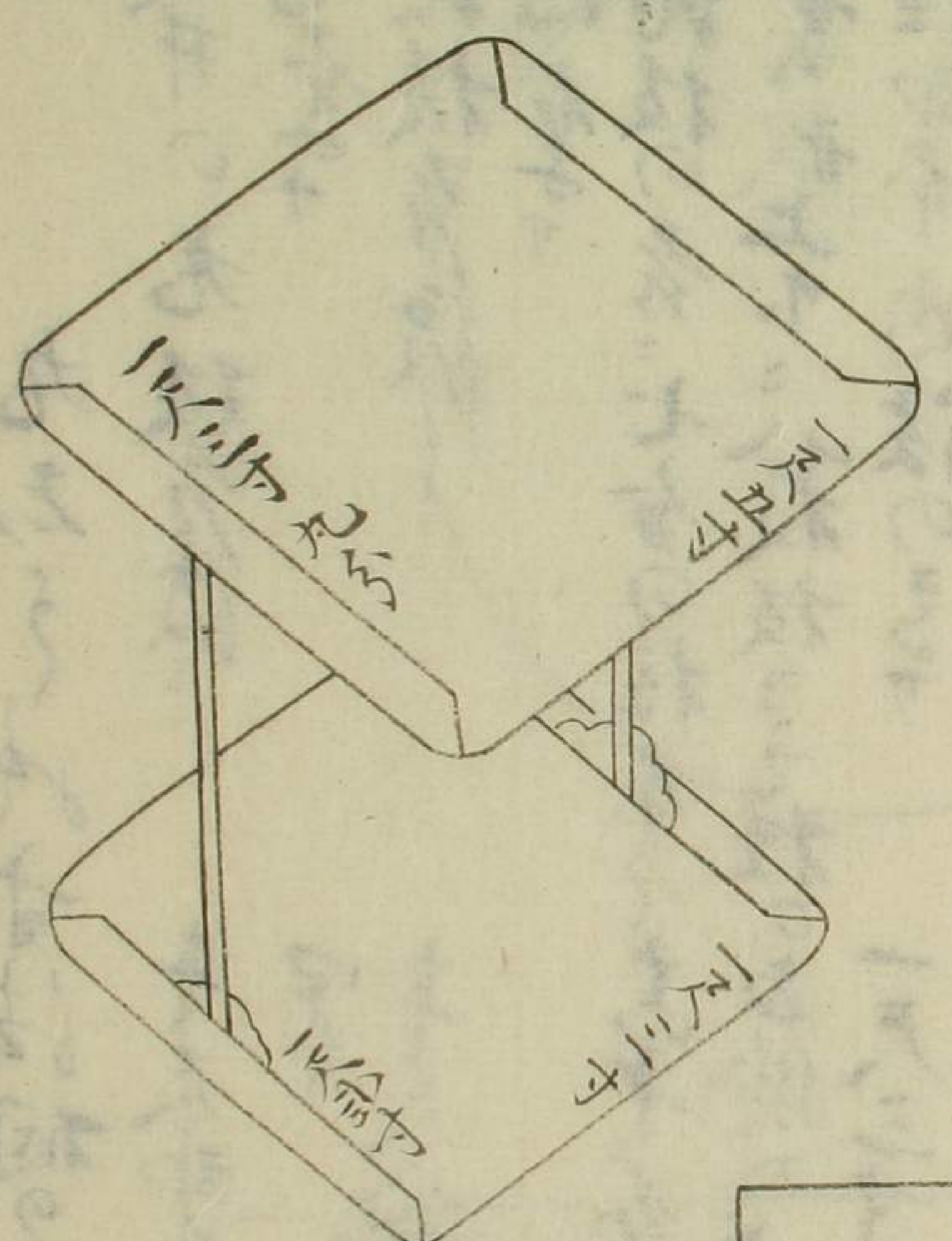






- 一 柱のやうな 七分四角の者
- 一 太の柱上下の板の幅は三分入て五寸
- 一 袋板の横 一尺三寸厚四寸半 家内政司
- 一 曰下端の地板の上端と 七寸六合
- 一 曰戸板の厚さ 七寸半
- 一 曰よりはみ 六分 但し内切込は
- 一 戸板より下の下より 四寸打

口方板の裏相板を用有る



は花紋あり入敷の地板柱  
の裏板の厚さは一寸半  
小柱をさしよりありあり  
二寸半  
天井の板は一寸ありあり  
一寸半ありあり

柱の厚さ一寸  
一寸七寸  
一寸半  
は花紋の柱の  
中々一寸あり



丸あきす法桐の木地

一 天井の丸板厚

きり八分上摺り一分十八分

一回厚

厚

一 地板厚

きり八分りんち中

一 曰厚

一 地板の表七分の松木を土中へ透らし、その裏は天井の雲形上下八枚板を柱の裏にす法、平日の表の

一 柱の内法の

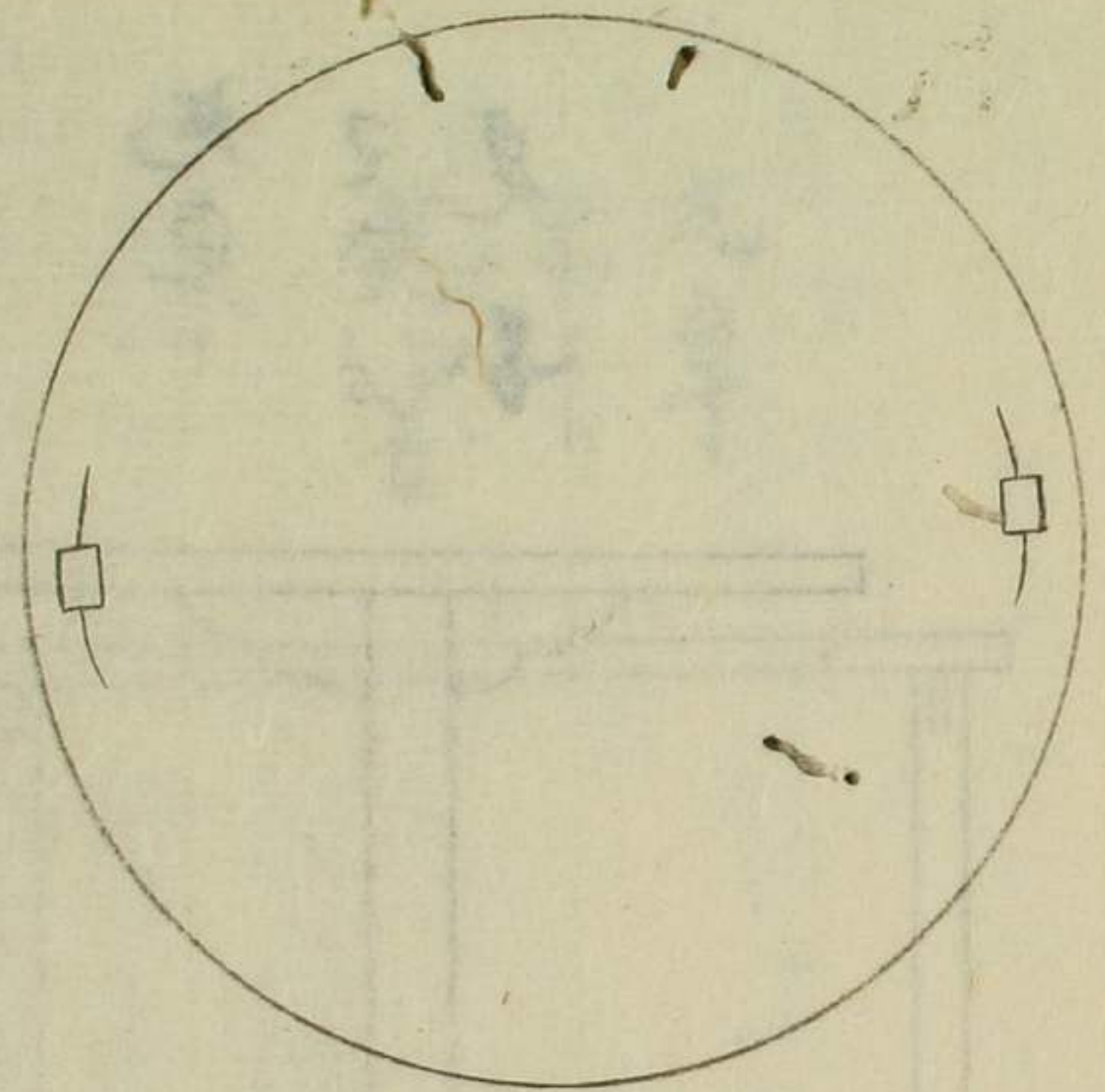
一尺三寸五分

一 曰厚

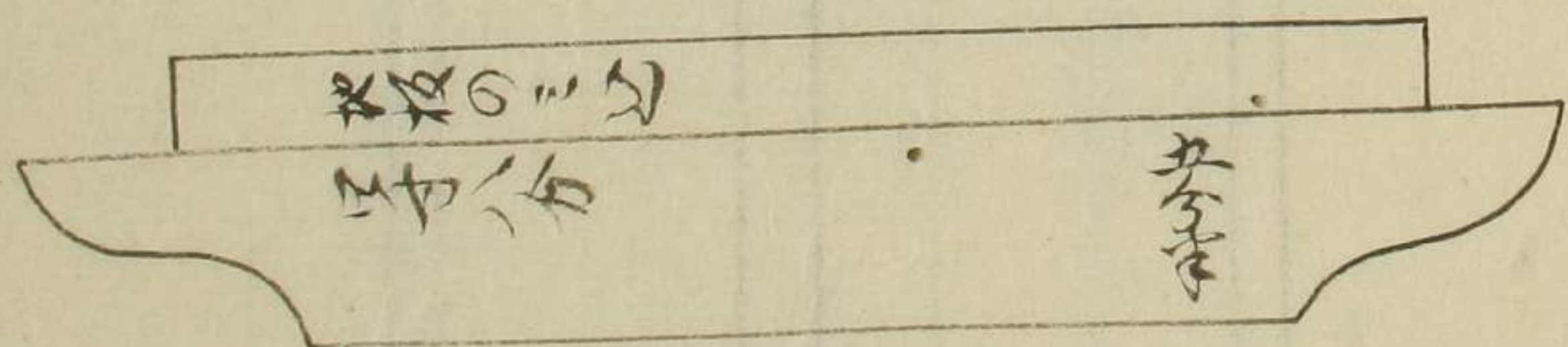
七分四方但下の底あり、並木の

一 板の幅を柱の底のちり

一 足ニツす法、木の如し、地板の足ニツのちり、木の足の



丸あきす

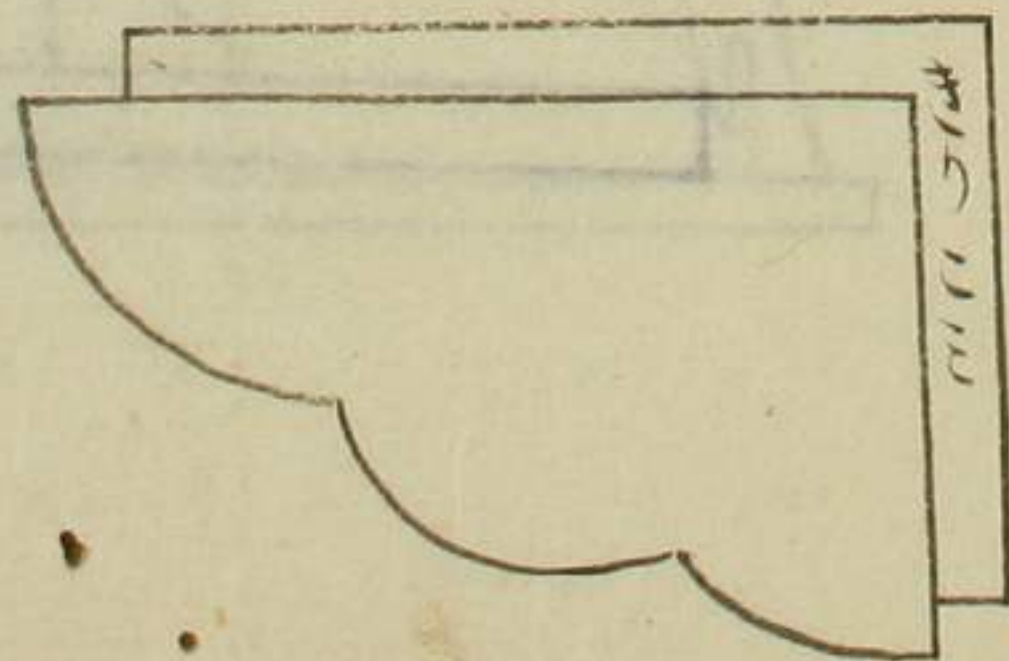


丸あきす

厚六分

丸あきす

丸あきす

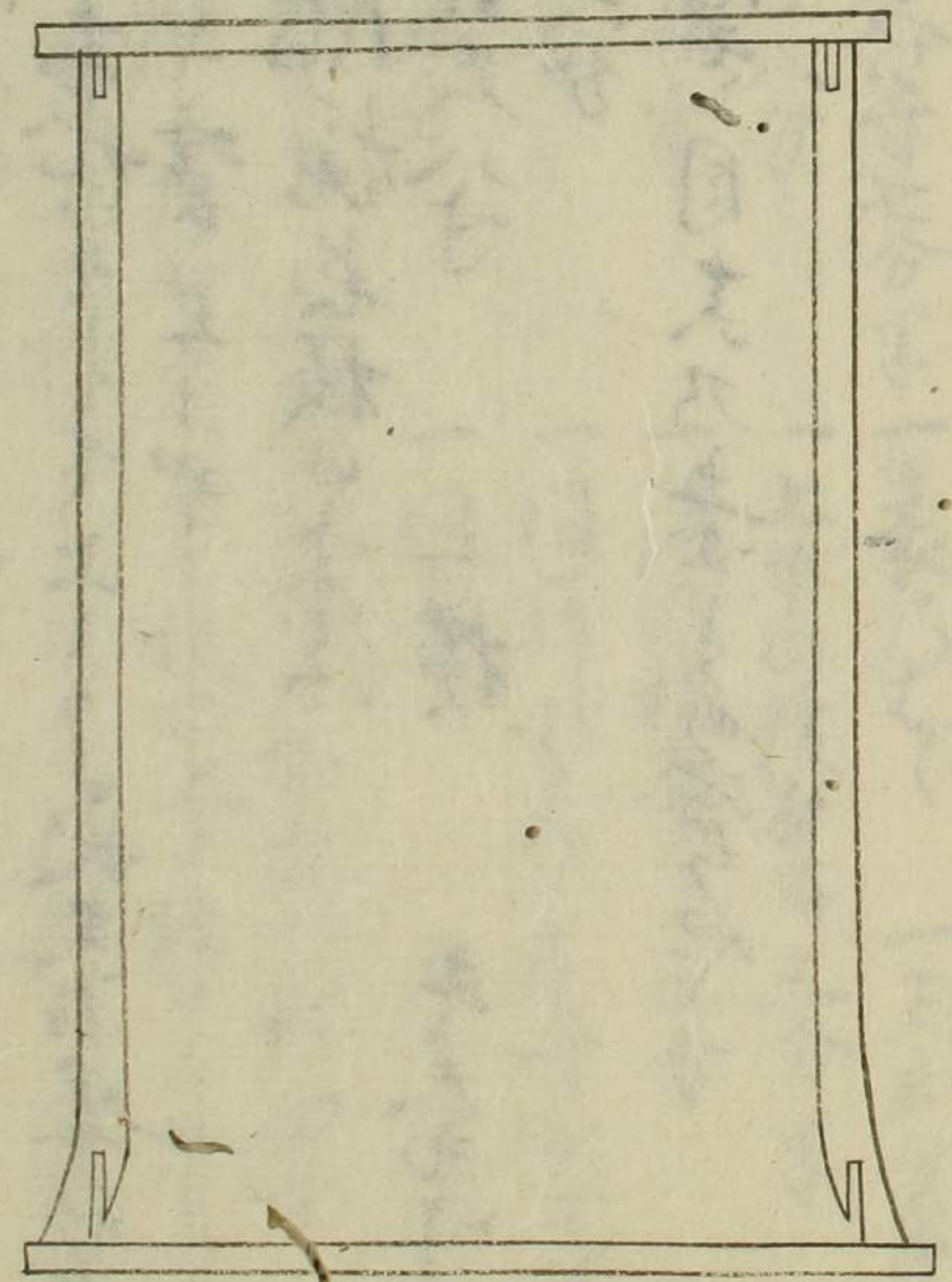


丸あきす

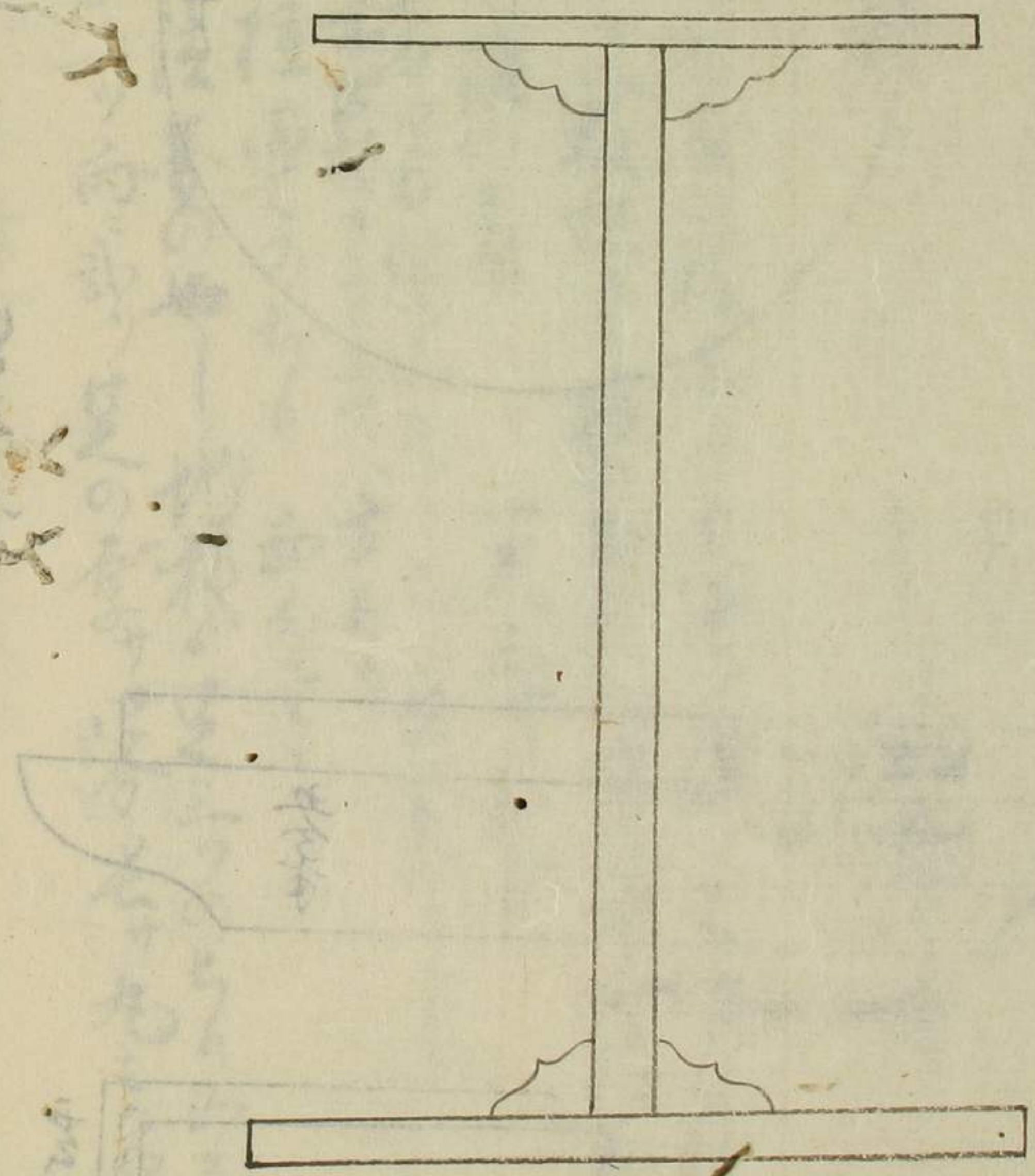
厚八分



丸卓  
前  
見



丸卓  
見  
方





いろりく長板す法

一長サ 一横 七寸

一厚サ 二分

右板の木の毛皮を削りて上より地志乃果ぬりて  
黒塗いぢく塗上りや

風櫃長板のす法

一長サ 一横 七寸

一厚サ 二分

右板板面を月三乃赤との漆を

積算の目

一長サ 七寸七分半 一表乃ち 一尺七分半

一横乃ち 八寸八分 一上下の板厚サ 三分半

一両脇板厚サ 三分半 一後の板厚サ 三分

一蓋乃厚サ 三分 一白何れのみ 七寸七分半

一両取手のち 五分 一白厚サ 五分半

一上を二寸五分 一両脇の板厚サ 四分

一板二重下の板とたせ木を二板の上を板とさすの上掲延  
六寸五分 一板の上の板とさす下れ板とさすの上掲延  
の板とさすの上掲延 三分半 一板の厚サ

一板とさす 一分半 一白上下の板の長サ 一尺五分

一下の板の厚サ 八分 一上の板の厚サ 五分七分半

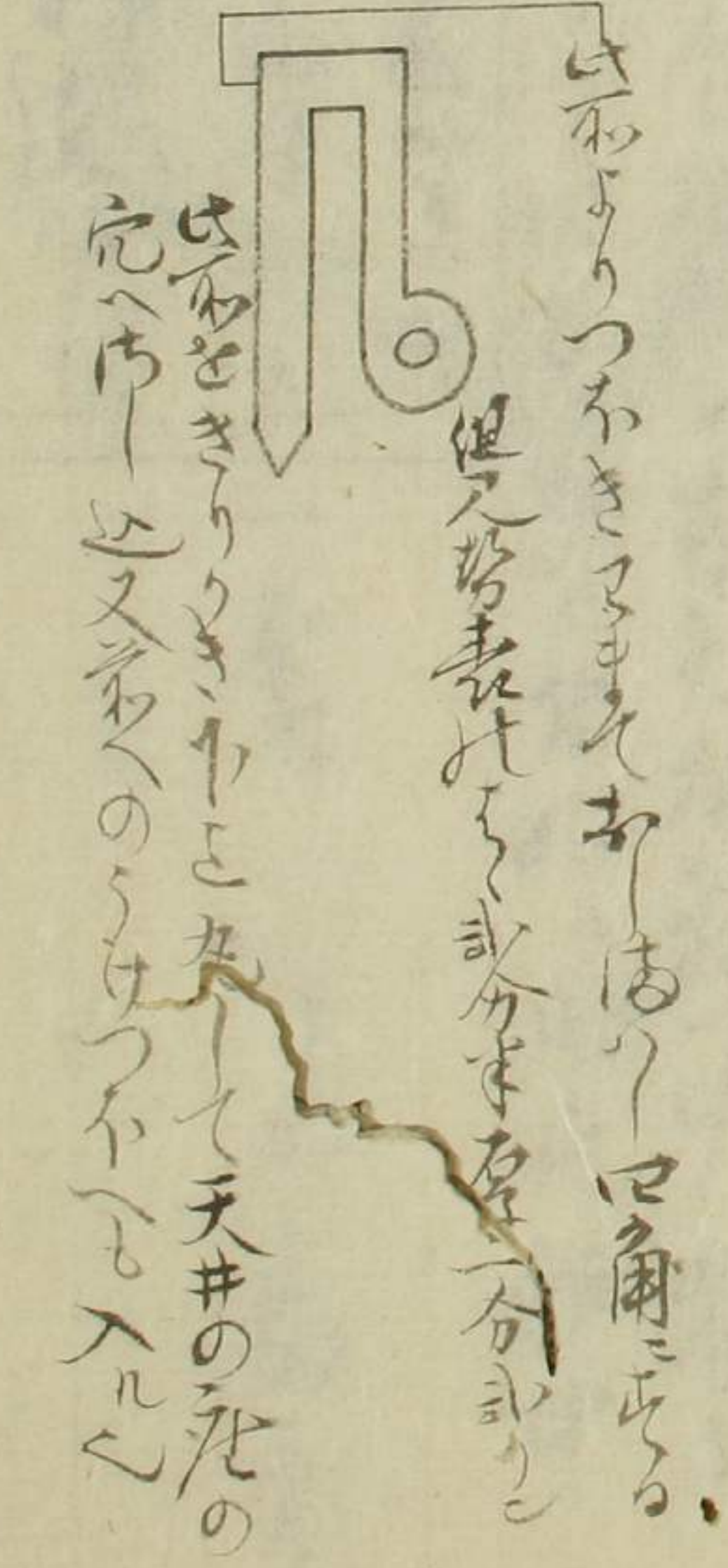
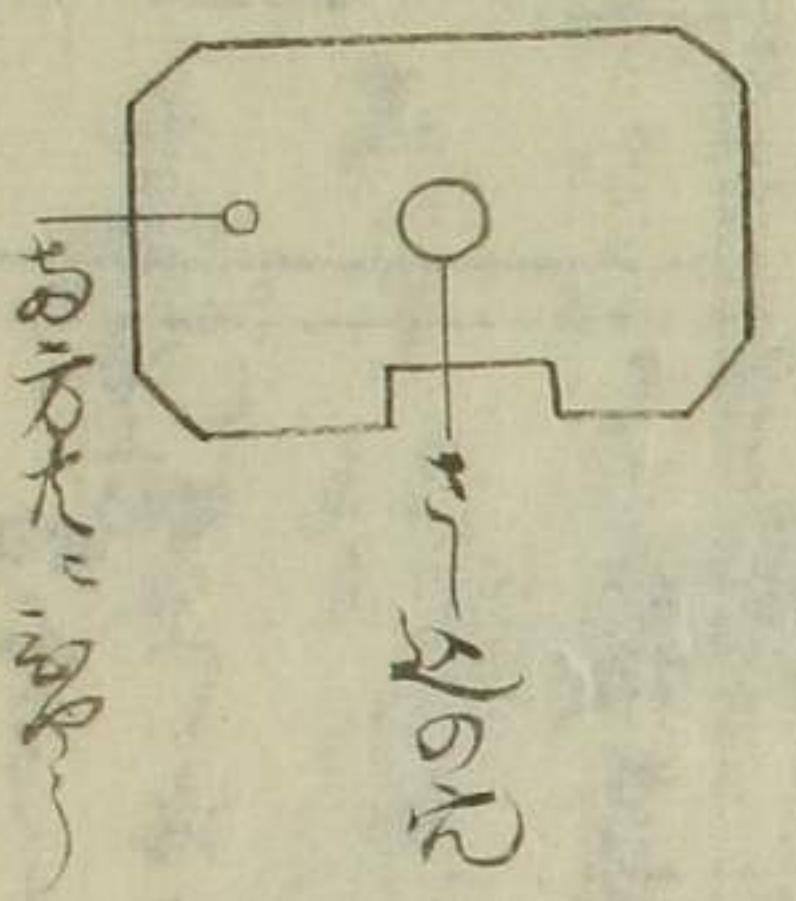


一 上方の板板の厚さ二分 一 下の板板の方よりを寸分中  
 抜きくもく 尺分奥一寸二分の切込有是ハ柄杓の柄の  
 入不也

。 宗全上の板板の方前の角に奥へ一寸二分板一寸切込  
 一 下の板に板一寸乃入溝のりもく二分半深さ寸  
 一 この板のちり二分上の板に板一寸これハ  
 一 濁首つ木の長サ一寸九分  
 一 同也

一 一 けつ不計スモ表 寸分半  
 但ニツの間五寸半おきんおへ表をかん  
 一 一 けつ不計スモ表 寸分半  
 一 一 けつ不計スモ表 寸分半  
 一 一 けつ不計スモ表 寸分半  
 一 一 けつ不計スモ表 寸分半

一 一 けつ不計スモ表 寸分半  
 一 上の板に板一寸乃入溝のりもく二分半深さ寸  
 一 津向れ入移ふを深さ  
 一 一 けつ不計スモ表 寸分半  
 一 白川はの方より一寸半寸但上の角分津を先延  
 右桐を造 法令物也

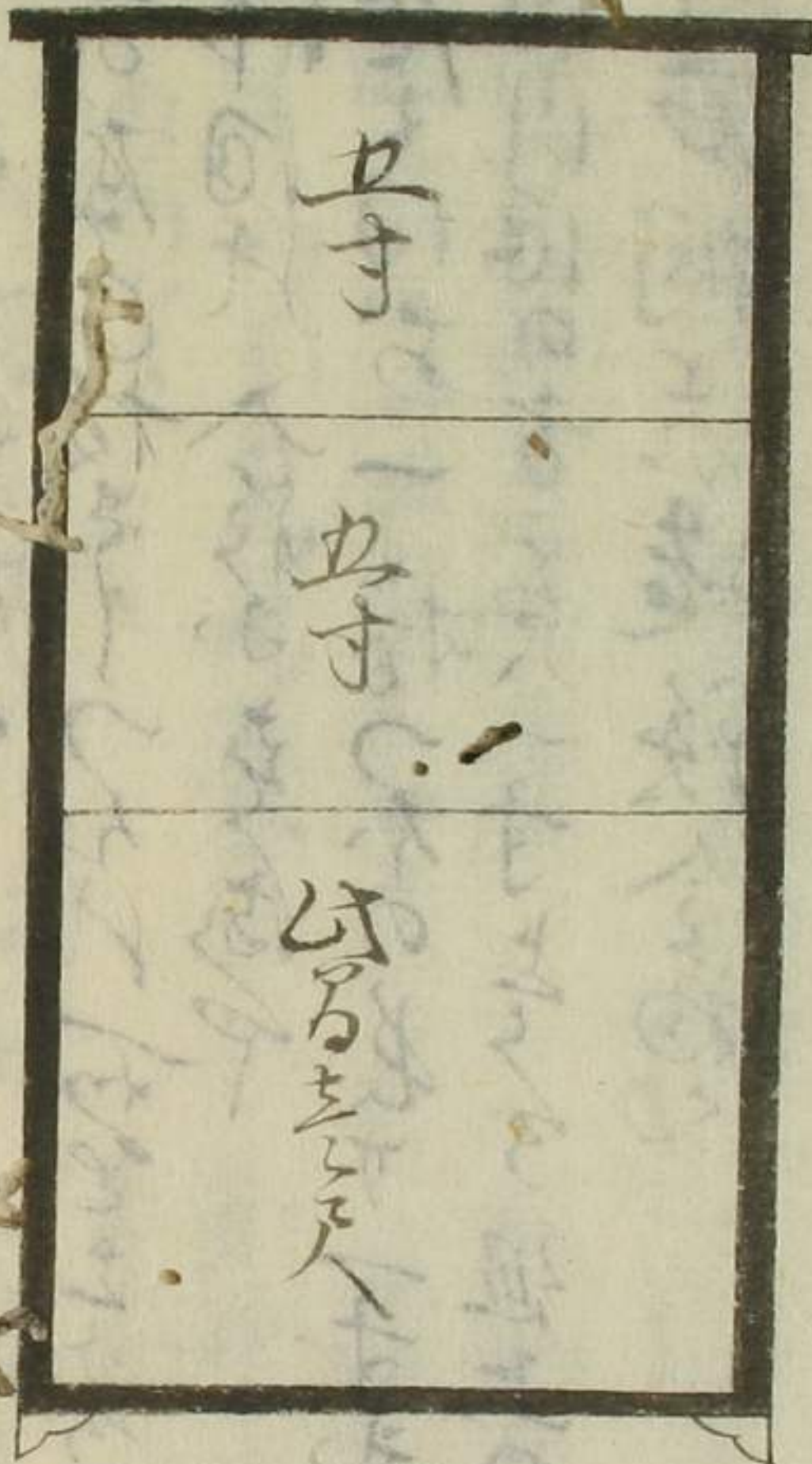
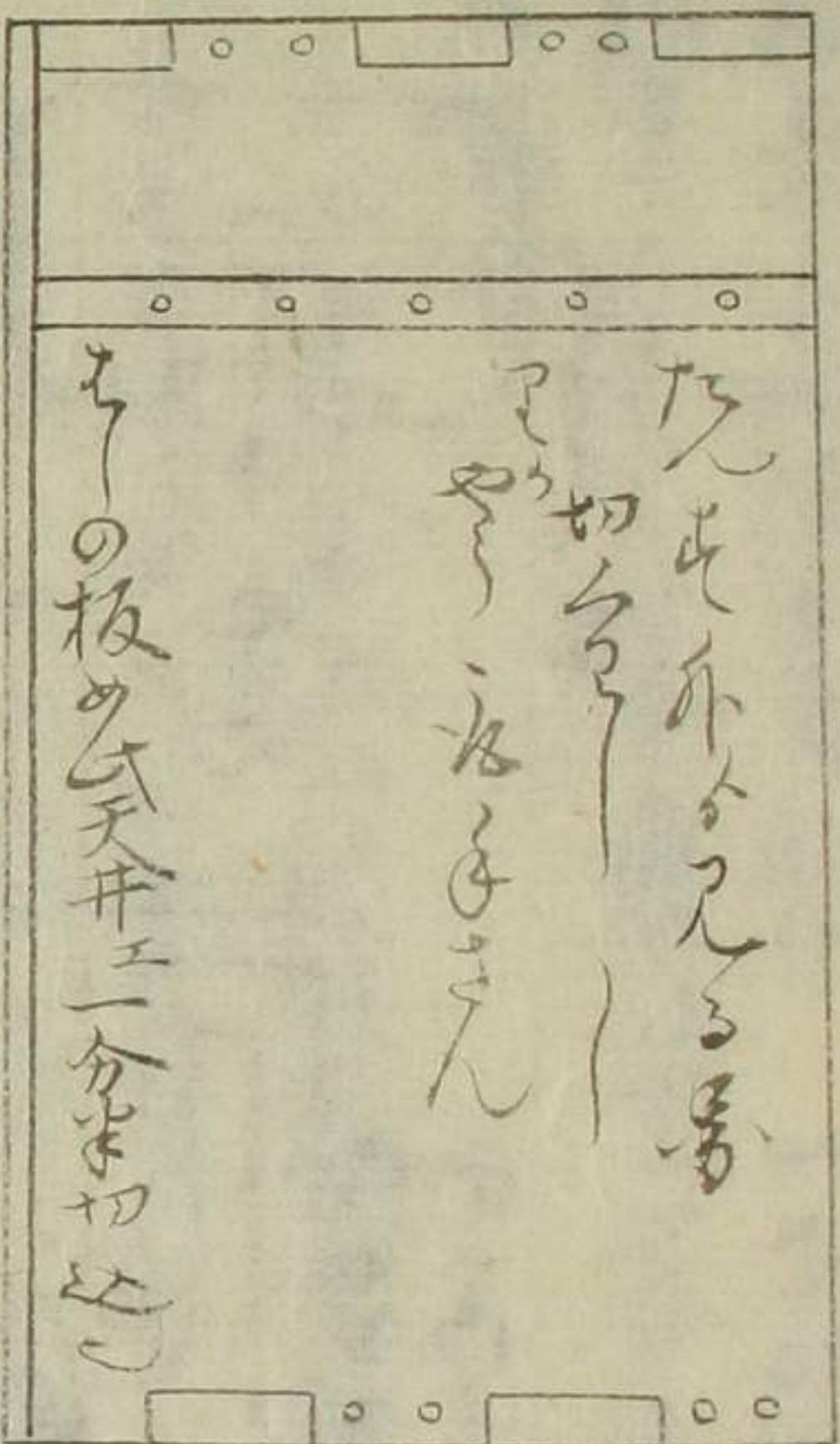


右方大に造

は板をきりくりきりて天井の元の  
 穴へ入し 又板のうけつ不も入ん

は板よりつ不きりておはり 四角に造る  
 但ニツの表に寸分半を一寸分り





板  
 天四方板厚七分  
 板厚六分は方  
 沿より思ぬりたて上を  
 せりしうら

図が表す法

一箱き天字四方内<sup>法</sup>の深き天字板厚七分厚  
 やく四方を五寸七セバくま

一箱の四方のさん幅寸七分 厚サ寸

是ハ板の上をうらつひ<sup>法</sup>の付る付物と云ふ板何も  
 板の上の角に金物おと有之板の口の五分さ  
 けて幅寸七分は方<sup>法</sup>を付ぬり此は板中  
 九寸六分は方<sup>法</sup>

一いろり縁をサ寸七分一厚サ  
 木地をカ  
 カ板合張



一竹の事大方小座浦用い自在節七ッハッ

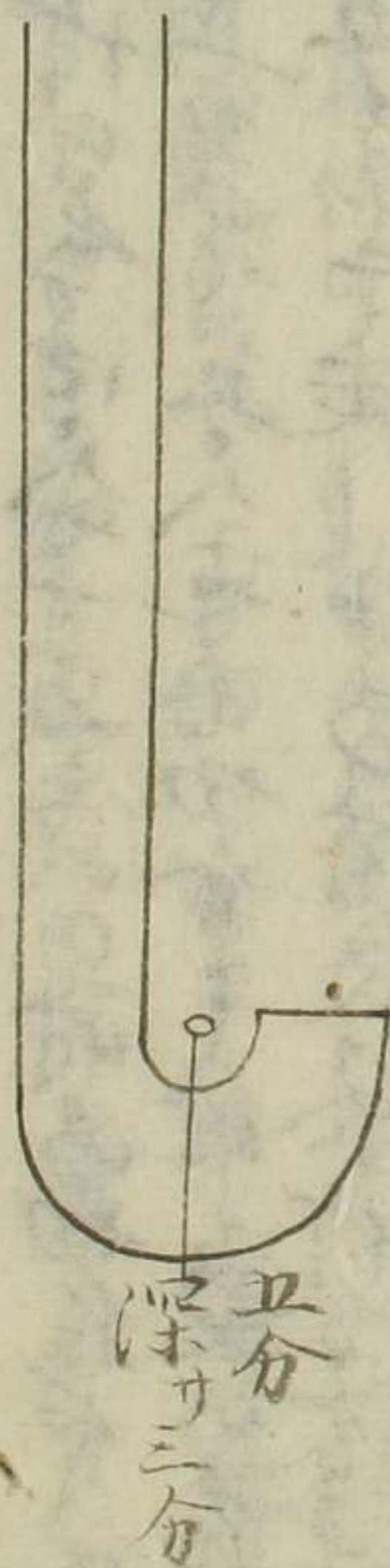
長サ  
二分  
五分

三分  
半

厚サ廣サ方ニテ三分半 細サ  
方寸ニテ三分

一 小き座

竹の本を用いこれあはれ物たふき目の法ま  
またあ木を用ひて何れも能く  
法く



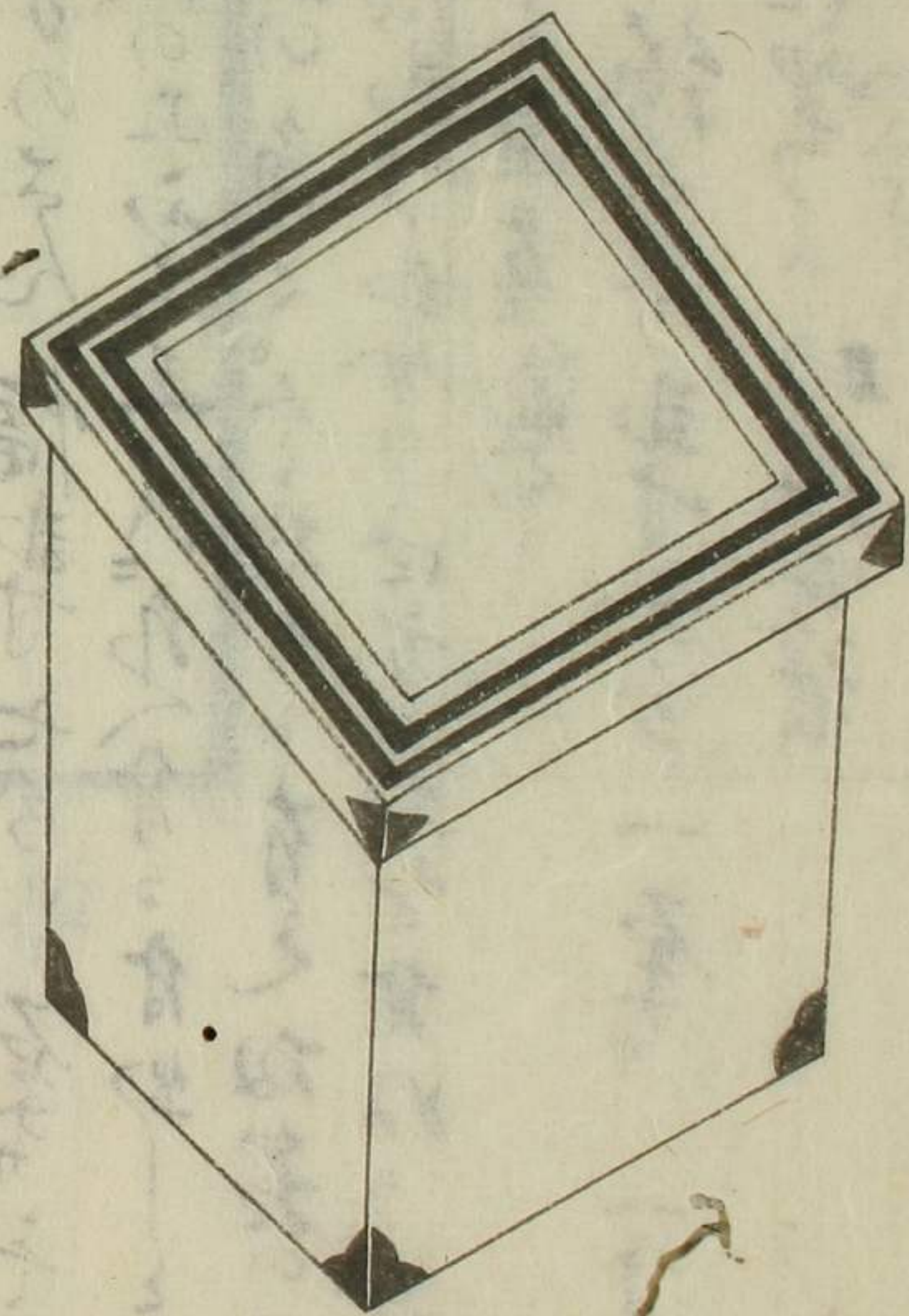
五分  
深サ三分

一 加子木

自在ノ木

七寸

茶藁の本の如く本ノまゝ有是  
と能く調用





一 口をすそむかば、庭の下の節の目と向あらう。切あり白  
切乃時、下を流し目と前あらう。切し下流節、目あき時と  
次の流し目とたし通し、用らう。切く、客さう、井の目、成  
向あらしにさう。

一 上し、それ乃、直上の切、る大法、三寸、其、有し、を、山、を、敷、し、付  
自主、の、切、大方、竹、の、長、サ、四、寸、七、寸、さう、の、時、乃、切、格、や、一  
一 庭、浦、天井、三、寸、其、而、少、く、其、人、迄、も、切、合、し、時、右、上、の、流、を、切  
尚、を、三、寸、五、寸、六、寸、と、延、し、し、る、有、え、又、六、寸、竹、有、右、え、少、く、  
一 此、延、ち、し、この、有、え、延、た、三、寸、の、ち、切、く、を、せ、ぬ、法、は、こ、も、ま、  
守、り、を、さ、か、さ、を、り、し、也

一 下、此、節、の、直、下、此、切、尚、を、流、し、を、分、見、く、形、か、く、も、さ、う、か、く  
し、を、り、也

一 掛、あ、り、の、直、上、に、切、め、穴、あ、り、き、と、延、き、寸、分、完、三、分、半

一 小、さ、な、流、し、目、乃、下、の、切、る、ま、き、寸、を、分、を、完、き、と、直、し、れ、る、  
は、る、と、穴、の、廣、サ、分、分、半

一 宗、金、を、切、流、し、の、自、立、竹、を、サ、四、尺、九、寸、有、は、付、天井、六、尺、三、寸、  
お、行、き、ち、か、く、え、ん、の、宗、金、は、自、在、し、る、お、召、り、付、率、也、を、行

取、乃、上、端、々、自、在、竹、の、下、此、切、る、と、の、寸、法、大、方、九、寸、さ、う、の、  
ま、ま、ま、寸、と、此、節、目、を、合、合、し、る、切、と、中、に、併、九、寸、の、自、立、  
竹、竊、屬、し、お、見、お、り、節、も、思、愛、い、今、案、を、ま、ま、尺、六、寸、節、也、  
併、え、も、庭、浦、を、大、小、の、齊、し、

一 小、な、流、し、目、乃、自、立、天井、の、三、寸、サ、も、子、知、切、流、し、と、中、に、併、九、寸、竹  
四、尺、七、寸、切、て、者、や、中、に、延、た、た、は、子、と、考、時、は、三、尺、七、寸  
の、竹、の、時、を、大、方、天井、三、寸、サ、五、尺、九、寸、乃、天井、た、る、也、  
一 掛、繩、小、さ、な、形、也、の、直、上



かけあを<sup>紅</sup>上の切るより完れきさほく一寸三分完三分半  
 よろしなる三分半麻三ツ今より少くして少くをあひてぬ  
 とは三分半竹小川升く志こき上と竹の切口より縄の  
 ゆき半分半あをを中かてるん  
 一 小ざるあを此切ぬき寸一分を完きとほてぬるの完れ  
 廣サ少分半を三寸と少りあひして小ざるあを下切完  
 きさあてきらむまびくしえ<sup>紅</sup>細すんと切さるぬを  
 小ざるを川のほりて竹の切口と小ざるあを半分半

こい水柄抄の寸法

- 一 大 かけれさサ 七寸七分 二 菅渡 一 三分二寸
- 一 柄長サ 一 尺一寸七分 一 柄の長サ 一 尺一寸七分
- 一 ちひ 七寸八分
- 一 かのさサ 二寸五分 一 菅渡 一 七寸五分
- 一 柄乃長サ 一 尺一寸七分 一 柄の長サ 一 尺一寸七分
- 一 ころ杯 七寸八分

たつし紙も枚乃けつり末さめか<sup>紅</sup>り少なると出物と  
 あ方を用ひ時々書院と柄を用ひ寸法同様

こい水柄

- 一 上口菅渡 一 九寸九分 一 二寸サ 一 八寸
- 一 底括渡 一 八寸九分 一 板長サ 一 四寸半

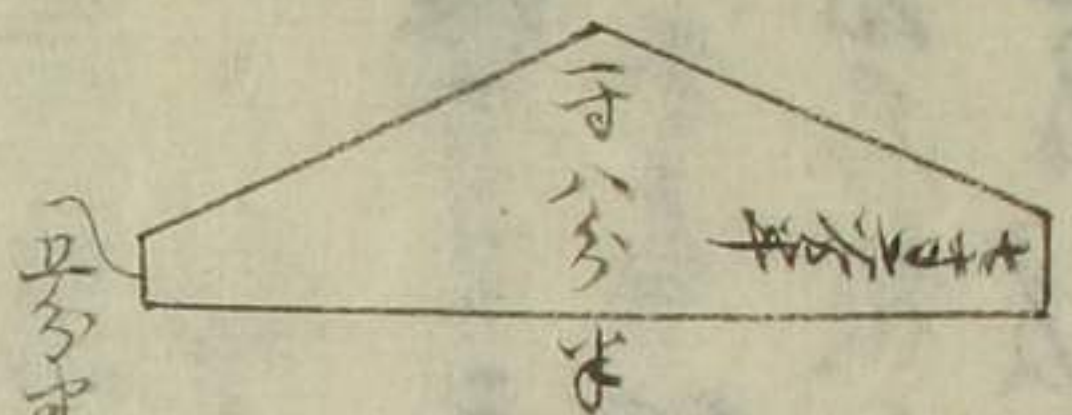




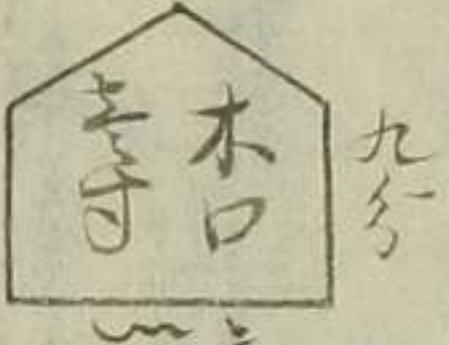






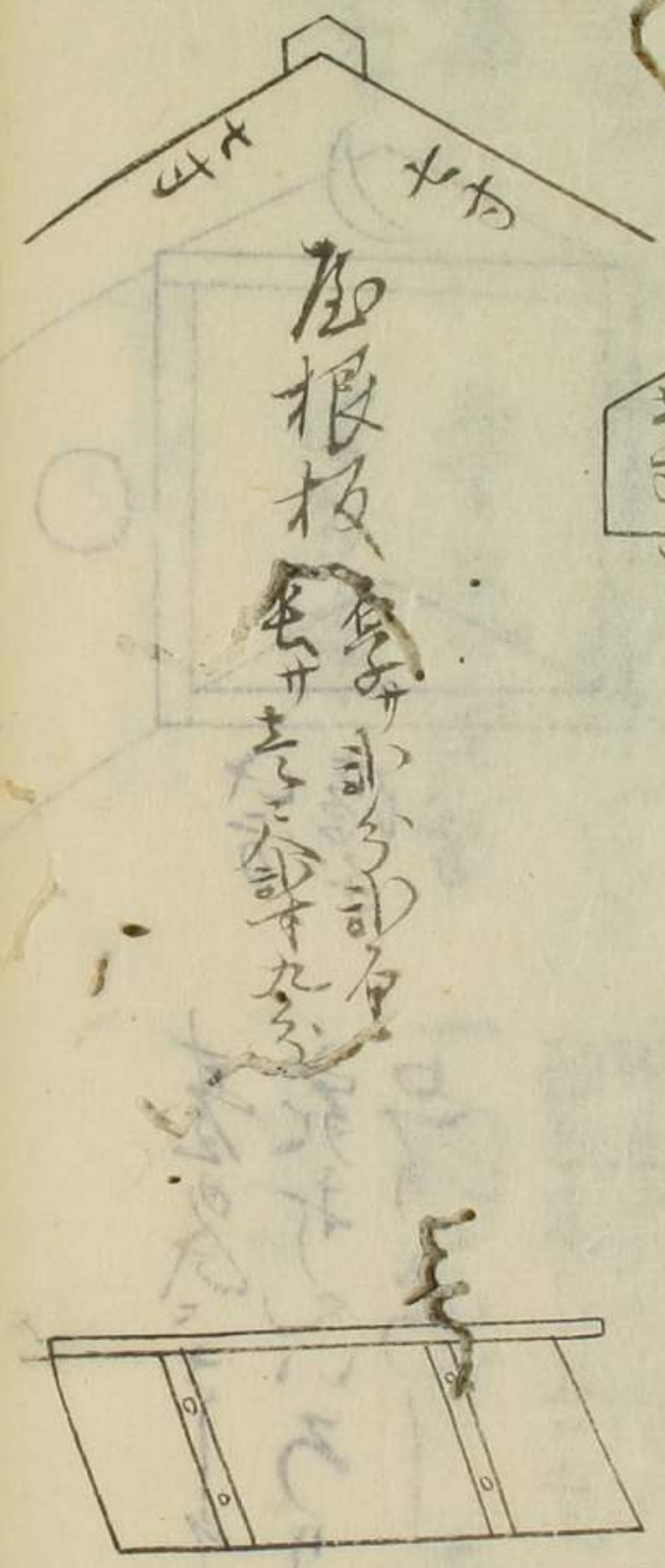


若障子と和と後の方へ上め板と入は板障子と一面  
 成の柱よりちり甲と分有  
 板の厚さ後方三ヶ月の長か  
 法板有りちり若の  
 此板をば板の厚さ  
 一月の方へ立



長き八寸五分

糸めん有汗法行いあ板  
 かまの板と通し行い  
 きん長七寸 但むき  
 のきと分  
 さんんせき長五分  
 見込五分  
 さんんの汗法  
 あり行い



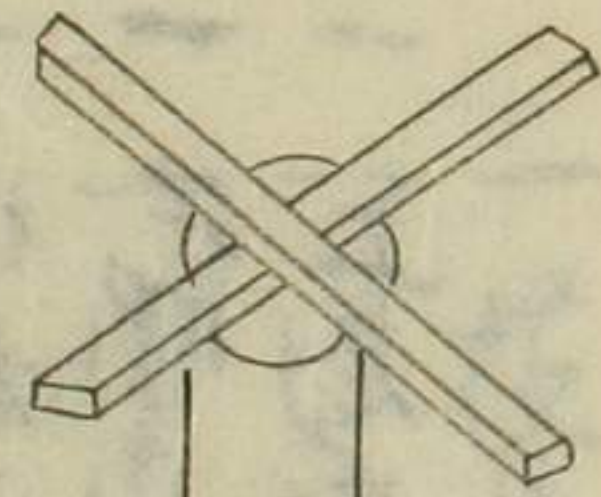
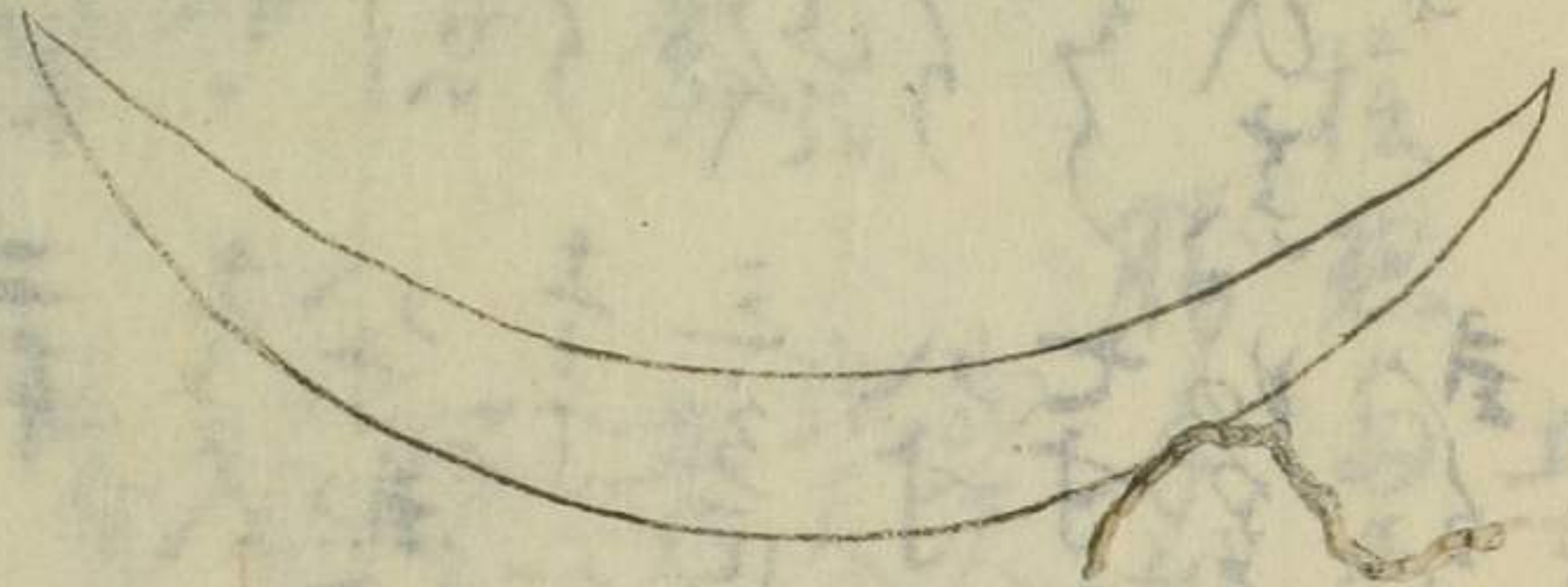
糸めん有汗法行いあ板  
 かまの板と通し行い  
 きん長七寸 但むき  
 のきと分  
 さんんせき長五分  
 見込五分  
 さんんの汗法  
 あり行い

- 一 火口障子組子并かまの何と三分四方の糸めん
- 一 障子幅は六ハゼ長五分幅中分を厚かり竹の皮目  
 他は柱の下へ上へ等分を有障子幅は五分五分の  
 留りて打し但けす法行を打す併のす法
- 一 屋根板を基の上へ承るるの板外の土間のきと四分一  
 有ては方へ四分一土間の底板とは四分一とそかを板を  
 換むやうにせよ
- 一 上方の板柱の糸法りとちり分を分
- 一 火口障子口のほは太く長分通中十文字に障子と但  
 太くわくやうに太く方の立てかまを上下丸くのに  
 て上下此板へかり込あけ立かやうにせよ
- 後ハ丸あ脇ハ半月



右に焼籠何と板の本を以て造る

一かまかけ糸竹編るサ八分以上三寸かま  
 ちを二寸竹のゆき

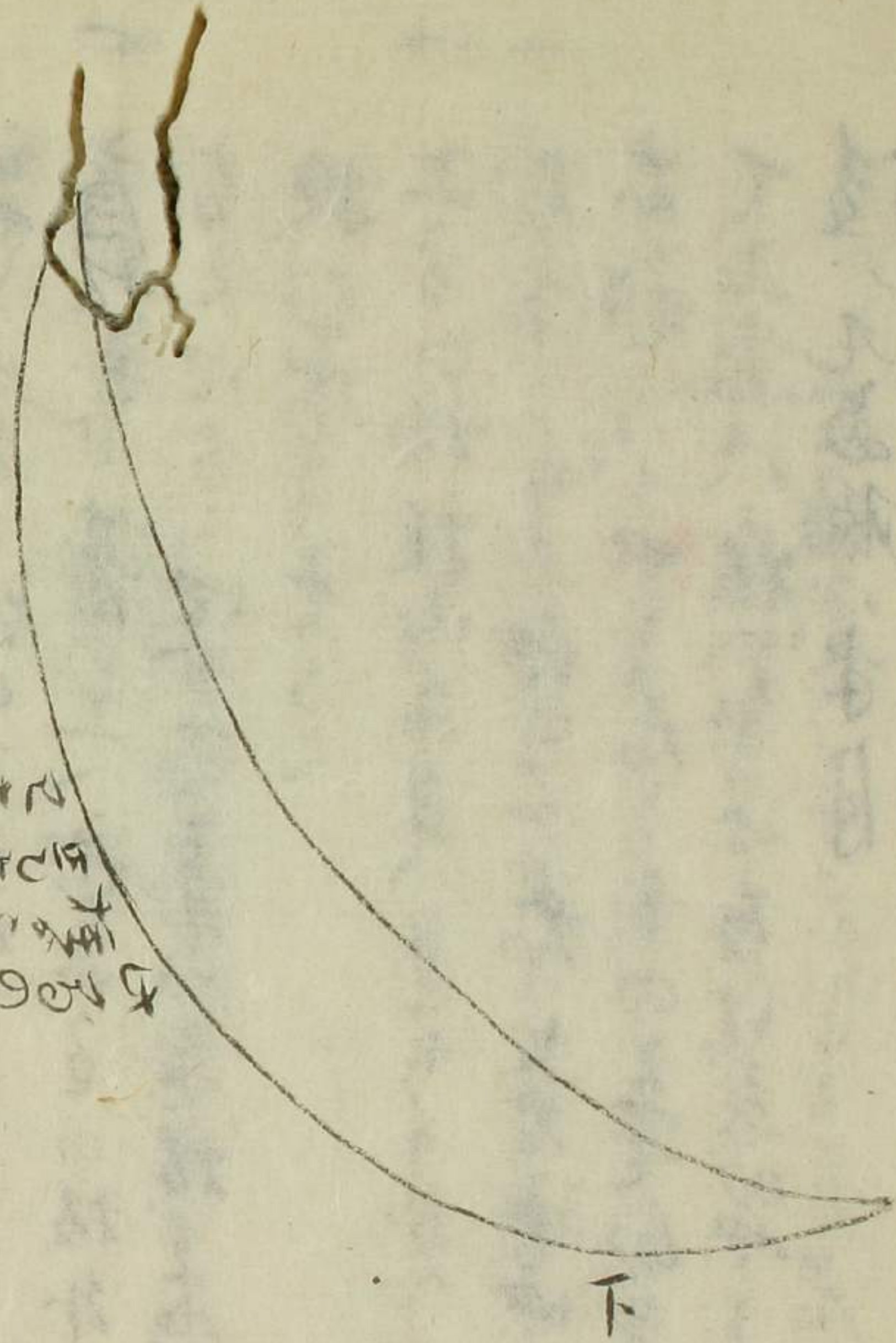


十二寸木ハ槍長サ八寸四分  
 五寸六分ハ尺七寸五分

たぶき 針 栗の  
 杖 長サ 七寸四分

一火とりの口のなほ  
 丸の上端とあす

木 1206  
 板 1206  
 針 1206



下



旗の台ん棟本の  
 土中お産







- 一 内尺相板厚并部合
- 一 天井乃内より下より板の上と四寸五分
- 一 二番目の板内の下より四寸三分
- 一 三番目の板長サ 一尺四寸
- 一 同たぐ方より二番目れ下と上と延三寸五分
- 一 木中より木有は尺を表の幅七分
- 一 日又延の厚サ 六分 一板厚のよう 一尺五寸五分
- 一 控板の長サ 五寸五分 一日より 四寸五分
- 一 指込はつ月の板 八分 一日は控の能く板を打て
- 一 印号の所打木なる

備身あやうし 口をく板

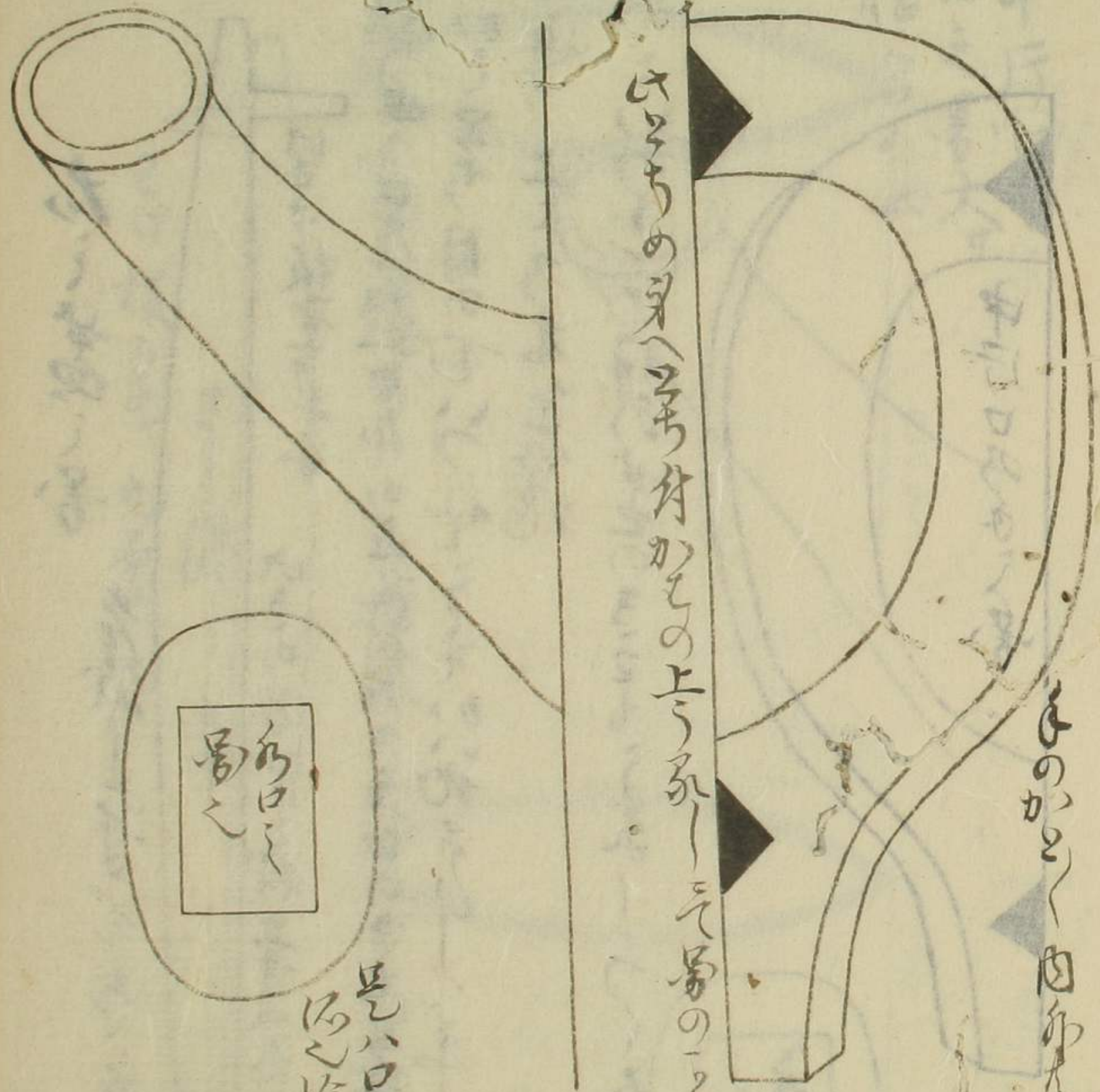
箱板

五	四	三	二	大 翔 誰 殿
十	九	八	七	六 誰 殿
十五	十四	十三	十二	十一









口の  
幅

是ハ口の板ハ付  
は之恰合大サハ  
是ハ口の板ハ付  
は之恰合大サハ

は之口の板ハ付  
は之恰合大サハ

内ハ大  
方中

大 口 之 圖

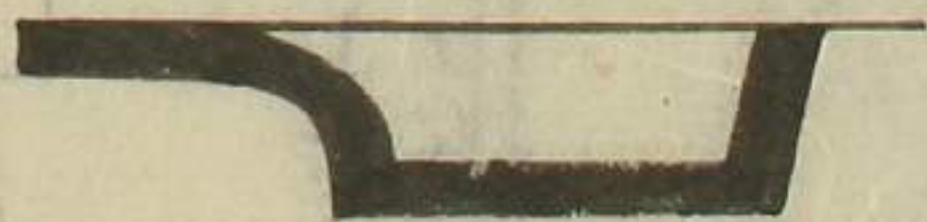
指ハ



上ハ口の板ハ付

是ハ口の板ハ付

是のめん  
幅ハ



是の  
恰合  
ハ



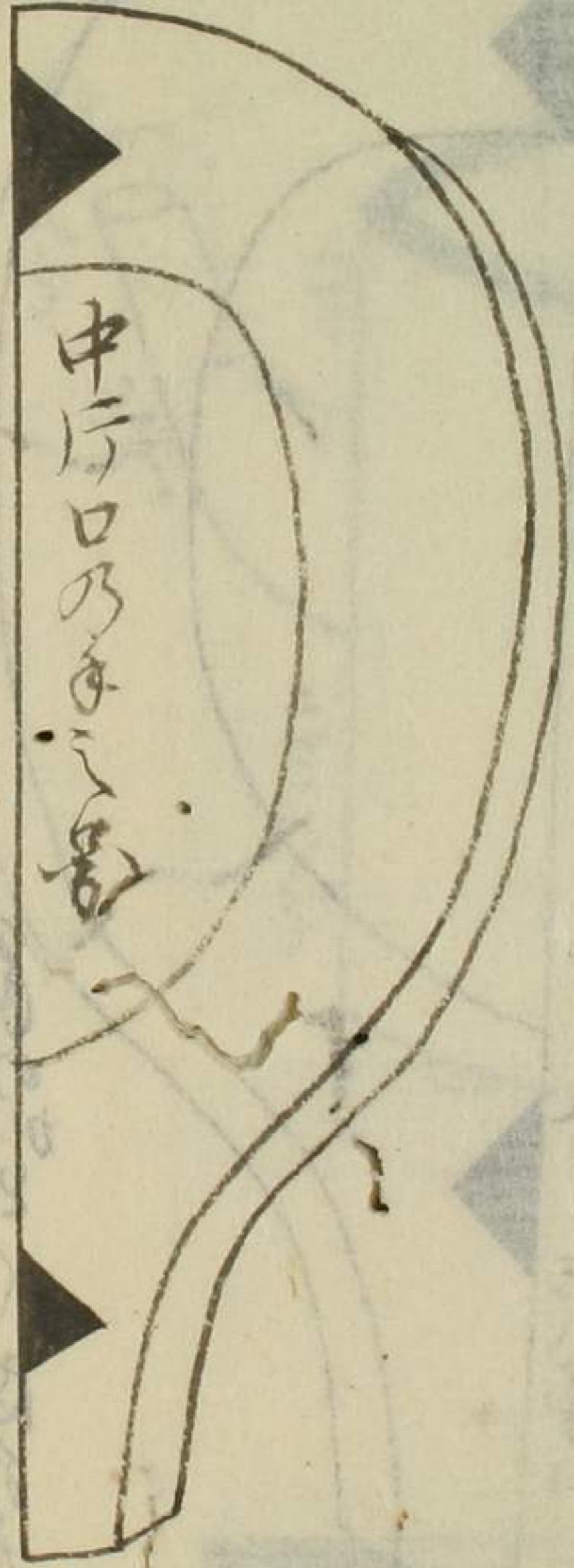
たし蓋の形

指渡一守六分あり並め

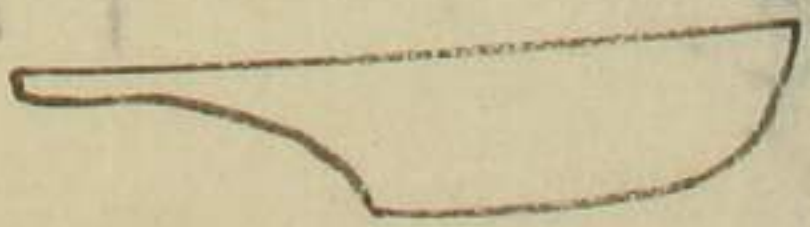
はこけ板厚サを命

はきのるさう渡一守八分

- 一 肉の底乃回り口乃布上口布の九子の付き口のきと足の付き
- 一 肉布かもしろ目のおいつれもこたかひ地さひく思ふ
- 一 板目通り上こ乃木をな地
- 一 組入れこいつまといはめ蓋のきこもろ



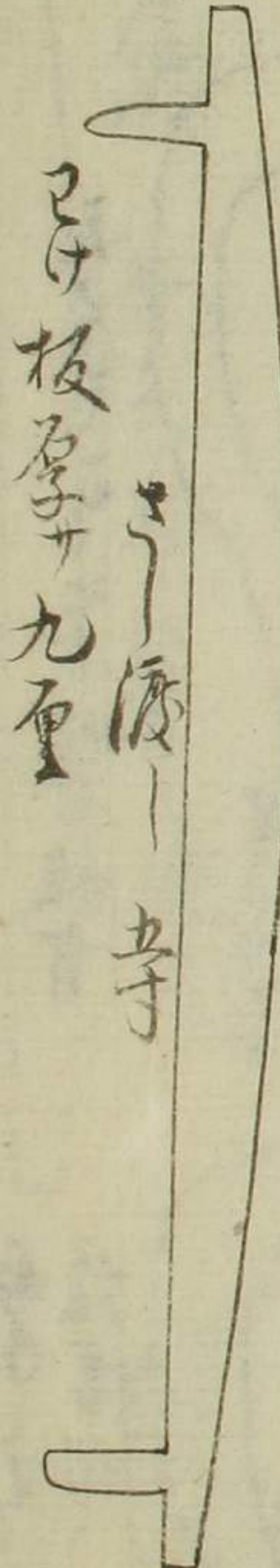
是え足



中行口  
口之界大サ  
恰合め

たし蓋の形

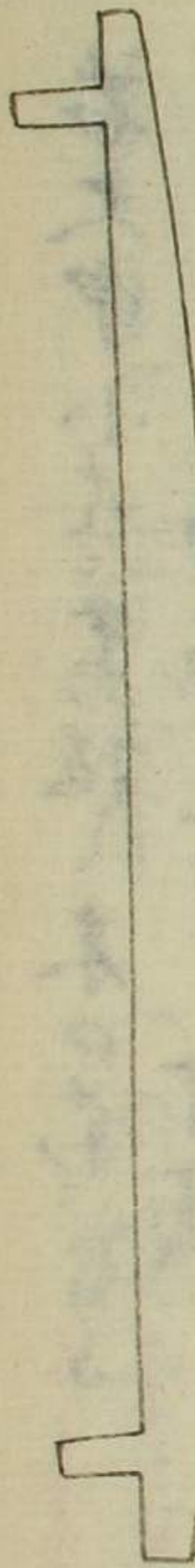
指渡一守八分あり並め



さう渡一守  
さけ板厚サ九厘

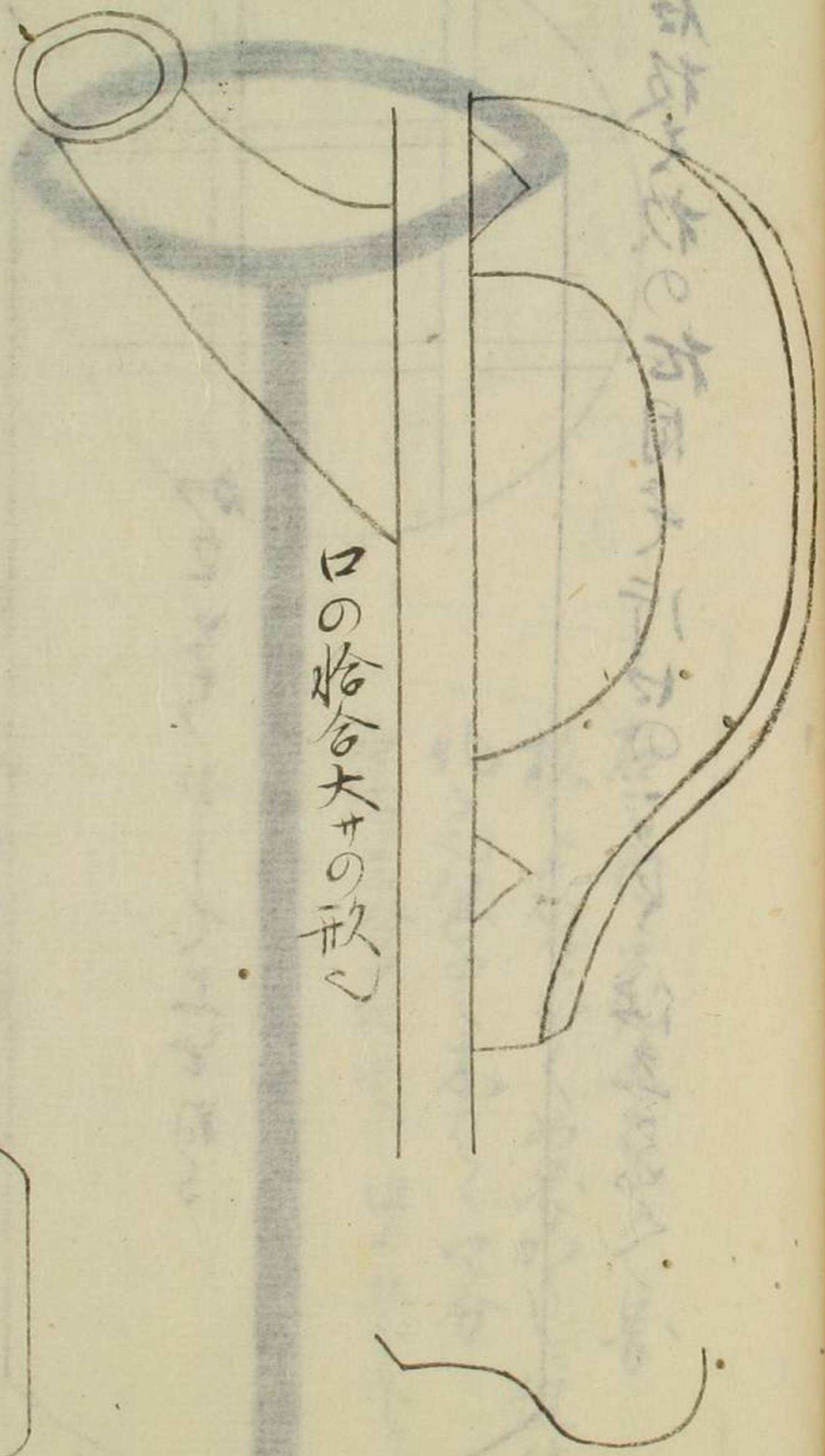






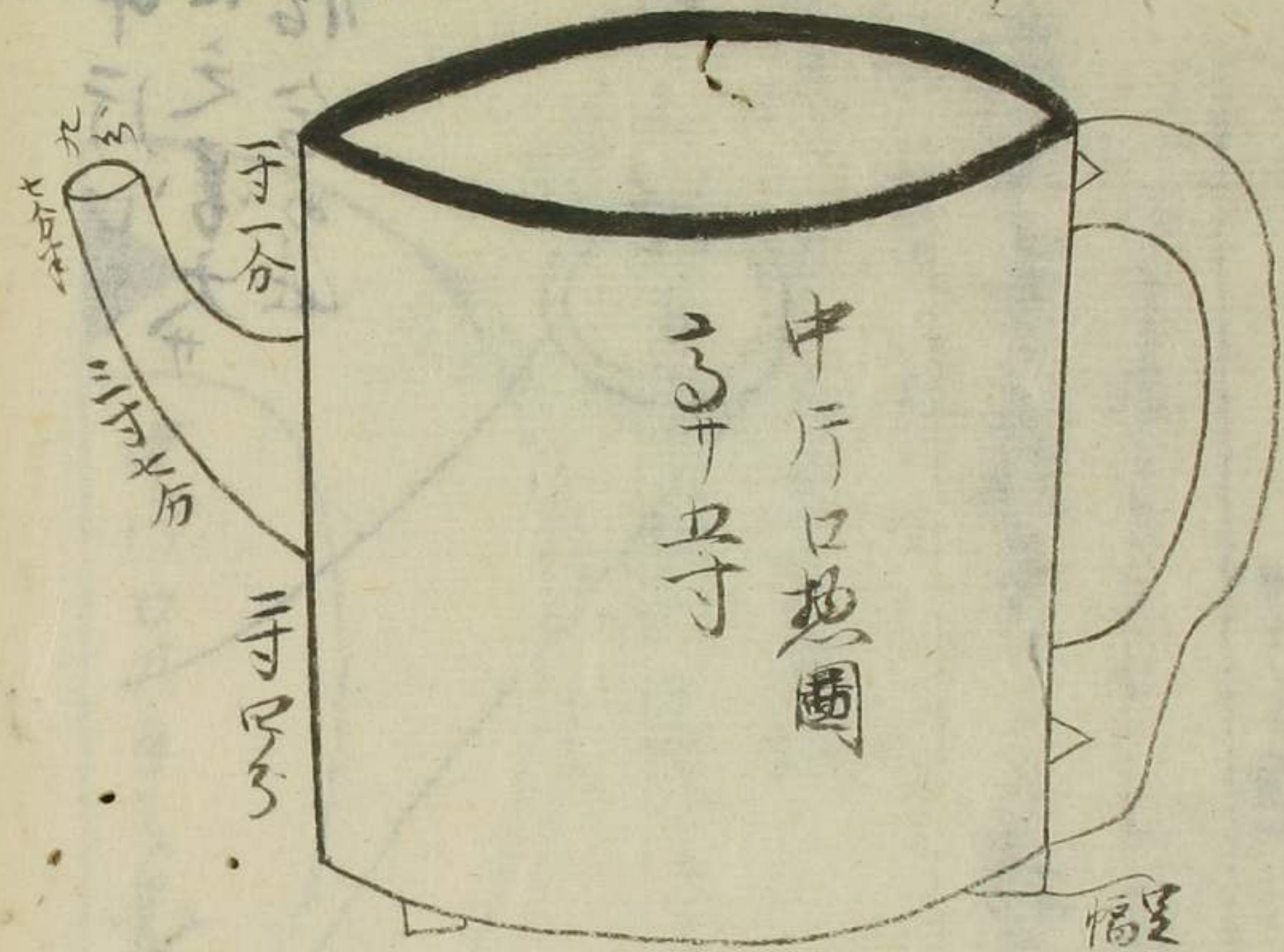
若波一尋三分あり並書一通

書のこ



口の恰合大サの形

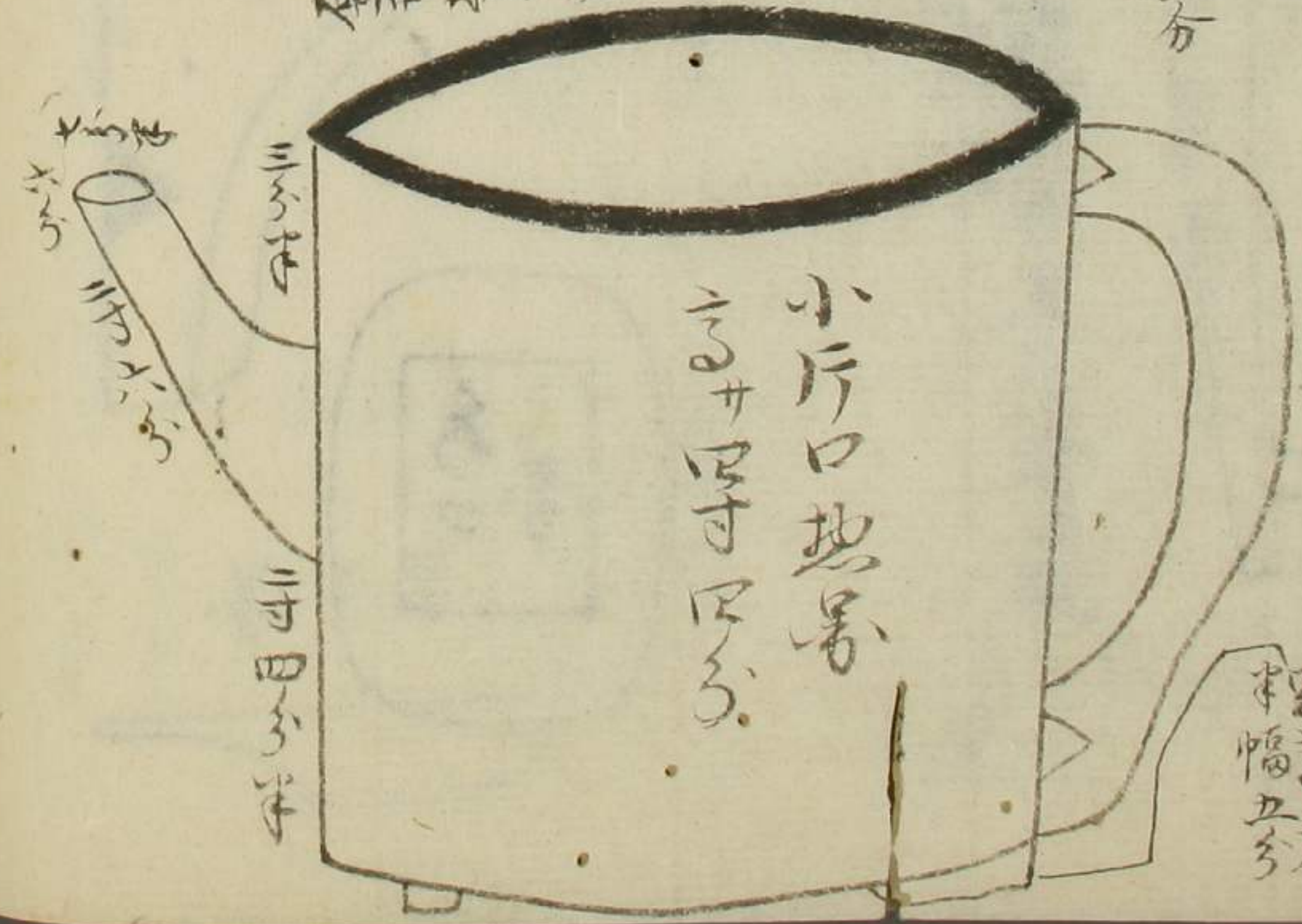
中片口熱湯 三寸五分



取子一尋七分恰合縁有

三寸三分 幅五分

小片口熱湯 三寸五分



取子一尋六分恰合 縁有

三寸三分 幅五分



右大中小丸に蓋板し木口前なる

切溜花生す法

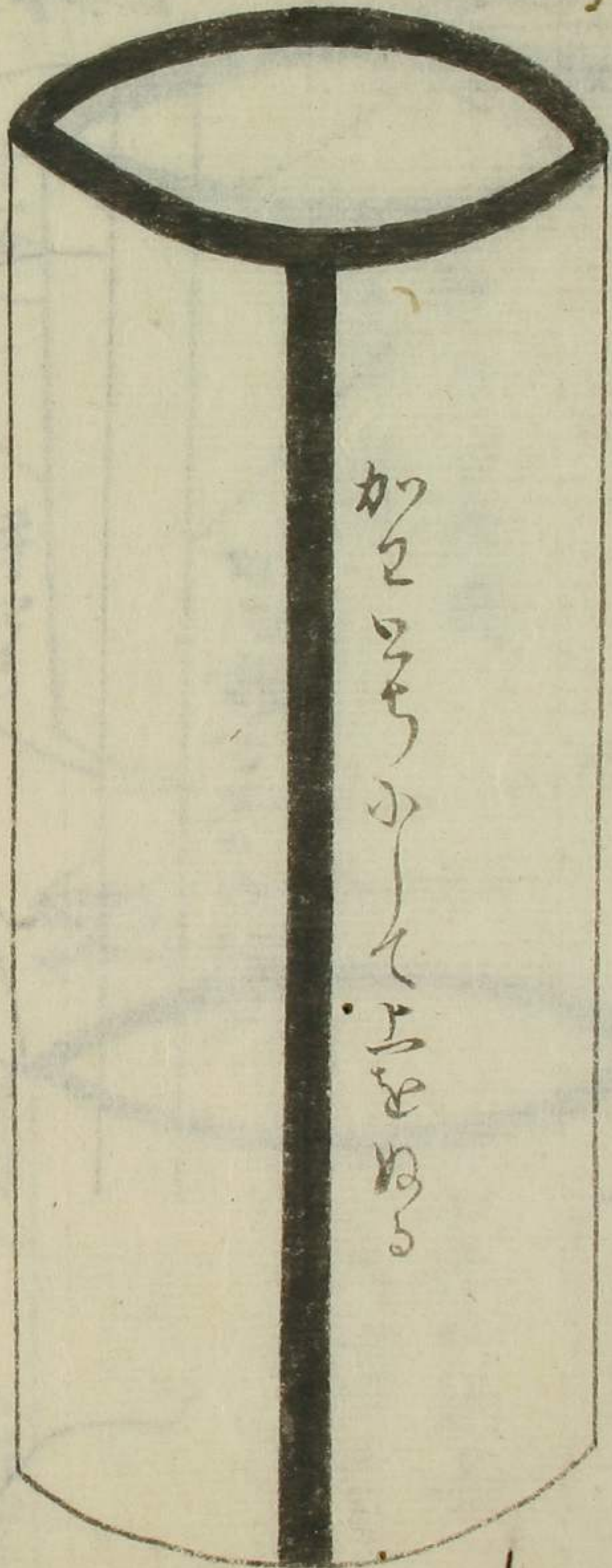
一 二寸五分

一 一尺五寸

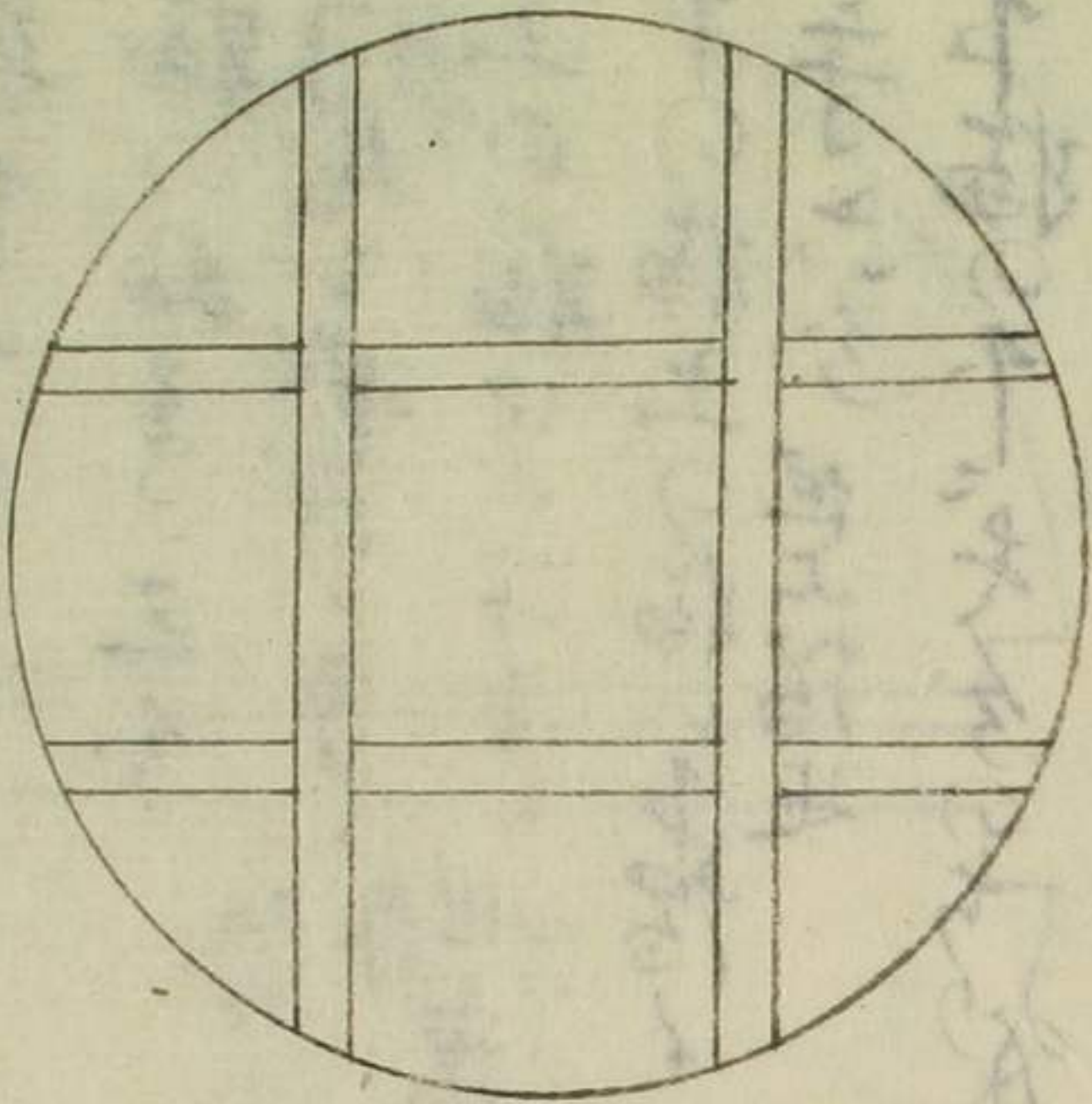
一 一寸五分

此の口は下口より上をぬる

如くすうすうと上をぬる



右板一枚の松目そり口のすくはきぬ



真丸の口桶の水差す法

一 五寸五分

一 五寸五分

一 一口五寸

一 八寸五分

一 七寸五分

一 七寸五分

一 一尺五寸

一 二寸

一 二寸五分

一 二寸五分

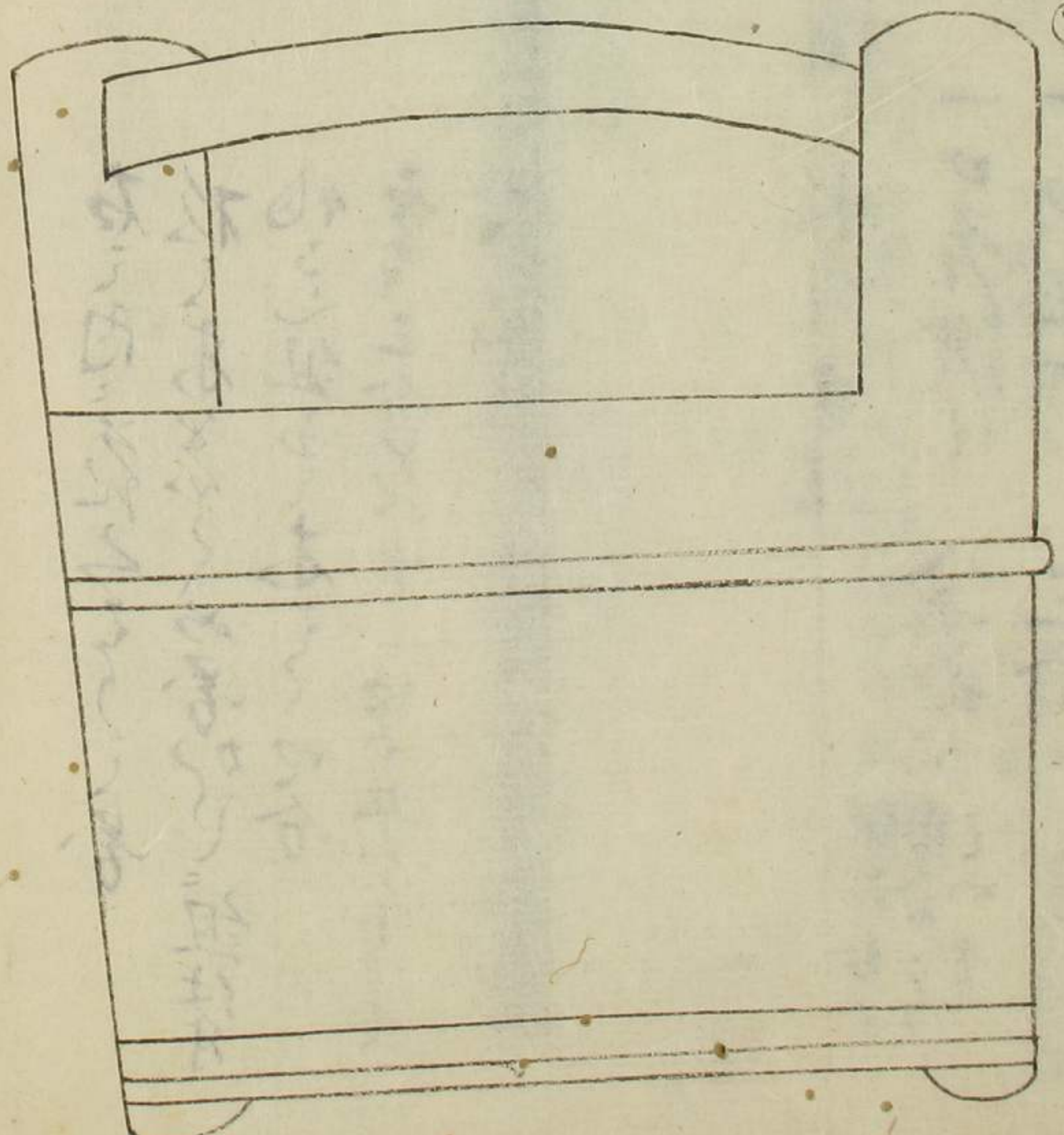
一 一尺幅

上二寸四分下二寸五分

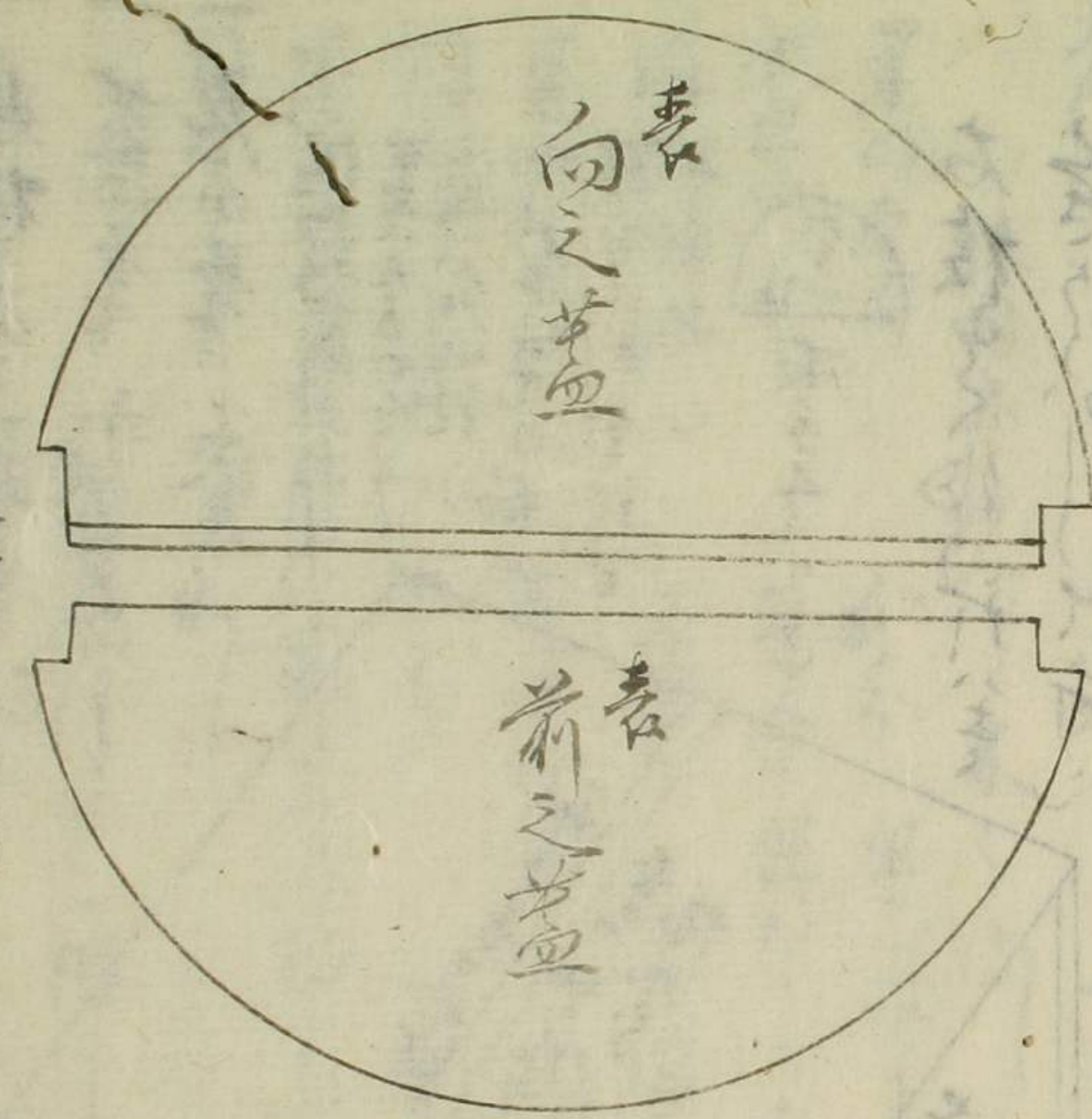
右の内は花のすうすうと  
松の木をかくめきかじ組は  
ゆる組子木をかくめき  
厚三寸五分花生の口五寸五分  
すくはきぬ



- 一 日上の丸を分但は木口と申す 子のより 陰帯乃より
- 一 日ある上三分下うて丸を けりて但上指述
- 一 日丸三上より一分八角を 立下して丸三帯のより
- 一 輪のぬき三分
- 一 日丸三帯のより
- 一 上の輪口を一寸五分但上指述
- 一 下の輪上の輪の寸指述 一寸五分 但上指述
- 一 下輪の寸を三分のちり



一 取手幅 八分厚一寸五分



右奥乃里塗上り也

- 一 蓋指渡八寸五分
- 一 切かけの取手幅七寸五分
- 一 切合の幅寸五分
- 一 草息取手寸五分
- 一 日丸也表を寸七分五分
- 一 日の寸五分七分五分

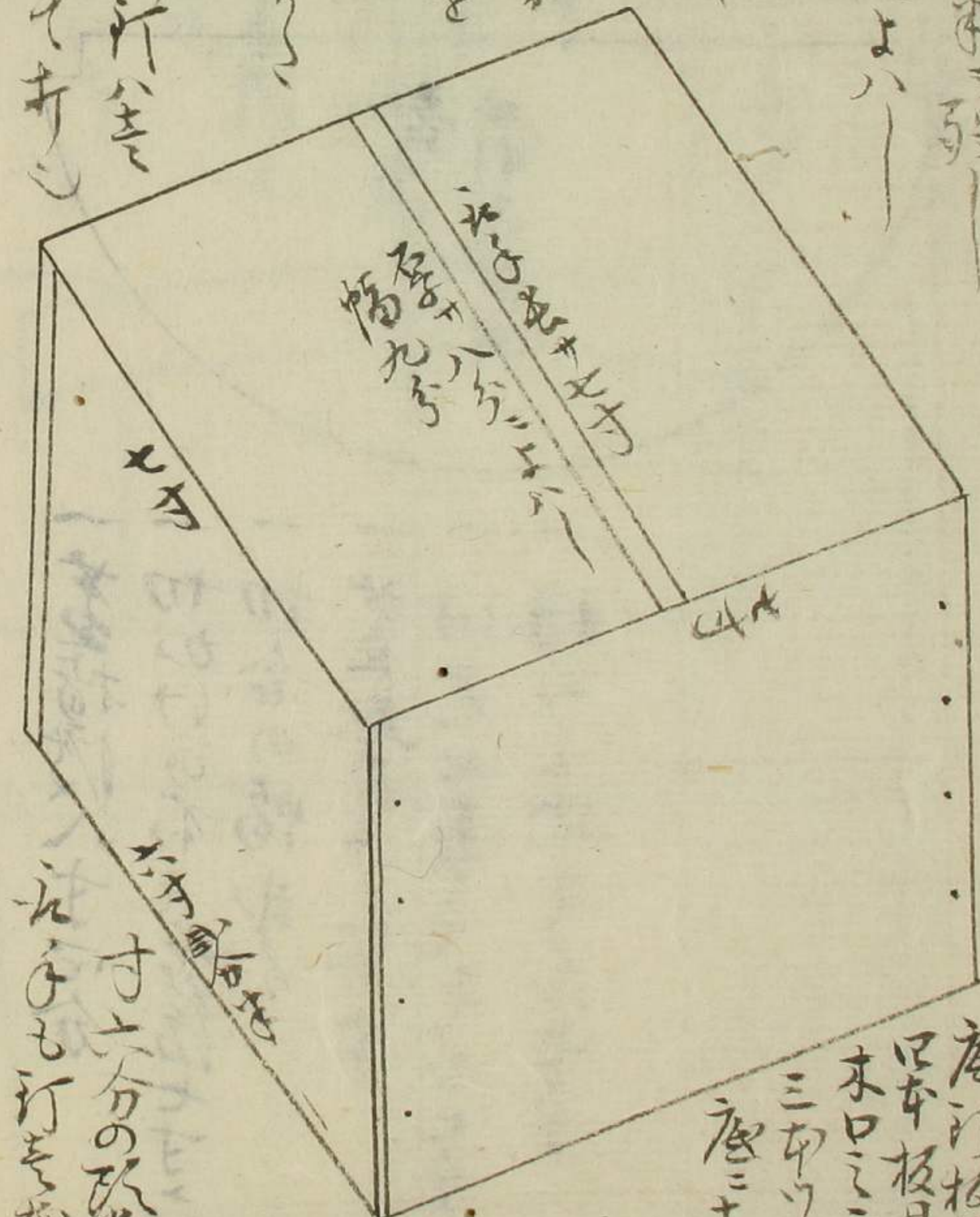


泊襦水指す法

- 一 板の厚サ 三分サ
- 一 蓋の厚サ 和らこよハ
- 一 底の厚サ 三分

但二枚蓋一枚の  
蓋ハ板の厚サの  
内ハ板込短小  
切付ハ是ハ脇ハ  
頂ハの全サと  
まハサ

右板ハくゆるサ  
をさうがし  
茶後小折



板付板目ハ  
日本板目サ  
木口ハ二寸  
三寸サハ  
底ハ三寸サ

寸六分の改巻を  
九寸七行を

曲水指す法

- 一 板の厚サ 五分ハ
- 一 二寸サ
- 一 口寸ハ

板内ハけつり木ハ  
一寸サ  
但三枚サハ中ハ  
寸ハ

- 一 蓋の厚サ 五分
- 一 日厚サ 五分中
- 一 一回幅 六分サ

- 一 日寸サ 六分
- 一 蓋の乃こみ

是ハツラチ目の取  
目ハ

先んばのこ

- 一 二寸サ 五寸六分
- 一 厚サ 一カ







一 風炉長サ 一寸九分半 一 びりめ 六分厚三分半

右何れも桐ありの事と云造

為板寸法

一 夫の尖より板長長サ 七寸二分半

一 横九寸 一 厚 二寸半 裏は四方たき分りセハ

一 蛤羽乃板長サ七寸二分半 一 横九寸二分半 厚二分半

一 夫の尖より板長サ七寸二分半 一 横九寸二分半 厚二分半

一 裏は四方たき分りセハ

一 九板厚度 七寸二分半 一 厚サ 四分半

一 是れ桐板の寸法なり

一 右の板をぬき何れも上より七寸二分半あり小ありたる

一 板より ばふり何の板と桐ありかき合ぬりたるも有

一 事あり用昔は九板と云ぬ事有るなり

### 風炉の寸法

一 大長サ 九寸二分半 一 横 九寸二分半 一 厚 四分半 八重瓦

一 小長サ 八寸二分半 一 横 八寸二分半 一 厚 四分半

江岑良休は板と用 宋且改寸法は八寸二分半七分七分今用

一 右裏蓋は厚きめ板と云はれは四方小口厚七寸五分

一 中より寸法は九寸小八寸七分七分厚四分半

一 九板大厚度 七寸二分半 一 厚 七分

一 同小指渡し 七寸二分半 一 厚 二分半

一 右の木の枿は蓋の木の枿ははしと云はれ通一方

一 片は一方へは出れ五分汁ゆき上へ是れ手合ぬ事

一 昔は是れあり

一 何れも 柄板寸法 一寸二分



一 尻張

日取

一 卯寸五分

一 丸釜

日取

一 卯寸五分

一 四方釜

日取

一 卯寸

一 大雲龍

日取

一 卯寸九分

一 小雲龍

日取

一 卯寸八分

右何屋柄し長サを尺五分但し上は皮目より五分  
折り但長分こり此きこと寸八分長分末少て寸六分  
半より八寸風折七寸や

一 右何屋柄し長サを尺五分但し上は皮目より五分  
折り但長分こり此きこと寸八分長分末少て寸六分  
半より八寸風折七寸や

花拍浦す法

一 巾法

一 三尺四寸

一 加尺九寸

七分三厘

一 足の高

一 二寸二分

一 足は横

九寸五分

一 日切上げ

一 寸五分

一 日板の厚

六分半

一 足の厚

一 寸五分

一 日板の厚

五分

一 加尺の寸の幅遠の板二寸

右座板或は左座板は遠の寸五分一板三寸一板寸五分但寸  
三分の方を下にして向いあむかむか遠と向あむ  
かむかむか向あむ中一不宛座板の此り合上へ三寸

一 加尺部分寸

一 座板打付の汗を替つてあむ

右座板の座板板幅を此板はけつる木是日取



炭折浦の寸法

炭折浦法 七寸 一角五分 一寸五分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折浦の寸法

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

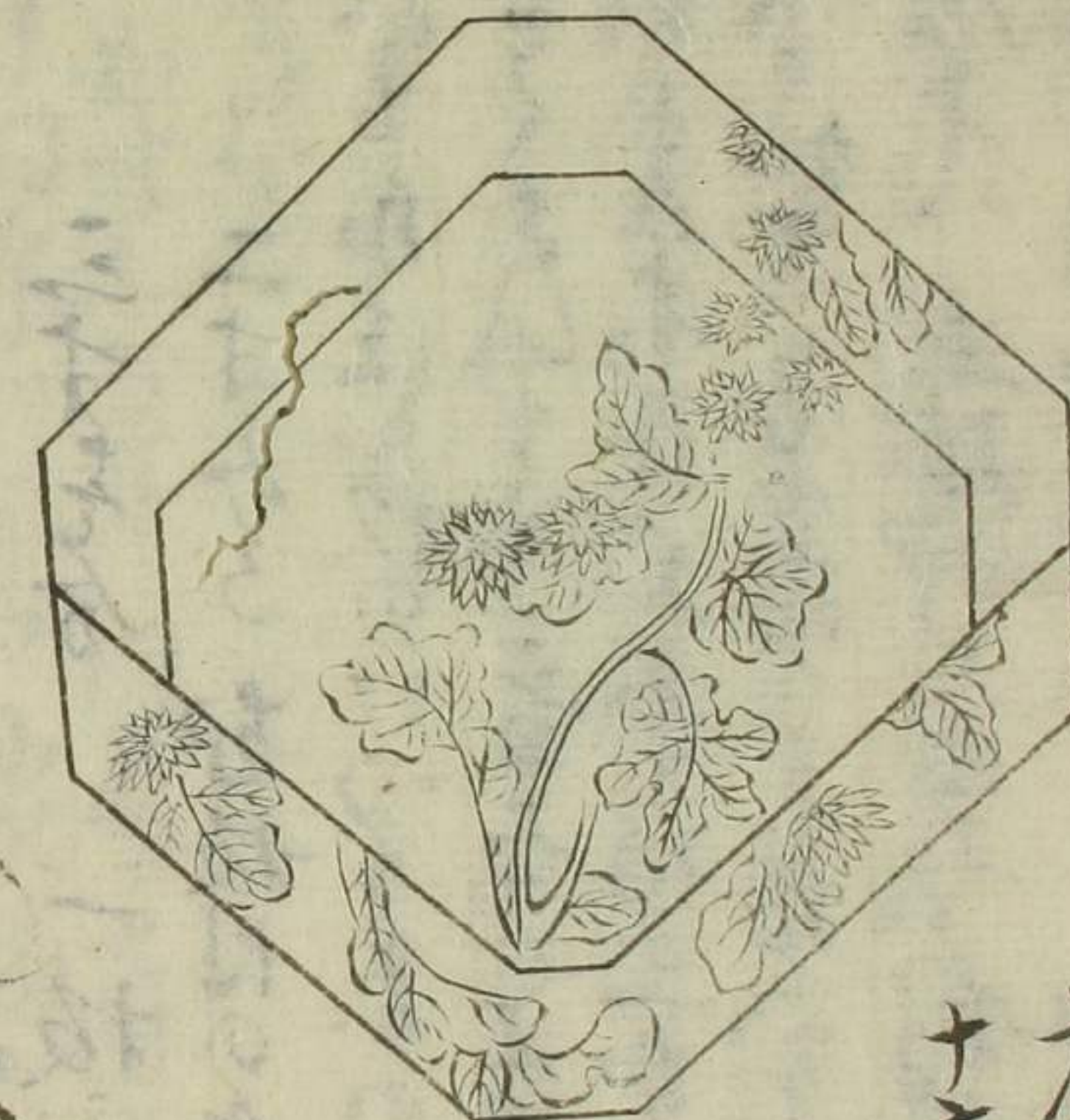
炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分

炭折法 七寸 一角五分 九分



唐板裏より打口方  
十二分口厚ッ



一 唐板裏より打口方  
一 十二分口厚ッ

箱の作り寸法

- 一 口 八寸八分口方
  - 一 高さ 三寸七分半
  - 一 厚さ 六分
  - 一 上の口の みる 上の木口をきりきりぬり
  - 一 脇のちり 分中 但しちりかた手板(指たる)和布が見る時板の上端より壁の丸手の間ちり
  - 一 右丸手角丸めつけつるに箱の内板に透丸手四邊に透る
  - 一 木を素く色付ときりかたを透る
- 釜浦板の寸法
- 一 寸六分口方
  - 一 厚さ 三分
  - 一 中のより貫完寸口を半
  - 一 角一寸五分半切
  - 一 右に箱の作り寸法に木を桐板を用



火吹竹

一 板をサキ長吹尺三寸二尺有巾を以て切らして竹をサ切口を  
 板渡し七分の竹の切面を所へ先を三分斗ゆり

吹尺の尺箸

箸柄は木八角の上の末口を四分  
 長サは天七寸五分

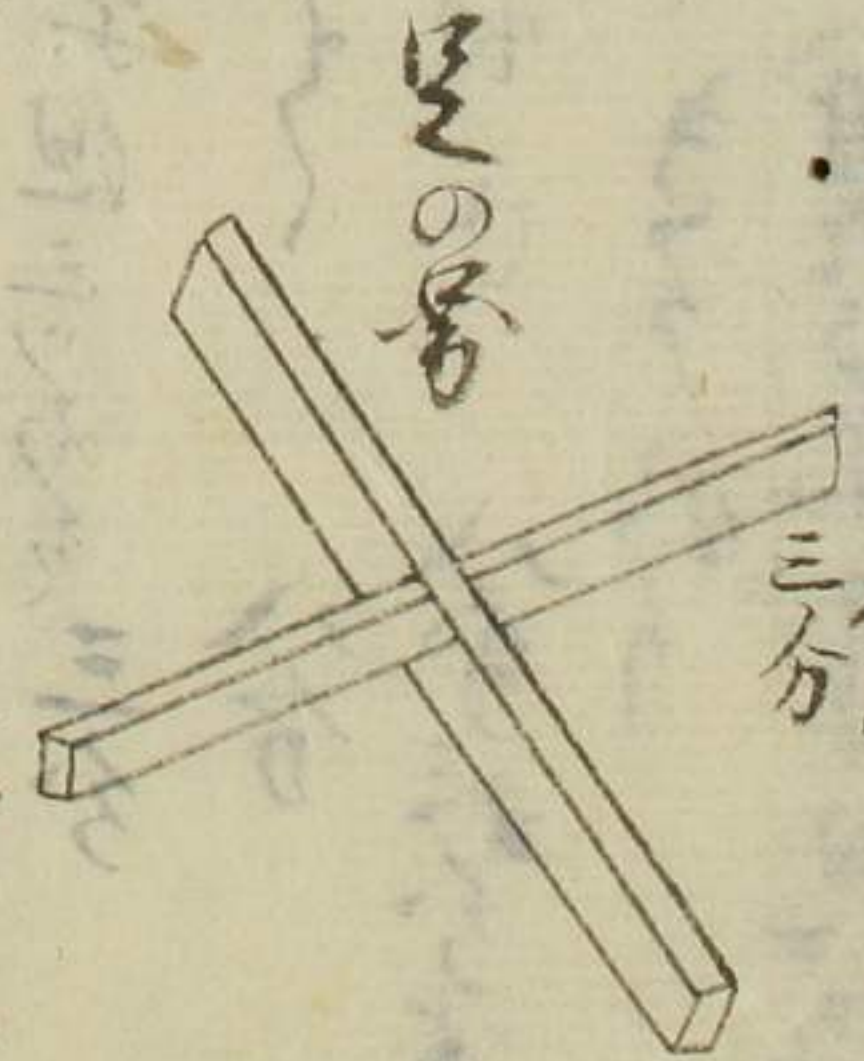
一 竹を木板に刺す

角の曲す竹の内  
 のまきりめ

長サは天七寸五分



板厚サ三分

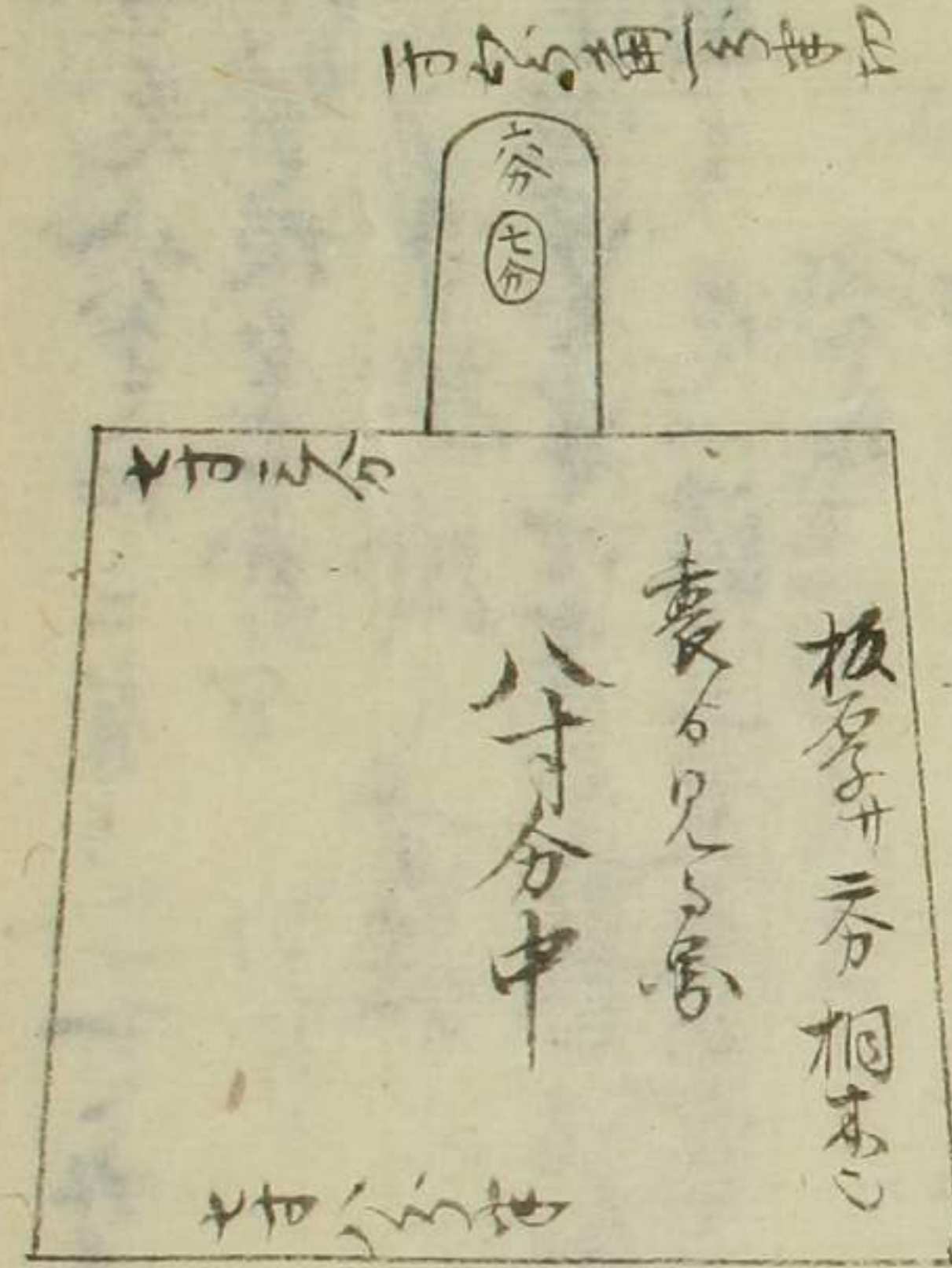


是の角サ四分六分  
 内板厚サ四分

座蒲籠巾の寸法

- 一 板厚 四分
- 一 巾サ 三寸九分
- 一 是の角 六分
- 一 巾の幅 七分
- 一 座の寸法 三寸五分
- 一 座の寸法 四分
- 一 座の寸法 四分
- 一 座の寸法 四分

ちり足す法



地板を  
 板の上  
 三分

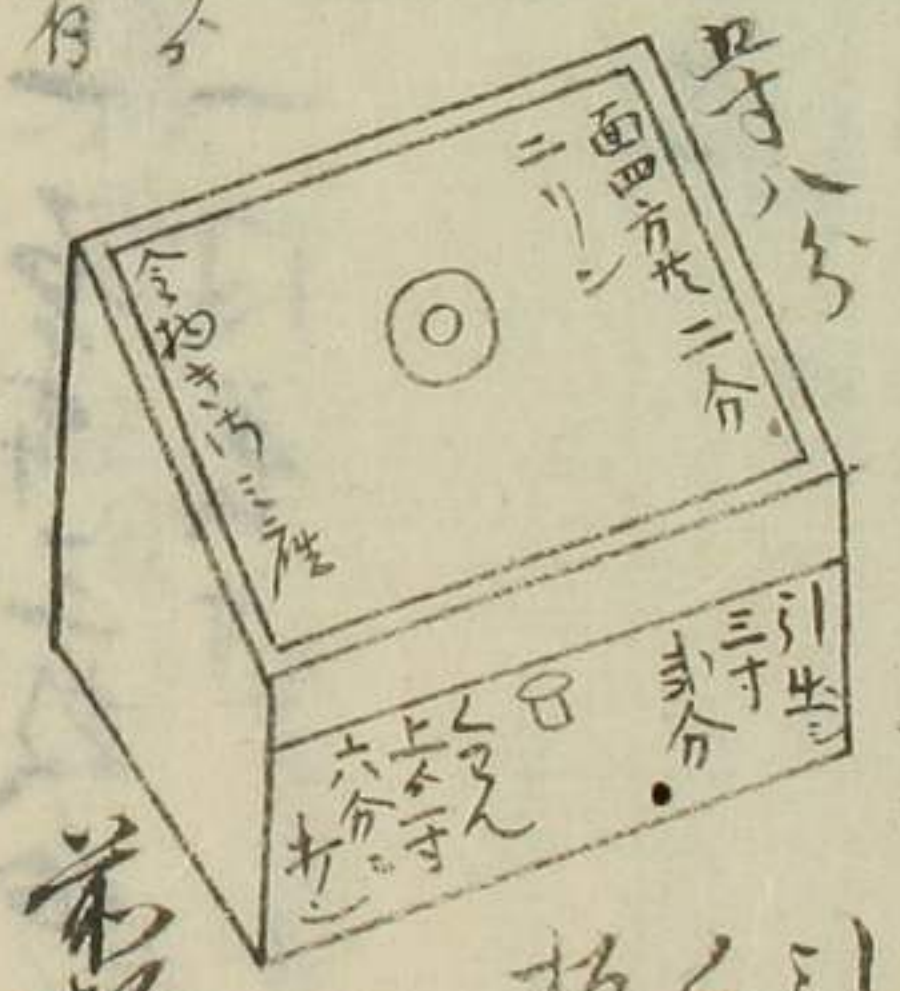
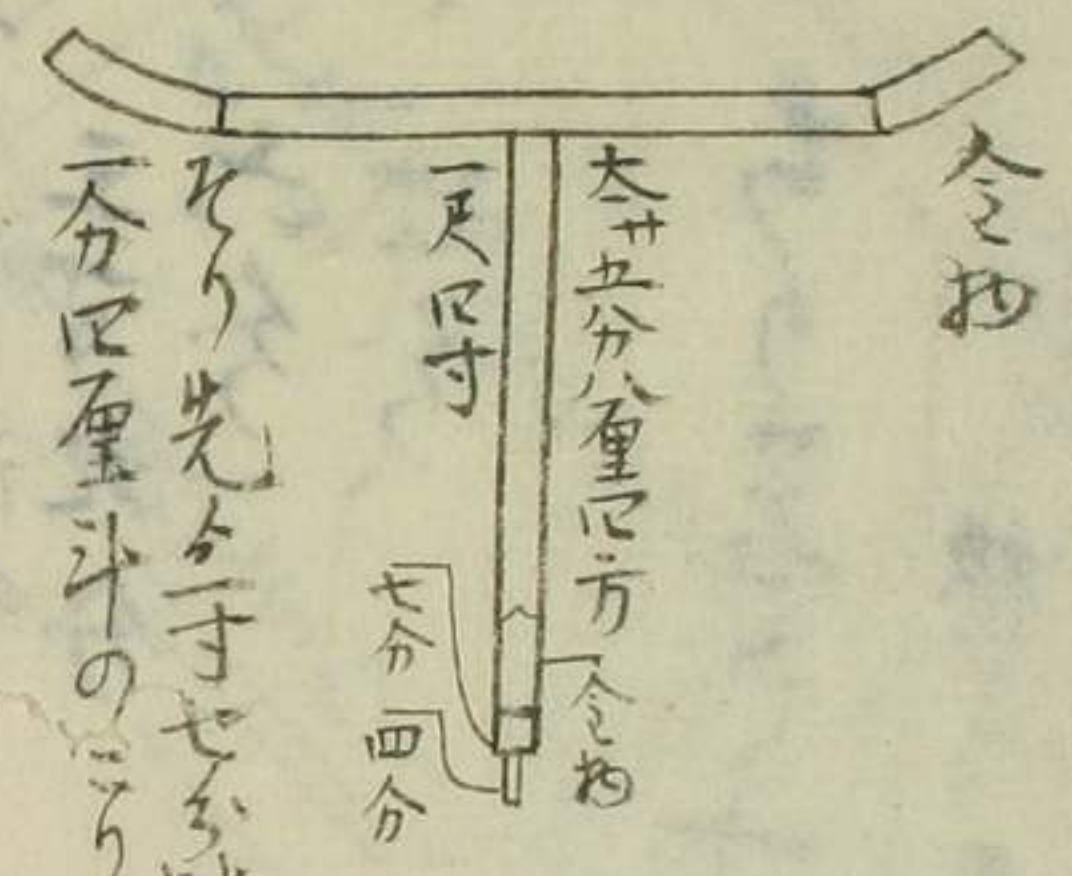
かじの形  
 大サは  
 巾のち  
 四分  
 五分



一 底板を先八分と地三有り  
 一 二九手方が地板を五分半法有  
 加角の片一

手拭掛す法

一 柱突の穴を半口方の板の下の板の上厚サ一寸の板を面より先一渡三分の厚の穴をひいて柱のつらさより



右末塗板極る者乃令物者二寸半

全物つらさ一寸四厘が一寸四厘  
 板厚五分

一ツ明し柄す法

一 長サ 三寸半 江合巻木口五分  
 一 左サ 四分三厘  
 右末少るる者乃令物者二寸半  
 大板の幅五分  
 汁子巻幅五分

火箸すす法

一 大火箸の柄の長サ 四寸四分  
 一 同柄の長サ 四寸八分  
 一 中火箸の柄の長サ 四寸  
 一 同柄の長サ 四寸二分



一 小火箸の長サ 三寸五分  
 同柄の長サ 四寸五分

一 右柄の長サも素の長サ

一 換火箸の寸法

一 惣長サ 九寸五分 つけのめき火箸  
 つけのめき火箸

一 おろし火箸

一 右柄の長サ 九寸五分 つけのめき火箸  
 右柄の長サ 九寸五分 つけのめき火箸

一 惣長サ 九寸五分



ける九寸

惣長 九寸五分

一 長火箸の長サ

一 惣長 九寸五分 つけのめき火箸



一 長火箸の長サ 九寸五分 つけのめき火箸  
 上下たつちのめき



ける九寸五分

惣長 九寸五分

ける九寸五分



嗅煙し漆木す法

柄長サ二尺五寸

木口七寸並てこくそ費の  
穴よこる者

柄束をえをサ四分三分目元乃木口をえをサ三分半  
柄あり平之有漆木のこくそ平身有  
漆木木口は五分半九くけつるこ

一こくそ費し徳をけ糸口折こ色えんをりうとをサ五分通  
こくそ長サ八穴三分と徳折ると等八分  
一糸木と色付の

花切小刀の柄

三寸六分



一柄の長三海りのき有一中程を四分を指渡有  
右糸木口漆木色付の柄元当の者

一小刀身長サ 二寸八分

針の寸法

等二分



二分

二分

一柄長サ

一尺七寸

一きり長サ

七分



一柄長サ

対小刀寸す法

三寸五分

秋恰合花切小刀ハ八寸五分  
小刀長サ二寸五分を葉柄長サ

ろく板対寸す法

四寸

一幅

三寸

一厚サ

三寸五分 杉木

掛物寸す法

一真竹寸す法

節七寸先を尖らしたくえの法

小三分二分の宛有

筆寸す法

一蛇の長サ

四寸五分

一元の長サ

七分

白毛志いり  
柄葉あり



張文庫寸す法

一長サ

五尺四寸四分

一高

五尺五分

一厚サ

三寸八分

一蓋厚

三寸

一厚サ

三寸五分

一内寸

三分

一厚サ

三寸

右下地厚減りて内寸二尺二寸五分のりより蓋六帖つかに寸きこ  
ニ尺二寸五分とまを内寸二尺二寸五分大粒菊を並上ちし  
ゆこの蓋こころをさしき十八寸けをぬ

張視箱寸す法

一蓋

四寸六分五分

五寸五分

一厚サ

三寸五分五分

五寸五分

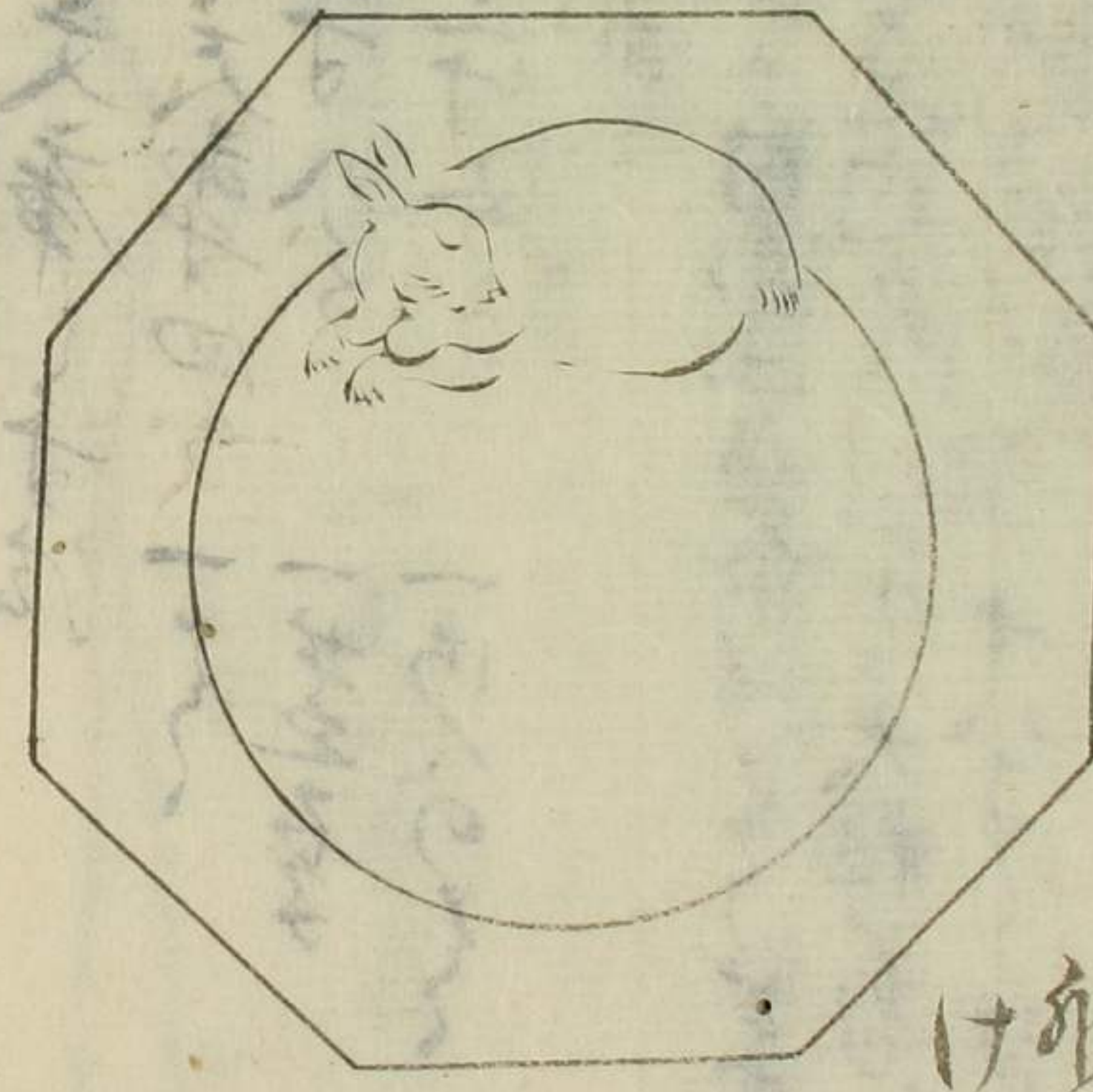
一厚サ

三寸五分五分

八分五分



- 一 寸四角 一日言 六分 厚寸七分
- 一 寸九分角 一内丸 何れ日あり
- 一 寸九分 一内丸 二寸五分
- 一 寸五分 一内丸 六分
- 一 水入 水入 水入



布乃乃乃乃ハ  
けいりりりり

木地ノ文箱ノ寸法

- 一 蓋の長サ 七寸 四寸五分 一 幅 一 寸
- 一 日の板厚サ 五分 但早に板ハかきり
- 一 日めん 五分 少くくちりとりは
- 一 日めん 五分 一 寸の長サ 二寸七分
- 一 日めん 五分 一 寸の長サ 二寸七分
- 一 底ハ入物ニシテ 蓋のちりり 小石の木履き目けきり者大
- 一 皮路丹

くろくろ

桐ノ文庫ノ寸法

- 一 長サ 七寸五分 幅九寸 深サ 三寸七分 寸七分
- 一 蓋の厚サ 九分 蓋板厚五分 寸七分
- 一 底の厚サ 五分 五分
- 一 右菊乃立木ノ寸法有り









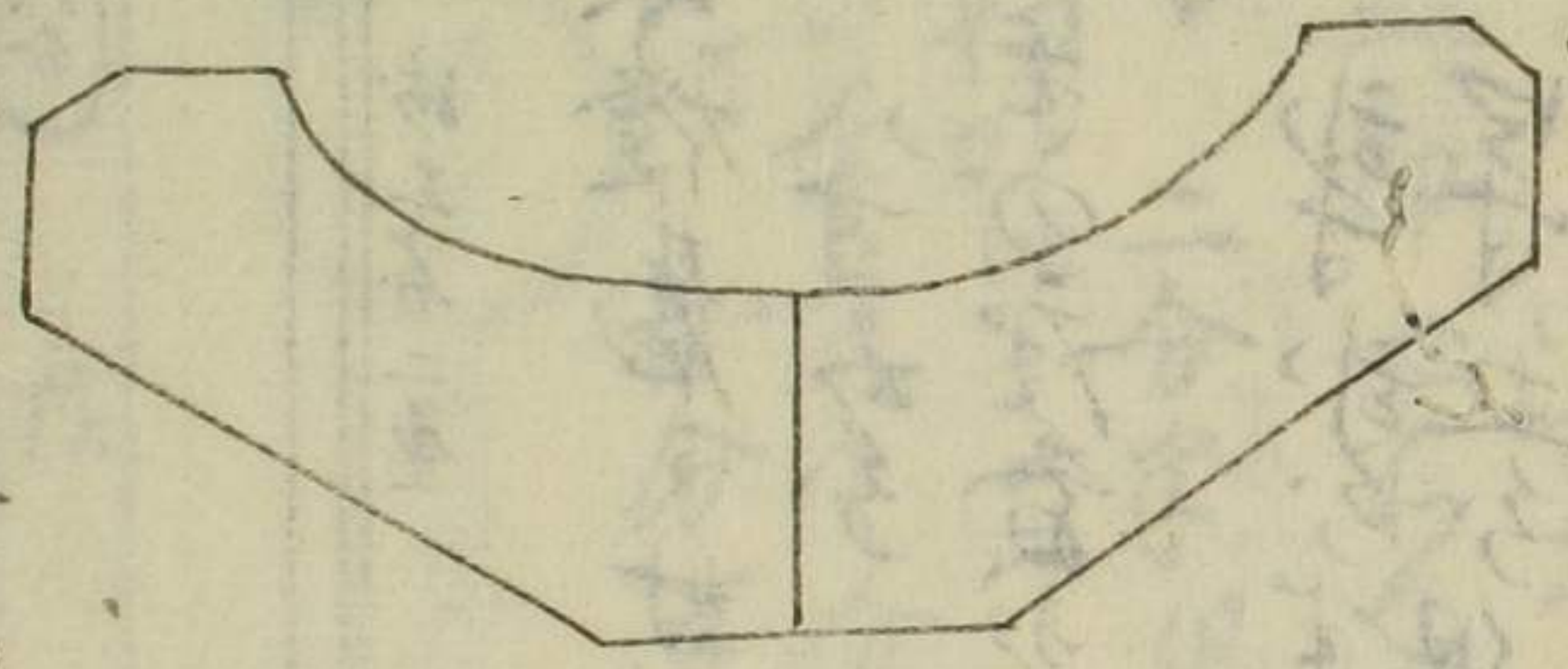


- 一内さすサ  
七寸五分
- 一板手幅  
七寸五分
- 一節ハホふ有脇の方を寸五分有者

惣枕を造す法

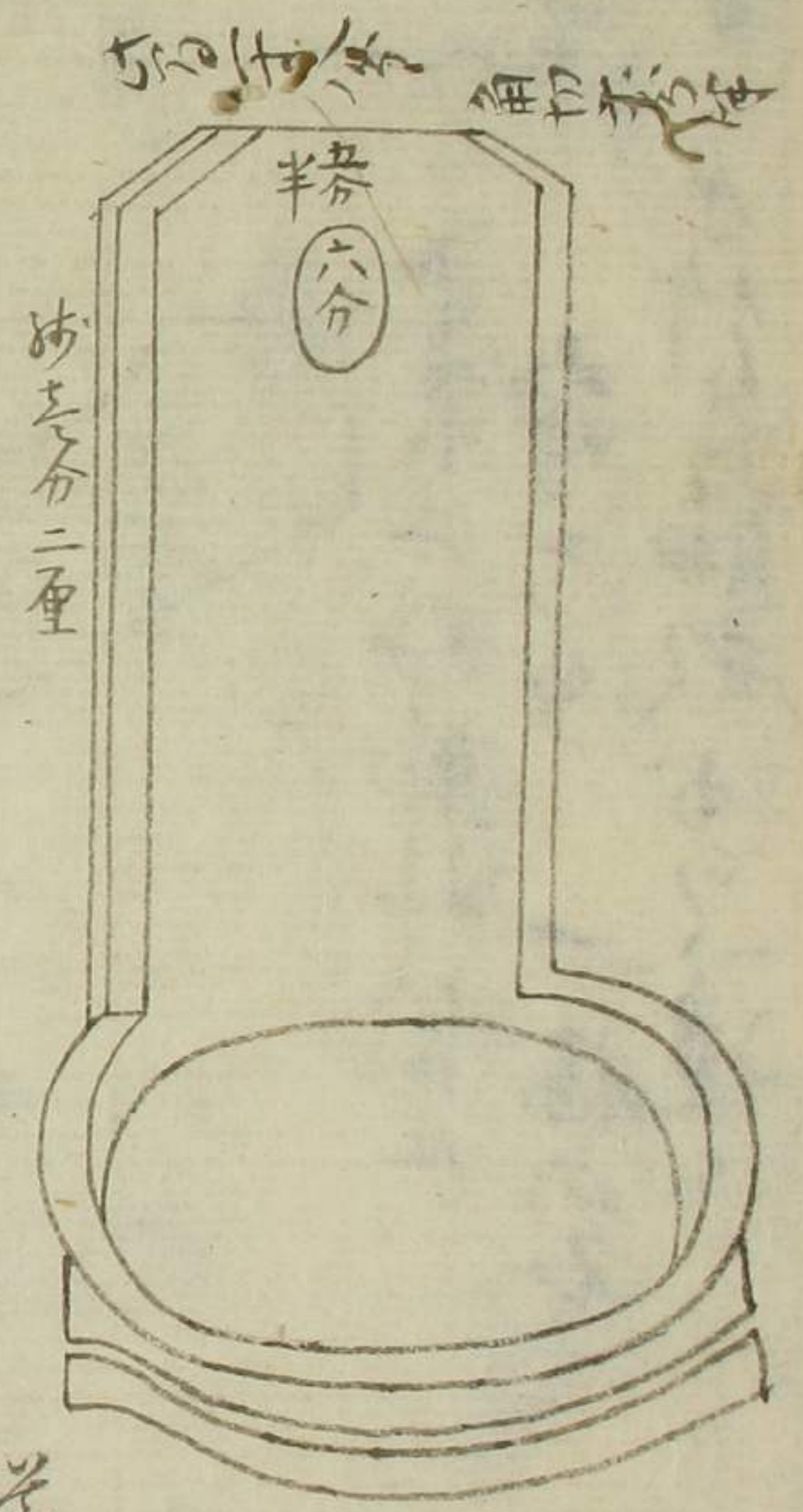
- 一板  
二寸五分
- 一厚サ  
三分
- 一穴上ハ五分半おきえゆる五分
- 一らとての厚サ五分セリ

掛さるゝ魚い知子の圖



- 一惣さすサ  
一寸六分
- 一板の厚サ  
八分
- 一魚い知子の造り





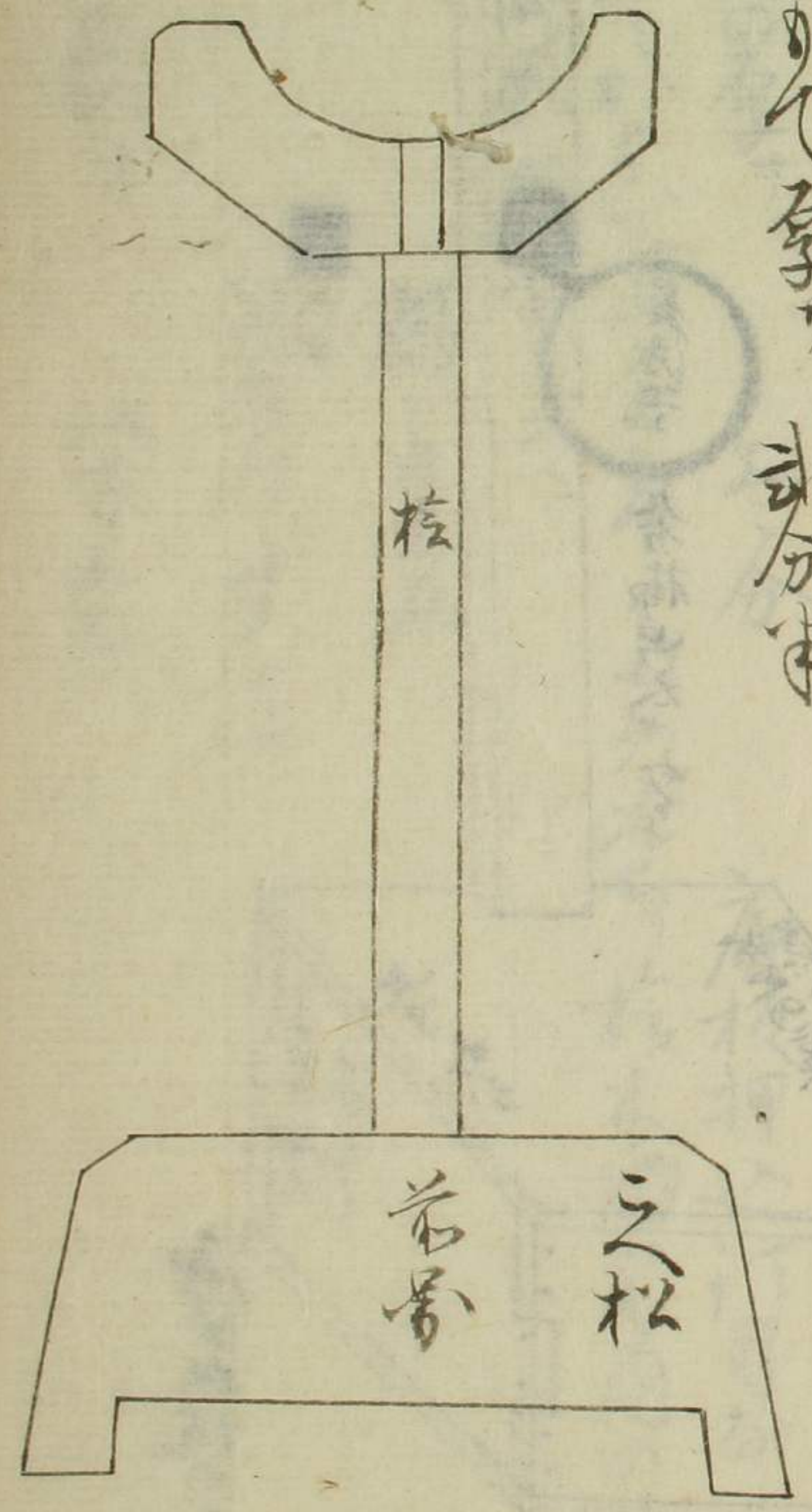
竹の老サうらめて  
三寸六分半  
三寸五分有  
竹の平みと前へ  
足せると有る

木橙蓋の寸法

- 一 柱は長サ 八寸五分 一太サ元六分半末え四寸半
- 一 柱末は但二重半の厚さおは長サ小八分こしかく末は切
- 一 柱小面有
- 一 表のこさサ 三寸五分半 松末を用る
- 一 白下のところ 四寸五分半 但切けの方二分

表を二重にしては  
ぬかして毛は用

- 一 白上のところ 四寸五分半 但口の板同く方
- 一 け切け下四押込あり
- 一 白のえのこ 二分半 但表の上端は有る
- 一 表末下の切けこさ 三寸五分半
- 一 白見込下にて三寸五分半 一ぬの厚サ下にて四分半
- 一 くりりて厚サ 二分半

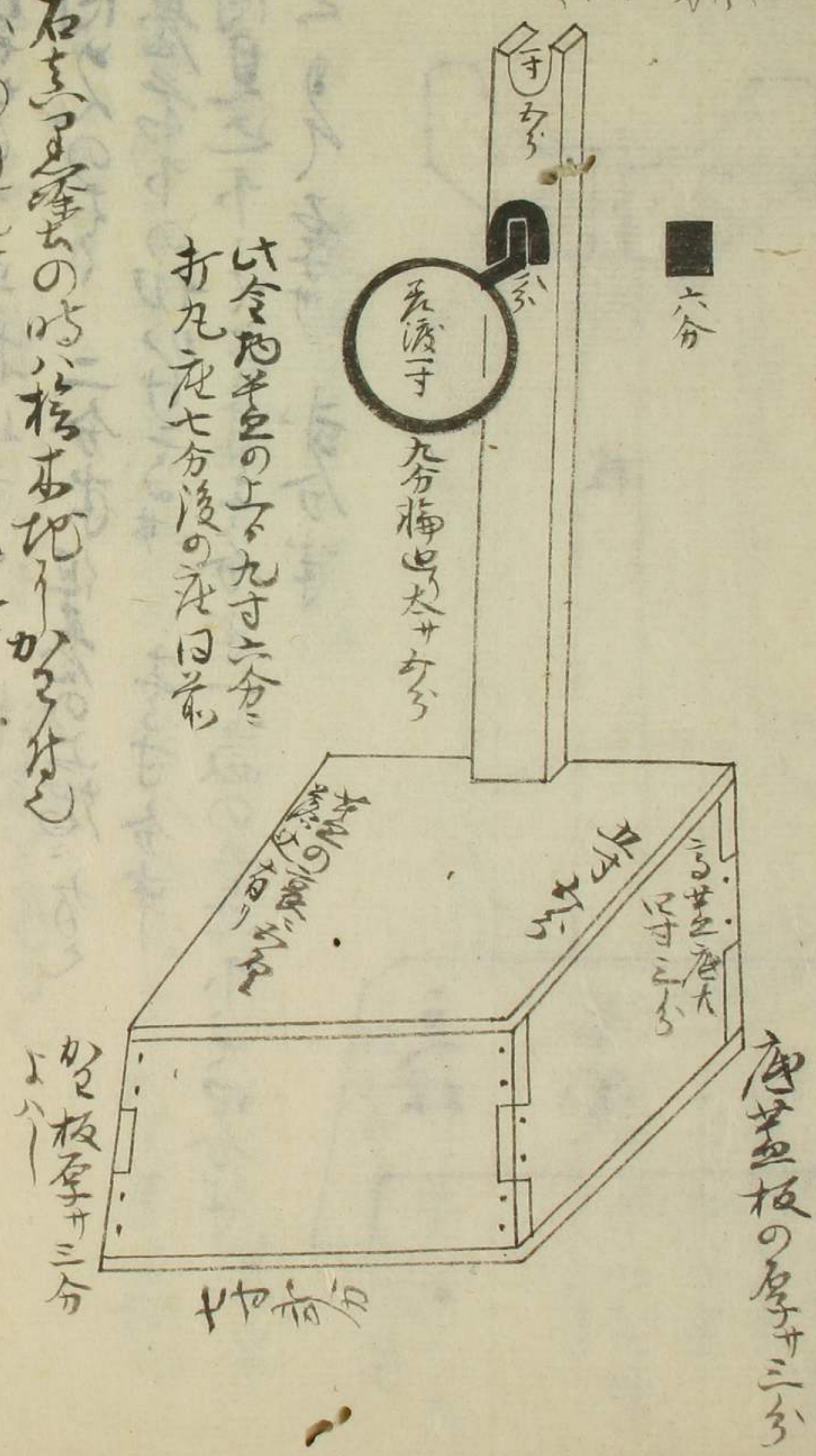




箱の寸法

右まは左まの時、松木地りかき付て  
別の通し釘目かき合張る

け令地ま直の上九寸六分  
打九厘七分後の花目前



かよひ盒寸法

一 厚板の厚サ 七寸五分 一 かしこのさす印法さす

一 底板の厚サ 五分

但五分寸の肉入ル此板の厚さめかきハけつり木目同  
一 一板かきめり此板に肉入るさす

一 縁の厚サ 五分 厚板押込釘目かき

一 右にかよひ盒を年々ぬき塗り松木地りかき肉の足角と  
かきめり

脇板の寸法

箱の寸法

一 板長サ 八寸五分



一 同長

八寸

小之方也

一 白箸

本を時用

一 竹

八寸五分

揚枝之事皮付

一 長サ

五寸五分

是は小深信て揚枝菓子盆

一本八寸五分 大小深信て揚枝菓子盆

一枚揚枝の枝を横に寸五分

物相す法

一 三寸

三寸七分

一 厚皮

二寸二分内外

木八枚

松ツケ物也

天明七強圍協洽之歲秋七月日  
相藩微臣小椋人芳文写之



天即子  
天即子  
天即子  
天即子  
天即子  
天即子  
天即子  
天即子  
天即子  
天即子

→ 11



